

# 令和8年度 第1学年 シラバス



日本歯科大学東京短期大学

歯科技工学科

The Nippon Dental University College at Tokyo,

Department of Dental Technology

## 建学の精神

学校法人日本歯科大学建学の精神は「自主独立」であり、本学建学の目的を「心・技・体が調和した人間性豊かな歯科医療スペシャリストの育成」とする。

## 教育の理念

本学学則には、その目的を「本学は、教育基本法および学校教育法の精神に基づき、歯科技工および歯科衛生に関する専門の知識と技術を教授研究し、豊かな教養と人格を備えた、高度な医療技術者を育成し、もって国民の保健医療の向上に寄与する。」と規定している。この目的を体として、医学の一領域・人体の健康を担当する医療人として、知識、技術および倫理観など、学・術・道を兼ね備えた歯科技工士と歯科衛生士を養成する。

## 教育の目的

教育の理念を具現化するために、歯科技工学科では2年間、歯科衛生学科では3年間の在学期間中に、一般教養科目の充実を図って短大教育の特色を出し、専門科目については、歯科医療の基礎と臨床に関する最新の講義と基礎・臨床実習を行う。高度の専門知識と技術、応用的研究能力、さらに豊かな人間性を身に付けた歯科技工士・歯科衛生士の総合的な教育を行い、グローバルな視点を持ち、歯科医師とのチーム医療により、国民の歯科保健増進に総合的に寄与する人材を育成することを目的とする。

## 教育の目標

1. 幅広い教養と倫理観を持った歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
2. 人間性豊かで人の痛みが判る優しい歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
3. コミュニケーション能力が優れた歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
4. 歯科医学の最新の知識と技術を生涯学び続ける意欲と能力を持つ歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
5. 将来の良質な歯科医療の確立を目指し、応用的研究能力を持つ歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
6. 社会の要求とEBM（Evidence Based Medicine）を重んじた歯科医療に貢献する歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
7. 問題を見出し解決する能力を持つ歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
8. 地域医療に貢献できる歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
9. 健康増進に貢献できる歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
10. グローバルに活躍する歯科技工士・歯科衛生士を育成する。

## アドミッションポリシー

本学の建学の精神である「自主独立」の精神を理解し、基本理念と教育目標を達成するために、十分な学力と高い目的意識を持ち、相手の気持ちを理解できる人間性豊かな人を求めています。

## カリキュラムポリシー

歯科技工学科

1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成している。
2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備するべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し、歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目である。
3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を習得できる授業科目である。
4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を習得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を習得できる授業科目である。
5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図る。

## 学習成果

学校法人日本歯科大学全体としての建学の精神ならびに教育の目的に基づき、日本歯科大学東京短期大学の学生が卒業までに身につけるべき知識や資質、能力等を学習成果と定めている。

### 歯科技工学科

1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技術を身につける。
2. 医療における倫理観と豊かな人間性を身につける。
3. 自己研鑽に励み、専門職としての能力の維持向上を図る姿勢を身につける。
4. 相手を尊重した対応と良好な人間関係を構築するコミュニケーション能力を身につける。

## ディプロマポリシー

### 歯科技工学科

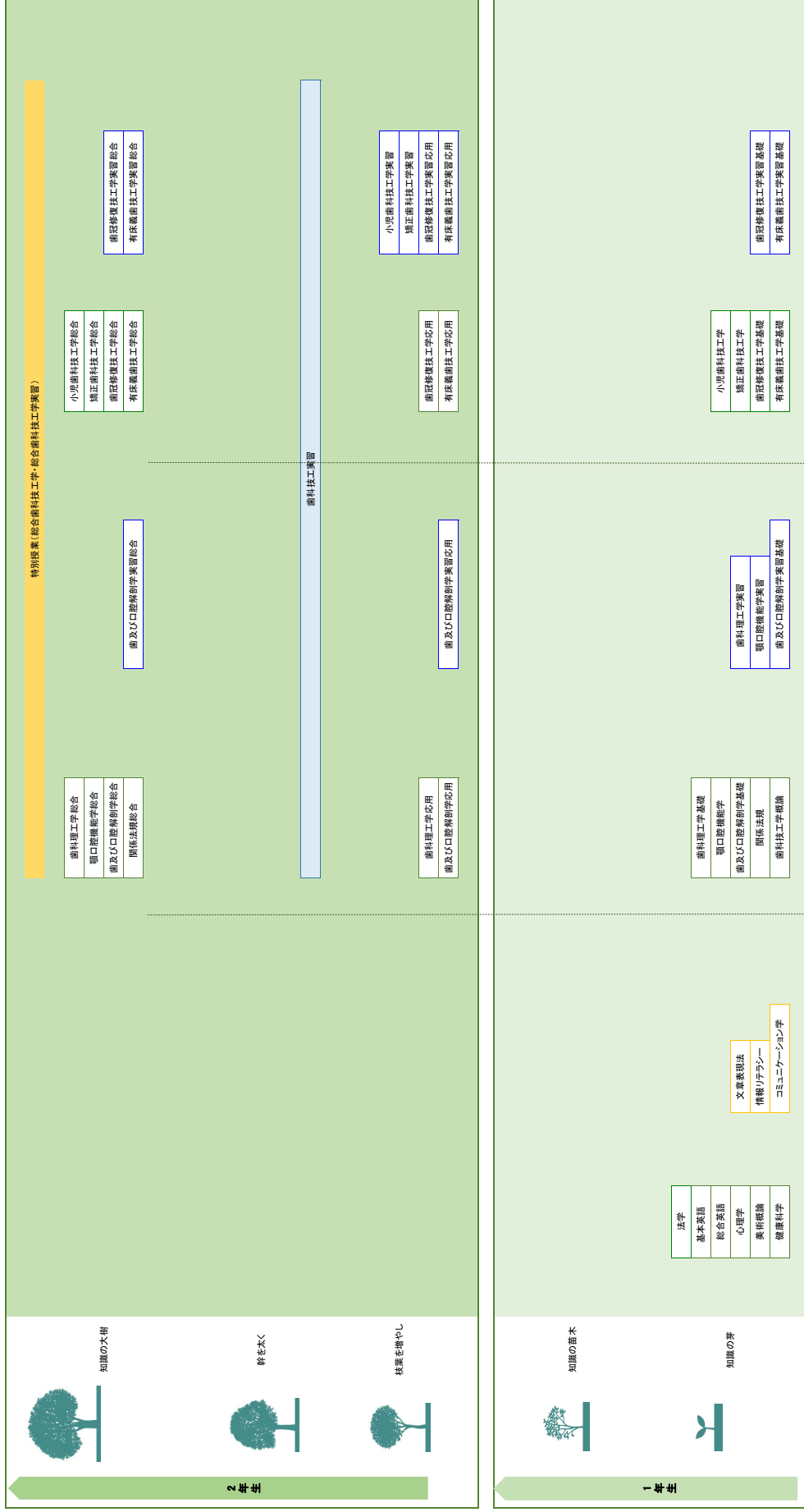
本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。



ディプロマポリシー 本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。



## 総目次

本書の使い方 .....	1
令和8年度教務予定表.....	2
前学期授業科目.....	4
後学期授業科目 .....	48

## 本書の使い方

本書は、日本歯科大学東京短期大学歯科技工学科の学生のみなさんが、履修すべき授業や実習の概要をあらかじめ把握し、自ら積極的に参加する意欲を起し、勉学の習慣を培うために作成しました。

各授業と実習を系統的に理解できるように下記にまとめてありますので、有効に活用して下さい。なお、国家試験の対象科目においては、「ユニット番号：名/学習目標(GIO)欄」に、そのユニットの内容が該当する国家試験出題基準の大項目・中項目などが記載されていますので、参考にして下さい。

### 記

- 1)受講に先だって、事前に該当授業と実習内容に目を通しておくこと
- 2)受講の際は、本書を必ず持参して、必要に応じてチェックすること
- 3)やむを得ず欠席した場合には、該当科目のページを確認しておくこと
- 4)休講などの場合には、該当科目の変更などを確認しておくこと
- 5)予習と復習の指針とすること
- 6)試験に際しては、試験範囲などの系統的な自学自習の指針とすること

令和8年度 教務予定表

月	日(曜)	事 項	
4	3(金)	入学式	
	4(土)	生命歯学部・東京短大合同新入生歓迎会(予定)	
	6(月)	技工学科第1学年・衛生学科第1学年 前学期オリエンテーション [7日(火)まで]	
		技工学科第2学年・衛生学科第2学年 前学期 オリエンテーション・前学期授業開始 衛生学科第3学年 前学期 オリエンテーション,専攻科歯科衛生学専攻 前学期オリエンテーション [7日(火)まで]	
	上旬	歯科衛生学科第2学年・第3学年 学力試験	
	7(月)	衛生学科第3学年 前学期授業開始 [9月29日(火)まで]	
	8(火)	衛生学科第3学年 臨床・臨地実習再開 [7月27日(月)まで] 技工学科第1学年・衛生学科第1学年 前学期授業開始 専攻科歯科衛生学専攻 前学期授業開始	
	下旬	技工学科第2学年 登院式	
	26(日)	合同合宿・クラブ活動週間 [28日(火)まで]	
	30(木)	休講[5月1日(金)まで] 未定	
	5	15(金)	学生健康診断(専攻科を除き休講)
24(日)		歯科衛生学科第2学年・第3学年 保護者会	
6	1(月)	日本歯科大学創立記念日	
	上旬	衛生学科第2学年 全国小学生歯みがき大会	
	6(土)	衛生学科第2学年 歯と口の健康週間事業	
	9(火)	技工学科第1学年 前学期試験 [6月18日(木)・9月10日(木)]	
	16(火)	技工学科第1学年 前学期追再試験 [6月23日(火)・9月15日(火)]	
7	上旬	短期大学交流会 専攻科歯科衛生学専攻「学修総まとめ科目 履修計画書」提出締切(特例) 衛生学科第3学年 千代田区立富士見小学校集団指導	
	17(金)	第2学年前学期試験 [7月24日(金)まで]	
	21(火)	技工学科第2学年 就職ガイダンス 衛生学科第1学年前学期試験 [7月27日(月)まで]	
	22(水)	技工学科第2学年 進学ガイダンス	
	27(月)	技工学科第1学年 夏期休暇 [8月31日(月)まで]	
	29(水)	衛生学科第3学年 前学期試験	
	31(金)	技工学科第2学年 夏期休暇 [8月21日(金)まで]	
	下旬	技工学科第2学年 企業見学会	
	8	3(月)	衛生学科第3学年 前学期追再試験 衛生学科第1学年 前学期追再試験 ,衛生学科第2学年 前学期追再試験 [7日(金)まで]
		4(火)	衛生学科第3学年 夏期休暇 [8月21日(金)まで]
10(月)		衛生学科第1学年 夏期休暇 [9月29日(火)まで],衛生学科第2学年 夏期休暇 [9月16日(水)まで] 専攻科歯科衛生学専攻 夏期休暇 [8月31日(月)まで]	
24(月)		衛生学科第3学年 授業再開 [9月29日(火)まで]	
		技工学科第2学年 授業再開 [9月7日(月)まで]	
9		1(火)	技工学科第1学年 授業再開 [9月30日(水)まで] 専攻科歯科衛生学専攻 前学期試験 [2日(水)まで]
	8(火)	技工学科第2学年 前学期試験 [9日(水)まで]	
	10(木)	専攻科歯科衛生学専攻 前学期追再試験 [11(金)まで]	
	15(火)	技工学科第2学年 前学期追再試験 [16日(水)まで]	
	17(木)	衛生学科第2学年授業再開[18日(金)まで]	
	25(金)	衛生学科第2学年 臨床・臨地実習オリエンテーション [30日(水)まで]	
	30(水)	衛生学科第1,2,3学年 後学期オリエンテーション	
	下旬	専攻科歯科衛生学専攻 大学改革支援・学位授与機構学習成果の提出締切(通例)	

月	日(曜)	事項
10	1(木)	技工学科第1, 2学年 後学期オリエンテーション・後学期授業開始, 衛生学科第1学年 後学期授業開始 衛生学科第2学年 登院式 衛生学科第3学年 後学期授業開始 [3月上旬まで], 専攻科歯科衛生学専攻 後学期オリエンテーション
	2(金)	衛生学科第2学年, 専攻科歯科衛生学専攻 後学期授業開始
	7(水)	衛生学科第2学年 臨床・臨地実習開始
	24(土)	富士見祭 [25日(日)まで]
	29(木)	技工学科第1学年 後学期試験 [12月1日(火)・12月15日(火)・2月1日(月)・2月8日(月)]
	下旬	衛生学科第2学年 上級救命講習
11	5(木)	技工学科第1学年 後学期追再試験[12月8日(火)・12月21日(月)・2月15日(月)・2月16日(火)]
	10(火)	衛生学科第3学年 文京区立茗台中学校集団指導
12	14(月)	技工学科第2学年 後学期試験 [15日(火)まで]
	14(月)	衛生学科第3学年 後学期試験 [16日(水)まで]
	21(月)	技工学科第2学年 後学期追再試験 [22日(火)まで] 衛生学科第3学年 後学期追再試験 [23日(水)まで]
	未定	専攻科歯科衛生学専攻 大学改革支援・学位授与機構実施小論文試験(通例)
	22(火)	技工学科第1学年 冬期休暇 [1月5日(火)まで]
	23(水)	技工学科第2学年 冬期休暇 [1月5日(火)まで]
	24(木)	衛生学科第1学年 冬期休暇 [1月5日(火)まで], 衛生学科第3学年 冬期休暇 [1月4日(月)まで]
	28(月)	専攻科歯科衛生学専攻 冬期休暇 [1月5日(火)まで]
	29(火)	衛生学科第2学年 冬期休暇 [1月4日(月)まで]
1	5(月)	衛生学科第2学年 授業再開 [1月22日(金)まで], 衛生学科第3学年 授業再開 [3月上旬まで]
	6(水)	技工学科第1学年 授業再開 [2月17日(水)まで], 技工学科第2学年 授業再開 [2月中旬まで] 衛生学科第1学年 授業再開 [1月20日(水)まで] 衛生学科第2学年 臨床・臨地実習再開 専攻科歯科衛生学専攻 授業再開 [2月26日(金)まで]
	18(月)	技工学科第2学年 第1回卒業試験(統合科目試験)
	21(木)	専攻科歯科衛生学専攻 後学期試験 [22日(金)まで]
	28(木)	衛生学科第1学年 後学期試験 [2月4日(木)まで], 専攻科歯科衛生学専攻 後学期追再試験 [29日(金)まで]
	29(金)	技工学科第2学年 第2回卒業試験(統合科目試験)
	下旬	衛生学科第3学年 第1回卒業試験(総論科目試験), 専攻科歯科衛生学専攻 研究成果発表会
2	12(金)	衛生学科第1学年 後学期追再試験 [19日(金)まで]
	19(金)	衛生学科第2学年 後学期試験 [24日(水)まで]
	中旬	技工学科第1学年 上級救命講習
	中旬	技工学科第2学年 歯科技工士国家試験
	中旬	衛生学科第3学年 第2回卒業試験(総論科目試験)
	18(木)	技工学科第1学年 春期休暇開始
	26(金)	衛生学科第2学年 後学期追再試験 [3月3日(水)まで]
	22(月)	衛生学科第1学年 春期休暇開始
	下旬	専攻科歯科衛生学専攻「学修総まとめ科目 成果の要旨」提出締切(特例) 専攻科歯科衛生学専攻 大学改革支援・学位授与機構実施審査結果通知(通例)
3	上旬	衛生学科第3学年 歯科衛生士国家試験
	上旬	学位記授与式(卒業式・修了式)
	4(木)	衛生学科第2学年 春期休暇開始
	下旬	技工学科第2学年・衛生学科第3学年 国家試験合格発表 専攻科歯科衛生学専攻 大学改革支援・学位授与機構実施審査結果通知(特例)

## 歯科技工学科 第1学年 前学期授業科目

文章表現法	6
情報リテラシー	8
心理学	10
健康科学	12
歯科理工学基礎	14
有床義歯技工学基礎	19
基本英語	22
歯冠修復技工学実習基礎	24
歯及び口腔解剖学実習基礎	29
歯冠修復技工学基礎	32
歯科技工学概論	35
歯及び口腔解剖学基礎	37
有床義歯技工学実習基礎	40
総合英語	44
コミュニケーション学	46

令和8年度 歯科技工学科 第1学年 前学期授業時間表

時限	1	2	3	4
時間 曜日	9:00-10:20	10:35-11:55	13:00-14:20	14:35-15:55
月	文章表現法 (小原) 選択 衛と共通	情報リテラシー (赤間) 衛と共通	心理学 (田副) 選択 衛と共通	健康科学 (石黒) 衛と共通
	歯冠修復技工学実習基礎 (竹井)		有床義歯技工学実習基礎 (赤間)	
火		歯科理工学基礎 (竹井)	有床義歯技工学基礎 (赤間)	基本英語 (横山) ----- 総合英語 (横山)
水	歯冠修復技工学実習基礎 (竹井) ----- コミュニケーション学 (鈴木)		歯及び口腔解剖学 実習基礎 (宇都宮)	歯冠修復技工学基礎 (竹井)
木	歯科技工学概論 (赤間) -----	歯科理工学基礎 (竹井)	歯及び口腔解剖学 基礎 (赤間)	
金	歯冠修復技工学実習基礎 (竹井)		有床義歯技工学実習基礎 (赤間)	

- 1) 授業期間：4月 8日 (水) ～ 9月30日 (水)
- 2) 夏期休暇：7月27日 (月) ～ 8月31日 (月)
- 3) 文章表現法学は、4月13日 (月) ～ 6月22日 (月)  
 情報リテラシーは、4月13日 (月) ～ 6月22日 (月)  
 心理学は、4月13日 (月) ～ 6月22日 (月)  
 健康科学は、4月13日 (月) ～ 6月22日 (月)  
 歯科技工学概論は、4月 9日 (木) ～ 6月 4日 (木)  
 基本英語は、4月14日 (火) ～ 6月16日 (火)  
 総合英語は、6月23日 (火) ～ 9月 8日 (火)  
 コミュニケーション学は、6月17日～7月 8日の毎週水曜日 9:00～11:55に行う。  
 6月29日 (月) から毎週月曜日 9:00～11:55は歯冠修復技工学実習基礎を行う。  
 13:00～15:55は有床義歯技工学実習基礎を行う。  
 7月15日 (水) から毎週水曜日 9:00～11:55は歯冠修復技工学実習基礎を行う。

\*感染症等の拡大状況によってはオンライン授業となる場合もあります。

## 本学期的学習目標 (GIO)

日本語の特徴の一端を理解した上で、実用的な文章の細かい表現方法や文章作成の技術を身につける。最終的に、自らの考えを相手に正確に伝える方法を自分のものにするために、文章作成の実際を訓練し理解する。

## 学習成果

## ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

	1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
○	2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
○	3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

## カリキュラムポリシー

	1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
○	2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備するべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
	3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
	4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
	5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講堂
1	前	月	9:00-10:20	生命歯学部131講堂

## 教科書・参考書

著者・編者	書名	版	出版社
	配付資料		
	国語辞典（電子辞書も可）		

## 担当者一覧

小原佳那子

## 成績評価

授業中の提出物(75%)・小テスト(20%)・受講態度(5%)

## 準備学習（予習・復習）

予習:授業中に指示する問題に対する、自身の解答をまとめておきましょう。小テストに向けて内容の確認をしておきましょう。  
復習:授業内容を振り返り、疑問点などがないか確認しておきましょう。

## オフィスアワー

日時:講義終了後15分

場所:生命歯学部131講堂

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	4/13	月	小原佳那子	ユニット1: 日本語の特徴を知る	1) 日本語の言語学上の分類を説明する。 2) 日本語の表現の特徴を説明する。 3) 日本語の運用上の問題点を説明する。
				GIO: 日本語を正しく運用できるようになるために、日本語とはどのような言語で、その表現にはどのような特徴があるのかを理解する。	
2	4/20	月	小原佳那子	ユニット2: 敬語表現1	1) 待遇表現とはどのようなものか理解する。 2) 尊敬語の性質について説明する。 3) 謙譲語の性質について説明する。 4) 丁寧語の性質について説明する。
				GIO: 学生、社会人、ならびに将来の歯科医療従事者として、適切で良好なコミュニケーションを構築するために、それぞれの敬語の違いや使い分けを理解する。	
3	5/11	月	小原佳那子	ユニット3: 敬語表現2	1) 待遇表現について説明する。 2) 尊敬語の性質について説明する。 3) 謙譲語の性質について説明する。 4) 丁寧語の性質について説明する。
				GIO: 学生、社会人、ならびに将来の歯科医療従事者として、適切で良好なコミュニケーションを構築するために、それぞれの敬語の違いや使い分けを理解する。	
4	5/18	月	小原佳那子	ユニット4: 敬語表現3	1) 様々な環境における敬語の運用について説明する。 2) 敬語の誤用について説明する。
				GIO: 学生、社会人、ならびに将来の歯科医療従事者として、適切で良好なコミュニケーションを構築するために、それぞれの敬語の違いや使い分けを理解する。	
5	5/25	月	小原佳那子	ユニット5: メール・手紙の作成演習	1) お礼、お詫び、お願いなど、様々なメール・手紙の方法を説明する。 2) メールと手紙の違いを具体的に説明する。
				GIO: メールや手紙で、相手に配慮して丁寧に伝えるために、目的や相手に応じて用いるべき手段や表現を理解する。また、メールと手紙の違いについて理解する。	
6	6/8	月	小原佳那子	ユニット6: 日本語リテラシー	1) 文章読解力を習得する意義について理解する。 2) 文章表現力を習得する意義について理解する。 3) 円滑なコミュニケーションのために必要なスキルとは何を説明する。
				GIO: 学生、社会人、ならびに将来の歯科医療従事者として求められるスキルを習得するために、読解力および表現力を学ぶ意義を理解する。また、円滑なコミュニケーションのために必要なスキルについても理解する。	
7	6/15	月	小原佳那子	ユニット7: 文章作成演習1	1) 構成メモの意味や作成方法を説明する。 2) 様々な物事を順序立てて説明する方法を理解する。 3) 正確に情報を伝達するための文章構成を理解する。 4) 1～3を踏まえ、説明文を作成する。
				GIO: 日常的な事柄や、自らの考えを正確に伝達するために、断片的な文章からわかりやすい文章に再構成する方法を理解する。	
8	6/22	月	小原佳那子	ユニット8: 文章作成演習2	1) 構成メモの意味や作成方法を説明する。 2) 自らの意見を客観的に表現する方法を理解する。 3) 正確に意見を伝達するための文章構成を理解する。 4) 1～3を踏まえ、意見文を作成する。
				GIO: 日常的な事柄や、自らの考えを正確に伝達するために、断片的な文章からわかりやすい文章に再構成する方法を理解する。	

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科衛生士、歯科技工士が医療現場で必要とされるICTスキルを身につけるために、インターネット上の情報倫理や著作権について配慮し、近年のコンピュータ技術に関する基礎知識を習得する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	前	月	10:35-11:55	生命歯学部 3階 パソコンルーム 他

## 教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
	配布資料		

## 担当者一覧

赤間亮一

## 成績評価

授業態度(20%)、各ユニットの課題(80%)

## 準備学習(予習・復習)

配付資料・該当する講義内容を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時:講義後15分

場所:生命歯学部 3階 パソコンルーム 他

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	4/13	月	赤間亮一	ユニット1:イントロダクション	1) パソコンルーム使用上のルールを確認する. 2) LMSの機能を利用できる. 3) Gmailで学内メールを送受信できる. 4) Google Driveを活用する.
				GIO: 本学での教育を円滑に受けるために, ICTインフラの基本操作を習得する.	
2	4/20	月	赤間亮一	ユニット2:情報倫理	1) SNSの問題点を述べる. 2) 著作権に配慮する. 3) 情報セキュリティに留意する. 4) 情報倫理ビデオを視聴する. 5) 情報倫理ビデオについて振り返りを行う.
				GIO: インターネットを健全に利用するために, 情報倫理に配慮した利用方法についての知識を身につける.	
3	5/11	月	赤間亮一	ユニット3:クラウドとデータストレージ	1) データセンターの役割を説明できる. 2) クラウドデータの取り扱いに配慮する. 3) Google Photoを活用する.
				GIO: ICTへの理解を深めるために, クラウド技術についての知識を身につける.	
4	5/18	月	赤間亮一	ユニット4: ネット検索と検索演算子	1) 主な検索演算子を列挙できる. 2) Google Chromeで高度な検索ができる. 3) Microsoft Excelで共同作業を実施する. 4) プロダクトを提出する.
				GIO: インターネットでの検索精度を高めるために, 高度な検索方法を習得する.	
5	5/25	月	赤間亮一	ユニット5:遠隔でのICT活用	1) Zoomミーティングに参加できる. 2) Microsoft Wordで共同作業を実施する. 3) プロダクトを提出する.
				GIO: 遠隔でICTを活用するために, ボイスチャットを使用した共同作業についての知識を身につける.	
6	6/8	月	赤間亮一	ユニット6:IoTとビッグデータ	1) IoTの構成を列挙できる. 2) ビッグデータの収集方法を説明できる. 3) ビッグデータの活用事例を調べる. 4) Microsoft PowerPointでスライドを作成する. 5) プロダクトを提出する.
				GIO: ICTへの理解を深めるために, 様々なセンサーから得られるデータの活用についての知識を身につける.	
7	6/15	月	赤間亮一	ユニット7:生成AI①	1) AIの歴史を知る, 2) 機械学習の概要を説明できる. 3) オプトアウトの設定を行う. 4) ChatGPTを体験する.
				GIO: 生成AIを適切に利用するために, 機械学習の仕組みについての知識を身につける.	
8	6/22	月	赤間亮一	ユニット8:生成AI②	1) 生成AIの問題点を列挙する. 2) ChatGPTが生成した文章を修正する. 3) 修正した文章を評価する.
				GIO: 生成AIを適切に利用するために, 生成物の取り扱いについての知識を身につける.	

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医療現場において患者をよく理解し適切な口腔ケアを促進するために、心理学の知見を援用してコミュニケーション能力を高めることを目標とする。また、自己理解および他者理解、患者心理の理解に寄与する心理学の基礎を概観する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。                                 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。                                      |

### カリキュラムポリシー

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。       |
| <input type="checkbox"/> | 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。         |
| <input type="checkbox"/> | 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。                                      |
| <input type="checkbox"/> | 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。 |
| <input type="checkbox"/> | 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。                                      |

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	前	月	13:00-14:20	短大 2階 201講堂

## 教科書・参考書

著者・编者	書 名	版	出版社
全国歯科衛生士教育協議会	歯科衛生学シリーズ 心理学	第1版	医歯薬出版

## 担当者一覧

田副真美

## 成績評価

受講態度30%、課題提出70%

## 準備学習 (予習・復習)

指定された教科書および配布資料を用いて予習復習をする。

## オフィスアワー

日時:講義終了後 場所:短大 2階 201講堂

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	4/13	月	田副 真美	ユニット1: 見る・聞く・感じるころ	1) 知覚の成り立ちについて説明できる. 2) 記憶のメカニズムについて説明できる.
				GIO: 外界を捉えるころの仕組みを修得するために、①知覚はどのように成立しているのかを知る②知覚の特徴を学ぶ③知覚に影響を与える要因を理解する.	3) 記憶の病理や歪みについて例を1つ挙げて説明できる.
2	4/20	月	田副 真美	ユニット2: 学ぶ・覚えるころ	1) 学習のプロセスを説明できる. 2) 記憶のメカニズムについて説明できる.
				GIO: 人間の行動を方向づける学習を理解するために、①学習はどのように成立しているのかを知る②記憶の構造や過程について理解する③記憶の病理や歪みについて学ぶ.	3) 記憶の病理や歪みについて例を1つ挙げて説明できる.
3	5/11	月	田副 真美	ユニット3: やる気の心理	1) 動機づけについて説明できる. 2) 動機づけの分類とその特徴を説明できる.
				GIO: 人間の行動に影響を与える動機づけを理解するために、①動機づけのメカニズムを知る②動機づけの種類を知る③欲求の種類とその特徴を理解する.	3) 欲求の種類とその特徴を説明できる.
4	5/18	月	田副 真美	ユニット4: 喜怒哀楽のころ	1) 感情の種類とメカニズムについて説明できる. 2) コンフリクトとフラストレーションについて説明できる.
				GIO: 感情について理解を深めるために、①感情の種類とメカニズムを知る②コンフリクト・フラストレーションについて学ぶ③ストレスとその対処について理解する.	3) ストレスとそのコーピングについて説明できる.
5	5/25	月	田副 真美	ユニット5: その人らしさの心理—パーソナリティ	1) 類型論と特性論について説明できる. 2) 心理検査について説明できる.
				GIO: 他者理解の助けとなるために、①パーソナリティの特徴をどのように記述し、説明するかを学ぶ②パーソナリティをどのように調べるかを学ぶ③パーソナリティの障害について学ぶ.	3) 神経症、統合失調症、人格障害について説明できる.
6	6/8	月	田副 真美	ユニット6: かしこさの心理	1) 知能の構造の理論について説明できる. 2) 知能検査の種類と特徴について説明できる.
				GIO: 他者理解の助けとなるために、①知能とその構造について知る②知能の測定方法を学ぶ③知能の障害のしくみはどのようにになっているのかを理解する.	3) 知的能力障害と認知症の理解とその対応について具体的に説明できる.
7	6/15	月	田副 真美	ユニット7: 考えるころ	1) 思考について説明できる. 2) 問題解決の方法について説明できる.
				GIO: 様々な考えを理解するために①考えとはどういうことなのかを理解する②問題解決の方法を知る③創造の過程と方法を学ぶ.	3) ブレインストーミングおよびKJ法について説明できる.
8	6/22	月	田副 真美	ユニット8: 発達するころ	1) 発達の概念、規定因について説明できる. 2) 発達段階と各段階の課題について説明できる.
				GIO: 人の一生の間に生じる様々な心理・行動上の変化である発達について理解を深めるために、①発達に影響をおよぼす要因を知る②それぞれの発達段階における課題を学ぶ③乳幼児から児童期の発達について学ぶ.	3) 乳児期、幼児期、児童期について説明できる.

## 本学期的学習目標 (GIO)

医療従事者として健康に関わる諸問題や最新情報を把握するために、生活習慣病の特徴や薬物および再生医療の特性、全身疾患に関連する専門性を理解する。

## 学習成果

## ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

<input type="radio"/>	1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
<input type="radio"/>	2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
<input type="radio"/>	3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

## カリキュラムポリシー

<input type="radio"/>	1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
<input type="radio"/>	2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備するべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
<input type="radio"/>	3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
<input type="radio"/>	4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
<input type="radio"/>	5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	前	月	14:35-15:55	201講堂

## 教科書・参考書

著者・编者	書 名	版	出版社
	配付資料		

## 担当者一覧

石黒一美・俣木志朗・大島克郎・中原 貴・名生幸恵・志賀千尋・田副真美・多和田奈津子

## 成績評価

課題提出

## 準備学習 (予習・復習)

事前にシラバスを読み、授業の内容を確認し、シラバスの用語を調べてみましょう。  
配布プリントの該当部分を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時:月曜日(15:55-17:00)

場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	4/13	月	俣木志朗	ユニット1:オーラルヘルスケアプロバイダー	1) プロフェッショナリズムを説明する。 2) 口腔健康管理の定義と意義を説明する。 3) 口腔健康管理の重要性を説明する。 4) オーラルヘルスケアプロバイダーの役割を説明する。
				GIO: 国民の健康を守るために、口腔健康管理の概念を理解する。	
2	4/20	月	名生幸恵	ユニット2: 本学と食育学の関わり	1) 「日本食養道」を概説する。 2) 食育の概念について説明する。 3) 食育の歴史を概説する。 4) 食育基本法を説明する。 5) 食育の現状と今後の課題を述べる。
				GIO: 将来、歯科医療者として食育支援に携わるために、本学と食育の関わりを知り、食育の重要性の理解に必要な基本的知識を修得する。	
3	5/11	月	田副真美	ユニット3: こころの健康づくり	1) ライフスタイルの3要素を述べる。 2) ストレス状態による心身の変化を説明する。 3) ストレスへの対応を説明する。 4) こころの健康づくりの体制を述べる。
				GIO: こころの健康づくりを理解するために、ライフスタイルを中心としたストレス要因を修得する。	
4	5/18	月	志賀千尋	ユニット4: 国際歯科保健医療	1) アジア諸国と日本の歯科医療従事者を比較する。 2) 歯科医療従事者とODAとの関連を説明する。 3) 歯科医療従事者とSDGsとの関連を説明する。
				GIO: 歯科衛生士と歯科技工士がグローバルに活躍するために、国際歯科保健医療サービスについて理解する。	
5	5/25	月	大島克郎	ユニット5: 口腔保健と行動経済学	1) 保健行動と口腔保健行動について説明する。 2) 口腔保健行動の重要性について説明する。 3) 行動経済学におけるバイアスについて説明する。 4) ナッジについて説明する。 5) 行動経済学の理論を活用した口腔保健対策を述べる。
				GIO: 口腔保健のための行動を理解するために、行動経済学的視点からのアプローチ法について修得する。	
6	6/8	月	多和田奈津子	ユニット6: がんサバイバーの活動	1) がんサバイバーの背景とその意味を述べる。 2) がんサバイバーシップの取り組みを説明する。 3) ピア・サポートの役割を説明する。 4) がん体験談を通してより身近に感じ、共に生きる社会づくりとは何かを述べる。
				GIO: がんサバイバーの活動を理解するために誕生の背景や取り組みおよびチーム医療とは何かを修得する。	
7	6/15	月	中原 貴	ユニット7: 再生医療と細胞バンク	1) 歯の幹細胞の特徴と魅力を理解する。 2) 歯の幹細胞を用いた再生医療を具体的に述べる。 3) 歯の細胞バンクの概要と意義を説明する。 4) 本学独自の医科・歯科連携、多職種連携を理解する。
				GIO: これからの医療人が知っておくべき「再生医療」と「細胞バンク」の関係性を理解し、生命歯学に立脚した日本歯科大学独自の医科・歯科連携、多職種連携を創造する。	
8	6/22	月	石黒一美	ユニット8: 患者中心の医療	1) 患者中心の医療の主要な考え方を説明できる。 2) 人によって感じ方や考え方が異なることを受容する。 3) 相手の立場や気持ちに配慮した発言ができる。 4) EBMとNBMを対比する。
				GIO: 患者中心の医療の基本を理解するために、患者の価値観・感情・生活背景に配慮した歯科医療者としての関わりを認識する。	

## 本学期的学習目標 (GIO)

口腔内において機能性、審美性および安全性を有する補綴装置を製作するために、歯科技工士に必要な歯科材料の組成、特性および使用方法について理解する。また、歯科技工に用いる機械・器具について、基本的な知識を修得する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備するべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	前	火・木	10:35-11:55	短大 4階 401講堂

## 教科書・参考書

著者・编者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科理工学	第2版	医歯薬出版
	配付資料		

## 担当者一覧

竹井利香

## 成績評価

定期試験 (100%)

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の教科書を事前に読み、専門用語の意味などを理解しておきましょう。  
配付プリント・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時: 講義後15分

場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	4/9	木	竹井利香	ユニット1: ガイダンス・歯科技工と歯科理工学 (技国 1~10) GIO: 歯科理工学を学習する意義について理解するために、口腔内の環境と歯科用材料の特殊性を知る。	1) 2年間の授業の流れについて理解する。 2) 理工学の学習の方法を修得する。 3) 理工学の意義と目的を認識する。 4) 歯科材料の特殊性を位置付ける。
2	4/14	火	竹井利香	ユニット2: 機械的性質 1 (技国 1-C) GIO: 材料の機械的性質を理解するために、基本的用語や引張試験と応力ひずみ曲線を知る。	1) 機械的性質を表す基本的用語と概念を述べる。 2) 応力ひずみ曲線を説明する。 3) 応力ひずみ曲線に関する性質を列記する。
3	4/16	木	竹井利香	ユニット3: 機械的性質 2 (技国 1-C) GIO: 材料の試験方法について理解するために、種々の試験方法とそれぞれの意義を知る。	1) 硬さの試験方法を分類する。 2) それぞれの硬さ試験法の特徴を説明する。 3) 種々の試験方法の特徴を比較する。 4) 各々の試験から判る材料の性質を説明する。 5) 歯科用材料に必要な性質と関係付ける。
4	4/21	火	竹井利香	ユニット4: 物理的・化学的性質 (技国 1-C) GIO: 歯科用材料の物理的・化学的性質を理解するために、基本的用語や性質の特徴を知る。	1) 歯科材料に必要な物理的性質を説明する。 2) 主な物理的性質の特徴を述べる。 3) 歯科材料の化学的性質を説明する。 4) 各材料の耐食性などの化学的性質を比較する。
5	4/23	木	竹井利香	ユニット5: 生物学的性質・接着 (技国 1-C, 9-A) GIO: 歯科材料の生物学的性質と接着を理解するために、基本的用語や性質の特徴を知る。	1) 生物学的性質について説明する。 2) 各材料の刺激性を述べる。 3) 接着の理論と応用について解説する。
6	5/7	木	竹井利香	ユニット6: まとめ 1 (技国 1-C, 9-A) GIO: 機械的・物理的・化学的・生物学的性質と接着について理解を深めるために、今までに履修した内容の見直しをはかり、知識を整理する。	1) 機械的性質に関する知識を具体的に述べる。 2) 物理的性質全体にわたる知識を説明する。 3) 化学的性質全般にわたる知識を比較する。 4) 生物学的性質に関する知識を分類する。 5) 接着理論と歯科応用について解説する。
7	5/12	火	竹井利香	ユニット7: まとめ 2 (技国 1-C, 9-A) GIO: 機械的・物理的・化学的・生物学的性質と接着に関する形成的評価を図るために、問題演習を通して今までに履修した内容の見直しをはかり、学習進捗を認識する。	1) 機械的性質に関する知識を具体的に述べる。 2) 物理的性質全体にわたる知識を説明する。 3) 化学的性質全般にわたる知識を比較する。 4) 生物学的性質に関する知識を分類する。 5) 接着理論と歯科応用について解説する。 6) 演習問題を解説する。
8	5/14	木	竹井利香	ユニット8: 印象材 1 (技国 2-A, B) GIO: 歯科技工において重要となる模型の精度を向上させるために、印象材の用途や所要性質、分類、アルジネート印象材および寒天印象材について理解する。	1) 印象材の用途を述べる。 2) 印象材の所要性質を述べる。 3) 印象材を分類する。 4) アルジネート印象材の性質を説明する。 5) 寒天印象材の性質を記述する。
9	5/19	火	竹井利香	ユニット9: 印象材 2 (技国 2-A, B) GIO: 歯科技工において重要となる模型の精度を向上させるために、ラバー系印象材と非弾性印象材について理解する。	1) ゴム質印象材の性質の要点を概説する。 2) 非弾性印象材それぞれの性質を説明する。
10	5/21	木	竹井利香	ユニット10: 印象材 3 (技国 2-A~C) GIO: 歯科技工において重要となる模型の精度を向上させるために、印象材の永久ひずみ、弾性ひずみ及び寸法精度について理解する。	1) 弾性ひずみと永久ひずみを関係付ける。 2) 印象と模型の関係について述べる。
11	5/26	火	竹井利香	ユニット11: 歯科用石膏 1 (技国 3-A) GIO: 歯科技工に多用される石膏について理解するために、その用途や製造方法および種類について知る。	1) 石膏の歯科における用途を説明する。 2) 石膏の製造法を分類する。 3) 石膏の種類を製造法の違いから比較する。
12	5/28	木	竹井利香	ユニット12: 歯科用石膏 2 (技国 3-A) GIO: 歯科技工に多用される石膏について理解するために、硬化反応と硬化時間について知る。	1) 石膏の硬化反応を述べる。 2) 硬化時の針状結晶の絡み合いを説明する。 3) 硬化時間の測定方法を列記する。 4) 硬化時間に影響する因子を説明する。 5) 硬化時間と針状結晶の絡み合いを関係付ける。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
13	6/2	火	竹井利香	ユニット13: 歯科用石膏 3 (技国 3-A) GIO: 歯科技工に多用される石膏について理解するために、硬化膨張について知る。また、グループワークを行い、石膏について理解を深める。	1) 石膏の硬化膨張の機構を説明する。 2) 硬化膨張の測定方法を列記する。 3) 硬化膨張に影響する因子を説明する。
14	6/4	木	竹井利香	ユニット14: 歯科用石膏 4 (技国 3-A) GIO: 歯科技工に多用される石膏について理解するために、圧縮強さについて知る。	1) 石膏の圧縮強さの測定方法を述べる。 2) 圧縮強さに影響する因子を説明する。
15	6/9	火	竹井利香	ユニット15: まとめ 3 (技国 2-A~C, 3) GIO: 印象材と石膏について理解を深めるために、今までに履修した内容の見直しをはかり、知識を整理する。	1) 印象材全体について知識をまとめる。 2) 歯科用石膏全体に関する知識を説明する。
16	6/11	木	竹井利香	ユニット16: まとめ 4 (技国 2-A~C, 3) GIO: 印象材と石膏について理解を深めるために、今までに履修した内容の見直しをはかり、知識を整理する。	1) 印象材全体について知識をまとめる。 2) 歯科用石膏全体に関する知識を説明する。 3) 演習問題について解説する。
17	6/16	火	竹井利香	ユニット17: 高分子の一般的性質 (技国 1-B, 4-A, 6-A, 7-A) GIO: 歯科領域で用いる高分子材料の特性を理解するために、種類や構造、特徴について知る。	1) 高分子の定義を説明する。 2) 高分子の構造を分類する。 3) 高分子の重合方法を比較する。 4) 高分子材料の特徴を説明する。
18	6/18	木	竹井利香	ユニット18: 歯科用ワックス 1 (技国 4-A) GIO: 歯科技工に用いる歯科用ワックスについて理解するために、その種類と用途を知る。	1) 歯科用ワックスを分類する。 2) 各種ワックスの用途を列記する。 3) ワックスの原料とその働きを説明する。
19	6/23	火	竹井利香	ユニット19: 歯科用ワックス 2 (技国 4-A) GIO: 歯科技工に用いる歯科用ワックスについて理解するために、歯科用ワックスの性質を知る。	1) 各種歯科用ワックスの特性を比較する。 2) ワックスパターン変形について基本を説明する。
20	6/25	木	竹井利香	ユニット20: 歯科用レジン 1 (技国 7-A) GIO: 歯科技工に用いる歯科用レジンについて理解するために、種類や組成などの必要な基本事項を知る。	1) 歯科用レジン进行分类する。 2) 加熱重合レジンの組成を説明する。 3) 常温重合・加熱重合レジンの組成を比較する。 4) 粉液の混和から填入までの変化を説明する。
21	6/30	火	竹井利香	ユニット21: 歯科用レジン 2 (技国 7-A, 8-A) GIO: 義歯床用レジンについて理解するために、レジン使用上の注意点を述べる。	1) 重合方法と注意点を具体的に述べる。 2) 加熱重合レジンの特徴を説明する。 3) 加熱重合レジンの気泡の発生原因について述べる。 4) 常温重合レジンの使用方法を説明する。
22	7/2	木	竹井利香	ユニット22: 歯科用レジン 3 (技国 7-A, C, D, 8-A) GIO: 義歯床用レジンの成形法について理解するために、具体的な操作法を知る。また、その他のレジンの種類や特徴を知る。	1) 加熱重合レジンの成形法を説明する。 2) 常温重合レジンの成形法を説明する。 3) その他の義歯床用レジンの特徴を列記する。
23	7/7	火	竹井利香	ユニット23: 歯科用レジン 4 (技国 6-A, 8-A) GIO: 歯冠用硬質レジンとCAD/CAM用コンポジットレジンについて理解するために、その組成や成形法を知る。	1) 歯冠用硬質レジンの組成を述べる。 2) 歯冠用硬質レジンの成形法を述べる。 3) 歯冠用硬質レジンの性質を説明する。 4) CAD/CAM用コンポジットレジンの種類を述べる。 5) CAD/CAM用コンポジットレジンの組成を述べる。
24	7/9	木	竹井利香	ユニット24: まとめ 5 (技国 4-A, 6-A, 7-A, C, D, 8-A) GIO: 歯科用ワックスと歯科用レジンについて理解を深めるために、今までに履修した内容の見直しをはかり、知識を整理する。	1) 高分子材料について説明する。 2) 歯科用ワックスの種類と性質を列記する。 3) 歯科用レジン进行分类する。 4) 歯科用レジンの性質と操作方法をまとめる。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
25	7/14	火	竹井利香	ユニット25:まとめ 6 (技国 4-A, 6-A, 7-A, C, D, 8-A) GIO: 歯科用ワックスと歯科用レジンに関する形成的評価を図るために、問題演習を通して今までに履修した内容の見直しをはかり、学習進捗を認識する。	1) 高分子材料について知識を評価する。 2) 歯科用ワックスについて知識の深さを測る。 3) 歯科用レジンについて理解度を調べる。 4) 演習問題について解説する。
26	7/16	木	竹井利香	ユニット26: 金属 (技国 1-B, 6-C, 7-B) GIO: 歯科用合金の特徴について理解するために、その分類や概要を知る。	1) 金属の特徴を列挙する。 2) 原子と原子の結合について述べる。 3) 金属結合と金属の結晶構造を説明する。 4) 合金の種類を説明する。 5) 固溶体合金と共晶合金を対比する。
27	7/21	火	竹井利香	ユニット27: 歯科用合金 1 (技国 6-C, 7-B) GIO: 歯科用合金について理解するために、その分類と所要性質について知る。	1) 歯科用合金を分類する。 2) 歯科用合金の用途を列挙する。 3) 歯科用合金の所要性質を述べる。 4) 金合金の国際規格を述べる。
28	7/23	木	竹井利香	ユニット28: 歯科用合金 2 (技国 6-C, 7-B) GIO: 歯科用合金について理解するために、金合金と銀合金の分類や特徴について知る。	1) 金合金の熱処理方法を述べる。 2) 加工用金合金を鑄造用金合金と比較する。 3) 陶材焼付用金合金について説明する。 4) 銀合金を分類する。 5) 金銀パラジウム合金の種類を述べる。 6) 銀合金と金合金の性質を比較する。
29	9/1	火	竹井利香	ユニット29: 歯科用合金 3 (技国 6-C, 7-B) GIO: 歯科用合金について理解するために、コバルトクロム合金、ニッケルクロム合金、ステンレス鋼、チタン合金およびその他の合金の特徴を知る。	1) コバルトクロム合金の組成を説明する。 2) 同合金の鑄造上の問題点を指摘する。 3) ニッケルクロム合金の組織を説明する。 4) ステンレス鋼の用途を説明する。 5) チタンの用途を列挙する。
30	9/3	木	竹井利香	ユニット30: まとめ 7 (技国 1-B, 6-C, 7-B) GIO: 歯科用合金について理解を深めるために、今までに履修した内容の見直しをはかり、知識を整理する。	1) 歯科用合金の種類を述べる。 2) 歯科用合金の性質を比較する。 3) 貴金属合金の添加元素について述べる。 4) 非貴金属合金の特徴について述べる。
31	9/8	火	竹井利香	ユニット31: 鑄造の基礎 (技国 5, 8-C) GIO: 金属成形の手法について修得するために、鑄造の基礎理論を知る。	1) 鑄込まれた合金の凝固過程を理解する。 2) 鑄造収縮を説明する。 3) 鑄造収縮の補正方法を述べる。
32	9/10	木	竹井利香	ユニット32: 埋没材 1 (技国 5-A~C) GIO: 歯科精密鑄造について修得するために、鑄造用埋没材の種類と組成を理解する。	1) 埋没材を分類する。 2) 各種埋没材の特徴を列記する。 3) 鑄造用埋没材の所要性質を述べる。 4) 鑄造用埋没材を使用目的により分類する。 5) 鑄造用埋没材の組成を説明する。
33	9/15	火	竹井利香	ユニット33: 埋没材 2 (技国 5-A~C) GIO: 歯科精密鑄造について修得するために、石膏系埋没材の性質と特徴を理解する。	1) 石膏系埋没材の性質を説明する。 2) 鑄造収縮補正理論と埋没材の膨張を関係付ける。
34	9/17	木	竹井利香	ユニット34: 埋没材 3 (技国 5-A~C) GIO: 歯科精密鑄造について修得するために、リン酸塩系埋没材と鑄造床の鑄造収縮補正理論について理解する。	1) リン酸塩系と石膏系埋没材の組成を説明する。 2) リン酸塩系と石膏系埋没材の性質を比較する。 3) 鑄造床の鑄造収縮補正について述べる。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
35	9/24	木	竹井利香	ユニット35: 鑄造 1 (技国 8-C)	1) ワックスパターンの変形を説明する。 2) 埋没操作の注意点を列挙する。 3) リングの加熱時の注意点を述べる。 4) リング内における埋没材の膨張について説明する。
				GIO: 歯科精密鑄造について修得するために、埋没操作や、リング加熱とリング内の埋没材の膨張について理解する。	
36	9/29	火	竹井利香	ユニット36: 鑄造 2 (技国 8-C)	1) 合金の融解熱源について説明する。 2) 鑄造方法を分類する。 3) 各鑄造方法の特徴を述べる。
				GIO: 歯科精密鑄造について修得するために、合金の融解熱源と鑄造方法について理解する。	

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯の喪失によって失われた咀嚼系の形態と機能の回復を理解するために、全部床義歯による補綴治療、部分床義歯による補綴治療の臨床術式および技工操作に必要な基礎的な知識を修得する。

## 学習成果

## ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

## カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	前	火	13:00-14:20	短大 4階 401講堂

## 教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第2版	医歯薬出版

## 担当者一覧

赤間亮一・秋山仁志・富田 淳

## 成績評価

定期試験・追再試験の採点結果(100%)を成績の評価対象とする。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の教科書を事前に読み、専門用語の意味などを理解しておきましょう。  
配付プリント・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時:講義後15分

場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	4/14	火	富田 淳	ユニット1: ガイダンス・有床義歯技工学概説 (技国 1-B)	1) 有床義歯技工学の意義と目的を説明する。 2) 有床義歯の種類を述べる。 3) 有床義歯と固定性補綴物との相違を説明する。
				GIO: 全部床義歯と部分床義歯製作に必要な技工操作の知識を身につけるために、有床義歯技工学の意義と目的を知り、全部床義歯と部分床義歯について理解する。	
2	4/21	火	秋山仁志	ユニット2: 有床義歯技工に関連のある生体についての基礎知識 (技国 1-C, D)	1) 関連する解剖的基礎知識を述べる。 2) 関連のある形態的基礎知識を述べる。 3) 関連のある機能的基礎知識を述べる。 4) 関連のある審美的基礎知識を述べる。 5) 下顎の位置と運動の基礎知識を説明する。
				GIO: 全部床義歯と部分床義歯製作に必要な技工操作の基礎的な知識を身につけるために、有床義歯技工に関連のある生体についての基礎的な知識を修得する。	
3	5/12	火	秋山仁志	ユニット3: 全部床義歯の特性 (技国 1-D, E, H) ユニット4: 印象採得に伴う技工作業 (技国 2-A~C)	1) 全部床義歯の構成要素を説明する。 2) 全部床義歯の種類を説明する。 3) 全部床義歯の維持安定を述べる。 4) 無歯顎の形態的特徴を説明する。 5) 無歯顎の印象とトレーを説明する。 6) 精密印象と作業模型を説明する。
				GIO: 全部床義歯製作に必要な技工操作の知識を身につけるために、全部床義歯の構造と種類、上下無歯顎の各部の名称を理解する。	
4	5/19	火	秋山仁志	ユニット5: 咬合採得に伴う技工作業 (技国 2-D~F)	1) 咬合採得の目的を述べる。 2) 咬合床の役割を述べる。 3) 咬合床製作に必要な作業用模型の処理を説明する。 4) 作業用模型の咬合器への装着方法を列挙する。
				GIO: 全部床義歯製作に必要な技工操作の知識を身につけるために、全部床義歯製作における咬合床について理解し、咬合採得に伴う技工について知る。	
5	5/26	火	富田 淳	ユニット6: 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成 (1) (技国 2-H, I)	1) 人工歯の種類を説明する。 2) 人工歯の選択方法を述べる。 3) 前歯部人工歯排列を説明する。 4) 前歯部排列の原則を述べる。 5) 上顎前歯部の個性的排列を説明する。
				GIO: 全部床義歯製作に必要な技工操作の知識を身につけるために、前歯と臼歯部人工歯排列について修得する。	
6	6/2	火	富田 淳	ユニット7: 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成 (2) (技国 2-H, I)	1) 有床義歯に付与する咬合様式を説明する。 2) 前歯部の人工歯排列方法を説明する。 3) 臼歯部の人工歯排列方法を説明する。 4) 歯肉形成の目的を述べる。
				GIO: 適切な義歯を製作するために、歯肉形成の目的を知り、歯肉形成の方法と蝟義歯の試適方法について理解する。	
7	6/9	火	富田 淳	ユニット8: 全部床義歯の埋没と重合 (技国 2-J, K)	1) 埋没の前準備を説明する。 2) 加熱重合法の埋没の種類と特徴を述べる。 3) 流ろうの方法を説明する。 4) レジン重合法の種類と特徴を述べる。
				GIO: 適切な義歯を製作するために、全部床義歯のプラスチック埋没法の種類と特徴について理解し、重合法を修得する。	
8	6/16	火	富田 淳	ユニット9: 全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨 (技国 2-L~N)	1) 咬合器再装着の方法と特徴を述べる。 2) 咬合小面を説明する。 3) 選択削合と自動削合を比較する。 4) 研磨の目的と要点を説明する。 5) 義歯の洗浄と完成後の保管を説明する。
				GIO: 適切な義歯を製作するために、全部床義歯の咬合器への再装着法を知り、人工歯削合法を修得する。	
9	6/23	火	富田 淳	ユニット10: 全部床義歯のまとめ (確認試験と解説) (技国 1-C~H 2-A~N)	1) 全部床義歯の構成要素を説明する。 2) 咬合採得の目的を述べる。 3) 人工歯の選択方法を述べる。 4) 有床義歯に付与する咬合様式を説明する。 5) レジン重合法の種類と特徴を述べる。 6) 咬合器再装着の方法と特徴を述べる。
				GIO: 適切な義歯を製作するために、客観的試験をとおしてその製作手順を理解する。	
10	6/30	火	赤間亮一	ユニット11: 部分床義歯の特性 (技国 1-F, G) ユニット12: 部分床義歯の構成要素 (1) (技国 1-F)	1) 部分床義歯の構成要素を列挙する。 2) 部分床義歯における維持、支持および把持を説明する。 3) 部分床義歯を咬合圧の支持様式で分類する。 4) 残存歯と欠損の分布状態の分類について述べる。 5) 部分床義歯の使用目的の分類を述べる。
				GIO: 適切な義歯を製作するために、部分床義歯の構成要素を理解し、部分床義歯の分類法、支台装置・連結子の種類や機能を修得する。	
11	7/7	火	赤間亮一	ユニット13: 部分床義歯の構成要素 (2) ユニット14: 部分床義歯の構成要素 (3) (技国 1-F)	1) 直接支台装置と間接支台装置を説明する。 2) 各種クラスプを説明する。 3) 環状型クラスプの種類と特徴を列記する。 4) バー型クラスプの種類と特徴を列記する。 5) レストの目的を説明する。 6) レストの種類を述べる。
				GIO: 適切な義歯を製作するために、部分床義歯の構成要素を理解し、部分床義歯の分類法、支台装置・連結子の種類や機能を修得する。	
12	7/14	火	赤間亮一	ユニット15: 部分床義歯の構成要素 (4) ユニット16: 部分床義歯の構成要素 (5) (技国 1-F)	1) 大連結子と小連結子の目的を説明する。 2) 大連結子の種類と特徴を説明する。 3) 連結子の利点と欠点を列記する。 4) 連結子の分類を列記する。 5) 義歯床の役割を述べる。 6) 義歯床の外形線の設定について説明する。
				GIO: 適切な義歯を製作するために、部分床義歯の構成要素を理解し、部分床義歯の分類法、支台装置・連結子の種類や機能を修得する。	

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
13	7/21	火	秋山仁志	ユニット17:部分床義歯の印象採得に伴う技工作業(技国 3-A~C) ユニット18:咬合採得に伴う技工作業(技国 3-E, F) GIO:部分床義歯製作に必要な知識を身につけるために,印象採得と咬合採得について理解する。	1)模型上の解剖学的ランドマークを列挙できる。 2)印象採得に伴う技工作業を説明する。 3)咬合採得に伴う技工作業を説明する。
14	9/1	火	赤間亮一	ユニット19:サベイング(技国 3-G) GIO:部分床義歯製作に必要な技工操作の知識を身につけるために,サベイングの目的と使用方法を修得する。	1)サベイヤーの使用目的を説明する。 2)サベイヤーの構造と種類を列記する。 3)サベイングの方法を説明する。 4)鋳造鉤の製作方法を説明する。 5)線鉤の製作方法を説明する。
15	9/8	火	赤間亮一	ユニット20:部分床義歯のまとめ(確認試験と解説)(技国 1-F 3-A~G) GIO:適切な義歯を製作するために,客観的試験をとおしてその製作手順を理解する。	1)部分床義歯の構成要素を列挙する。 2)残存歯と欠損の分布状態の分類について述べる。 3)直接支台装置と間接支台装置を説明する。 4)大連結子と小連結子の目的を説明する。 5)模型上の解剖学的ランドマークを列挙できる。 6)サベイヤーの使用目的を説明する。
16	9/15	火	秋山仁志	ユニット21:アタッチメント, テレスコープ義歯 GIO:部分床義歯製作に必要な技工操作の知識を身につけるために,部分床義歯の支台装置を理解し,アタッチメントの製作方法について修得する。	1)アタッチメントの種類を列記する。 2)アタッチメントの利点を列記する。 3)アタッチメントの欠点を列記する。 4)テレスコープ義歯の特徴を列記する。
17	9/29	火	赤間亮一	ユニット22:バー(技国 3-H) GIO:部分床義歯製作に必要な技工操作の知識を身につけるために,部分床義歯の連結子を理解し,製作方法を修得する。	1)連結子製作方法を説明する。 2)鋳造バーの製作方法を説明する。 3)屈曲バーの製作方法を説明する。

## 本学期的学習目標 (GIO)

英語はグローバル社会におけるコミュニケーションの中心的な言語である。コミュニケーション能力に優れ、グローバルに活躍する歯科技工士の育成のために、基本的な英語力を習得する。基礎語彙を活かせる、知識というよりも使える英文法を認識する、とっさの一言を発言できる、といった実践的な英語を身に付ける。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。                                 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。                                      |

### カリキュラムポリシー

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。       |
| <input type="checkbox"/> | 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備するべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。        |
| <input type="checkbox"/> | 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。                                      |
| <input type="checkbox"/> | 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。 |
| <input type="checkbox"/> | 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。                                      |

学年	学期	曜日	時間	講堂
1	前	火	14:35-15:55	短大 4階 401講堂

## 教科書・参考書

著者・编者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科英語	第1版	医歯薬出版
	配付資料		

## 担当者一覧

横山知美

## 成績評価

定期試験(70%)と演習(30%)

## 準備学習(予習・復習)

授業範囲の教科書を事前に読み、わからない言葉を確認しておきましょう。  
 授業範囲の教科書を事前に読み、専門用語の意味などを理解しておきましょう。  
 配付プリント・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時:講義終了後

場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	4/14	火	横山知美	ユニット1:オリエンテーション・文の構成	1) 授業の目標と授業内容を理解する。 2) 文の構成について知る。 3) 外食に関する表現を覚える。 4) 外食の語彙を習熟し、使用する。
				GIO: 文で表現するために、文の構成に関する文法事項を身に付ける。外食の英語表現を理解する。外食に関する語彙を習得する。	
2	4/21	火	横山知美	ユニット2: 動詞	1) 動詞について知る。 2) 交通機関に関する表現を覚える。 3) 交通機関の語彙を習熟し、使用する。
				GIO: 動詞を使いこなすために、動詞に関する文法事項を身に付ける。交通機関の英語表現を理解する。交通機関に関する語彙を習得する。	
3	5/12	火	横山知美	ユニット3: 名詞と代名詞	1) 名詞と代名詞について知る。 2) キャンパスライフに関する表現を覚える。 3) キャンパスライフの語彙を習熟し、使用する。
				GIO: 名詞・代名詞を使いこなすために、名詞と代名詞に関する文法事項を身に付ける。キャンパスライフの英語表現を理解する。キャンパスライフに関する語彙を習得する。	
4	5/19	火	横山知美	ユニット4: 前置詞	1) 前置詞について知る。 2) おしゃれに関する表現を覚える。 3) おしゃれの語彙を習熟し、使用する。
				GIO: 前置詞を使いこなすために、前置詞に関する文法事項を身に付ける。おしゃれの英語表現を理解する。おしゃれに関する語彙を習得する。	
5	5/26	火	横山知美	ユニット5: 形容詞	1) 形容詞について知る。 2) アルバイトに関する表現を覚える。 3) アルバイトの語彙を習熟し、使用する。
				GIO: 形容詞を使いこなすために、形容詞に関する文法事項を身に付ける。アルバイトの英語表現を理解する。アルバイトに関する語彙を習得する。	
6	6/2	火	横山知美	ユニット6: 副詞	1) 副詞について知る。 2) ルックスに関する表現を覚える。 3) ルックスの語彙を習熟し、使用する。
				GIO: 副詞を使いこなすために、副詞に関する文法事項を身に付ける。ルックスの英語表現を理解する。ルックスに関する語彙を習得する。	
7	6/9	火	横山知美	ユニット7: 接続詞	1) 接続詞について知る。 2) 買い物に関する表現を覚える。 3) 買い物の語彙を習熟し、使用する。
				GIO: 接続詞を使いこなすために、接続詞に関する文法事項を身に付ける。買い物の英語表現を理解する。買い物に関する語彙を習得する。	
8	6/16	火	横山知美	ユニット8: まとめ	1) 基本英語で学んだことを復習する。
				GIO: 基本英語で学んだ内容を確認する。	

# 歯冠修復技工学実習基礎

水曜日  
金曜日

9:00～11:55

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯冠修復物の製作を通して、人々の健康に寄与できる歯科技工士となるために、歯冠修復技工操作の各種手技の基礎的事項を実際に修得する。また、歯冠修復技工学の学説と平行して履修することにより、操作技術を理論的に修得し、臨床的事項についても理解を深める。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	前	水・金	9:00-11:55	短大 4階 基礎実習室・鑄造研磨室

## 教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学	第2版	医歯薬出版
	歯冠修復技工学実習書		

## 担当者一覧

竹井利香・雲野泰史・宇都宮宏充・茂原宏美

## 成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)、製作物・提出物(80%)の結果を評価対象とする。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の教科書・実習書を事前に読み、わからない言葉を確認しておきましょう。実習内容を理解し、意義や製作手順を覚えましょう。

## オフィスアワー

日時: 実習後15分                      場所: 4階 基礎実習室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1 2	4/8	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット1:体験実習1 印象・石膏注入 ユニット2:体験実習2 ワックスパターン形成① (技国 2-B, I) GIO:歯冠修復物製作の流れを理解するために、 金属成形を行う。模型製作と原型製作を通じて使用 器材の特徴を体得する。	1) 模擬印象採得を実施する。 2) 石膏練和に必要な器材を準備する。 3) 石膏練和を実施する。 4) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 5) 適切な作業姿勢や器具の配置を模倣する。 6) 手指や形成器の正しい使い方を実施する。
3 4	4/10	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット3:体験実習3 ワックスパターン形成② ユニット4:体験実習4 埋没 (技国 2-I, J) GIO:金属成形を修得するために、ワックスパター ン形成の術式を知る。埋没から鋳造までの流れを 理解し、埋没操作を身につける。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) ワックスパターン形成の術式について述べる。 3) ワックス操作を実施する。 4) 埋没法に必要な器材を準備する。 5) 埋没操作の術式について述べる。 6) 埋没操作を実施する。
5 6	4/15	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット5:体験実習5 鋳造 ユニット6:体験実習6 粗研磨 (技国 2-K, N) GIO:金属成形を修得するために、鋳造と鋳造後 処理を実施する。さらに、鋳造体の調整研磨法を 知り、粗研磨の方法を身につける。	1) 鋳造法について説明する。 2) 鋳造法を実施する。 3) 鋳造後処理を実施する。 4) 調整研磨法について説明する。 5) 調整研磨に必要な器材を準備する。 6) 粗研磨を実施する。
7 8	4/17	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット7:体験実習7 中研磨 ユニット8:体験実習8 仕上げ研磨 (技国 2-N) GIO:金属成形を修得するために、鋳造体の調整 研磨法を知り、中研磨、仕上げ研磨の方法を身に つける。	1) 研磨に必要な器材を準備する。 2) 研磨の手順を述べる。 3) 研磨を実施する。
9 10	4/22	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット9:体験実習9 仕上げ研磨 提出 ユニット10:咬合面の8要素1 咬合器装着上顎 (技国 2-G, I, N) GIO:金属成形を修得するために、鋳造体の仕上 げ研磨法の実際を身に付け、技工操作の流れを 確認する。顎機能運動を再現するために模型を咬 合器に装着する。	1) 研磨に必要な器材を準備する。 2) 研磨の手順を述べる。 3) 技工操作の流れを具体的に述べる。 4) 製作物を提出する。 5) 咬合器装着に必要な器材を準備する。 6) 上顎模型の咬合器装着を行う。
11 12	4/24	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット11:咬合面の8要素3 咬合器装着下顎 ユニット12:咬合面の8要素4 パターン形成① (技国 2-G, I) GIO:顎機能運動を再現するために模型を咬合器 に装着する。原型製作を通じて歯冠形態を修得す るために、模型の観察を行う。	1) 咬合器装着に必要な器材を準備する。 2) 咬合器の役割について述べる。 3) 下顎模型の咬合器装着を行う。 4) 咬合面の構成要素を分類する。 5) 模型の観察と調整を行う。
13 14	5/8	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット13:咬合面の8要素5 パターン形成② ユニット14:咬合面の8要素6 パターン形成③ (技国 2-I) GIO:原型製作の術式を修得するために、上顎小 臼歯のワックスパターン形成を行う。また、模型上 で歯の形態的特徴を観察できる目を養う。	1) 咬合面の構成要素を分類する。 2) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 3) ワックスパターン形成法を分類する。 4) ワックスコーンテクニックを説明する。 5) 形成用器材の正しい使用法を述べる。
15 16	5/13	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット15:咬合面の8要素7 パターン形成④ ユニット16:咬合面の8要素8 パターン形成⑤ (技国 2-I) GIO:原型製作の術式を修得するために、上顎小 臼歯のワックスパターン形成を行う。また、模型上 で歯の形態的特徴を観察できる目を養う。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) 作業台上の器具の配置を工夫する。 3) 咬合面の構成要素を分類する。 4) 裂溝や小窩の形態の整理を行う。
17 18	5/20	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット17:咬合面の8要素9 完成・提出 ユニット18:作業用模型1 模型のトリミング (技国 2-F, I) GIO:原型製作の術式を修得するために、ワックス パターン形成を完成させる。精度の高い作業用模 型を製作するために、その製作過程を知る。	1) ろう型の表面処理を工夫する。 2) 製作したろう型を提出する。 3) 作業用模型製作に必要な器材を準備する。 4) 作業用模型製作過程を列記する。 5) 模型のトリミングを行う。
19 20	5/22	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット19:作業用模型2 ダウエルピン植立 ユニット20:作業用模型3 台付け・台付け修正 (技国 2-F) GIO:作業用模型の可撤機構を理解するために、 ダウエルピン植立の目的と手法を知る。また、台付 けラバーを用いた模型製作法を身につける。	1) 作業用模型製作に必要な器材を準備する。 2) ダウエルピン植立を行う。 3) 台付けラバーを用いた模型製作を行う。 4) 台付け模型の修正を工夫する。
21 22	5/27	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット21:作業用模型4 咬合器装着 ユニット22:作業用模型5 模型調整・分割 (技国 2-F, G) GIO:咬合器の重要性を理解するために、模型装 着の術式を身につける。また、模型の分離方法を 修得するために分割を行う。	1) 実習に必要な器材を準備する。 2) 咬合器装着に必要な器材を準備する。 3) 咬合器装着後の調整を行う。 4) 模型の分割を分割ノコで行う。
23 24	5/29	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット23:作業用模型6 トリミング ユニット24:作業用模型7 完成・提出 (技国 2-F) GIO:トリミングの目的や手法を理解するために、 実際にトリミングを行う。また、製作した作業用模 型の客観的な評価を行う。	1) トリミングの目的を述べる。 2) 歯型のトリミングを行う。 3) 模型の仕上げを工夫する。 4) 製作した模型を提出する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
25 26	6/3	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット25:全部金属冠1 パターン形成 ① ユニット26:全部金属冠2 パターン形成 ② (技国 2-I) GIO:全部金属冠の製作法を理解するために、ワックスパターン形成を行う。また、模型の観察により上顎大臼歯の基本的形態を知る。	1)ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2)カービング法によるワックスパターン形成を行う。 3)反対側同名歯の形態を観察する。 4)各咬頭の高さを比較する。
27 28	6/5	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット27:全部金属冠3 パターン形成 ③ ユニット28:全部金属冠4 パターン形成 ④ (技国 2-I) GIO:ワックスパターン形成の術式を修得するために、ワックスパターン形成を行う。特に、外形の形態回復の要点を知る。	1)ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2)カービング法によるワックスパターン形成を行う。 3)反対側同名歯と蝸型の形態を比較する。 4)最大豊隆部を比較する。 5)接触点の位置を観察する。
29 30	6/10	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット29:全部金属冠5 パターン形成 ⑤ ユニット30:全部金属冠6 パターン形成 ⑥ (技国 2-I) GIO:ワックスパターン形成の術式を修得するために、ワックスパターン形成を行う。咬合面形態回復の要点を知り、仕上げ手法を身につける。	1)ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2)辺縁隆線の高さを比較する。 3)裂溝や小窩の形態の整理を行う。 4)ろう型の表面処理を工夫する。
31 32	6/12	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット31:全部金属冠7 埋没準備 ユニット32:全部金属冠8 埋没 (技国 2-J) GIO:鋳型製作の手法について理解するために、埋没準備と埋没法を修得する。特に、スプレーイングの重要性を理解する。	1)ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2)ろう型辺縁部の仕上げを行う。 3)ろう型に必要な接触点の状態を模倣する。 4)スプレーイングの要件を列記する。 5)埋没に必要な器材を準備する。 6)埋没を行う。
33 34	6/19	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット33:全部金属冠9 鋳造 ユニット34:全部金属冠10 適合 (技国 2-K) GIO:鋳造法を修得するために、ブローパイプ炎を使用して合金の融解を実施し、遠心鋳造を行う。また、鋳造体の処理を行う。	1)鋳造に必要な器材を準備する。 2)鋳造を行う。 3)鋳造後処理について述べる。 4)歯型への適合調整を行う。
35 36	6/26	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット35:全部金属冠11 調整 ユニット36:全部金属冠12 粗研磨 (技国 2-M, N) GIO:金属冠の適切な仕上げを身につけるため、鋳造体の調整法を理解する。研磨手法を理解するため、鋳造体の形態修正と粗研磨を行う。	1)鋳造体の調整に使用する器材を準備する。 2)調整操作の詳細を具体的に述べる。 3)接触点の調整を行う。 4)研磨に必要な器材を準備する。 5)研磨方法の術式を列記する。 6)鋳造体の粗研磨を行う。
37 38	6/29	月	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット37:全部金属冠13 中研磨 ユニット38:全部金属冠14 中研磨 (技国 2-N) GIO:研磨の手法を理解するために、鋳造体の中研磨を行う。	1)研磨に必要な器材を準備する。 2)研磨方法の術式を列記する。 3)鋳造体の中研磨を行う。
39 40	7/3	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット39:全部金属冠15 仕上げ研磨 ユニット40:全部金属冠16 仕上げ研磨 (技国 2-N) GIO:研磨の手法を理解するために、鋳造体の仕上げ研磨を行い、適切な表面状態を知る。	1)研磨に必要な器材を準備する。 2)研磨方法の術式を列記する。 3)鋳造体の仕上げ研磨を行う。 4)鋳造体の洗浄を行う。
41 42	7/6	月	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット41:全部金属冠17 完成・提出 ユニット42:築造体1 咬合器装着 (技国 2-G,N) GIO:研磨の手法を理解するために、鋳造体の仕上げ研磨を行う。また、全部金属冠を完成させる過程を修得する。	1)研磨に必要な器材を準備する。 2)鋳造体の洗浄を行う。 3)全部金属冠製作の流れを具体的に述べる。 4)製作した全部金属冠を提出する。 5)作業用模型を咬合器に装着する。
43 44	7/10	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット43:築造体2 ワックスパターン形成(1) ユニット44:築造体3 ワックスパターン形成(2) (技国 2-I) GIO:メタルコアの製作工程を理解するために、その製作手順を知る。	1)メタルコアの製作順序を述べる。 2)咬合器の種類を分類する。 3)ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 4)前歯メタルコアのポスト部のパターン形成を行う。 5)前歯メタルコアの歯冠形態について述べる。
45 46	7/13	月	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット45:築造体4 ワックスパターン形成(3) ユニット46:築造体5 ワックスパターン形成(4) (技国 2-I) GIO:前歯メタルコアのワックスパターン形成を行い、形態的な要件を修得する。	1)ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2)前歯メタルコアの歯冠部のパターン形成を行う。 3)臼歯メタルコアのパターン形成を行う。 4)前歯と臼歯のメタルコアの形態を比較する。 5)前歯メタルコアの表面処理を工夫する。
47 48	7/15	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット47:築造体6 ワックスパターン形成(5) ユニット48:築造体7 ワックスパターン形成(6) (技国 2-I) GIO:メタルコアの製作工程を理解するために、前歯メタルコアのワックスパターン形成を仕上げ、埋没を実施する。	1)ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2)前歯メタルコアの歯冠部のパターン形成を行う。 3)臼歯メタルコアのワックスパターン形成を行う。 4)前歯と臼歯のメタルコアの形態を比較する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
49 50	7/17	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット49: 築造体8 埋没 ユニット50: 築造体9 鑄造 (技国 2-J, K) GIO: メタルコアの製作工程を理解するために、前歯メタルコアの鑄造後、研磨を行う。さらに、臼歯メタルコアのワックスパターン形成を行う。	1) 前歯メタルコアのスプルーイングについて述べる。 2) メタルコアの埋没に必要な器材を準備する。 3) 前歯メタルコアの埋没を行う。 4) メタルコアの鑄造に必要な器材を準備する。 5) 前歯メタルコアの鑄造を行う。 6) 前歯と臼歯のメタルコアの形態を比較する。
51 52	7/22	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット51: 築造体10 研磨 ユニット52: 築造体11 提出 (技国 2-K) GIO: 製作工程を理解するために、前歯メタルコアと、臼歯メタルコアのワックスパターン形成を完成させる。ファイバーコアの製作を修得する。	1) メタルコアの研磨に必要な器材を準備する。 2) 前歯メタルコアの研磨を行う。 3) 臼歯メタルコアのパターン形成を行う。 4) 製作物を提出する。 5) ファイバーコアの製作を行う。
53 54	7/24	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット53: プロビジョナルクラウン1 パターン形成 ユニット54: プロビジョナルクラウン2 パターン形成 (技国 2-D, I) GIO: プロビジョナルクラウンの製作法を修得するために、ワックスパターン形成を行う。	1) プロビジョナルクラウンの製作方法を述べる。 2) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 3) 反対側同類同名歯の形態と対比する。 4) 側方運動を考慮してワックスパターン形成を行う。
55 56	9/2	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット55: プロビジョナルクラウン3 印象・レジン ユニット56: プロビジョナルクラウン4 形態修正 (技国 2-D) GIO: プロビジョナルクラウンの製作法を修得するために、印象採得を行う。即時重合レジンにより、プロビジョナルクラウンの概形作製を行う。	1) 印象採得に必要な器材を準備する。 2) アルジネート印象材の取り扱いを工夫する。 3) 即時重合レジンの注入操作を行う。 4) 形態調整に必要な器材を準備する。 5) 硬化したレジンの形態修正を行う。
57 58	9/4	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット57: プロビジョナルクラウン5 形態修正 ユニット58: プロビジョナルクラウン6 研磨 (技国 2-D, N) GIO: プロビジョナルクラウンの製作法を修得するために、硬化したレジンの形態修正を行う。また、レジンの研磨の手法を修得する。	1) 形態修正に必要な器材を準備する。 2) 硬化したレジンの形態修正を行う。 3) 研磨に必要な器材を準備する。 4) プロビジョナルクラウンの形態修正を行う。
59 60	9/7	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット59: プロビジョナルクラウン7 印象・プレパレーション ユニット60: プロビジョナルクラウン8 レジン注入 (技国 2-D) GIO: 支台形成前の模型を用いたプロビジョナルクラウンの製作法を修得するために、プレパレーションを実施し、概形を作製する。	1) 印象採得とプレパレーションに必要な器材を準備する。 2) プレパレーションの手順を述べる。 3) プレパレーションを実施する。 4) レジン注入に必要な器材を準備する。
61 62	9/9	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット61: プロビジョナルクラウン9 形態修正 ユニット62: プロビジョナルクラウン10 研磨 (技国 2-D, N) GIO: プロビジョナルクラウンの製作法を修得するために、研磨を行い、仕上げ方法を身につける。	1) レジンの研磨に必要な器材を準備する。 2) 仕上げ研磨を実施する。
63 64	9/11	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット63: プロビジョナルクラウン11 提出 ユニット64: メタルインレー1 トリミング (技国 2-D, F) GIO: プロビジョナルクラウンの製作法を修得するために、仕上げを行う。メタルインレー製作の手法を修得するために、作業用模型の製作を行う。	1) レジンの研磨に必要な器材を準備する。 2) 製作した技工物を提出する。 3) 作業用模型を類別する。 4) 作業用模型製作に必要な器材を準備する。 5) 模型のトリミングを実施する。
65 66	9/14	月	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット65: メタルインレー2 台付け ユニット66: メタルインレー3 咬合器装着 (技国 2-F) GIO: メタルインレー製作の手法を修得するために、台付けラバーを用いた作製法と模型の修正について理解し、模型装着の術を身につける。	1) 作業用模型製作に必要な器材を準備する。 2) 作業用模型製作過程を列記する。 3) 台付けラバーを用いた模型製作を実施する。 4) 台付け模型の修正を工夫する。 5) 咬合器装着に必要な器材を準備する。
67 68	9/16	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット67: メタルインレー4 分割・トリミング ユニット68: メタルインレー5 パターン形成① (技国 2-F, I) GIO: メタルインレー製作の手法を修得するために、分割・トリミングの意義を理解する。また、メタルインレーのワックスパターン形成を実施する。	1) 作業用模型製作に必要な器材を準備する。 2) 模型の分割方法を説明する。 3) 模型の分割を分割ノコにより実施する。 4) 歯型のトリミングを実施する。 5) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 6) 軟化圧接法でのろう型の製作を工夫する。
69 70	9/18	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット69: メタルインレー6 パターン形成② ユニット70: メタルインレー7 パターン形成③ (技国 2-I) GIO: ワックスパターン形成の手法について理解するために、インレーのワックスパターン形成を実施する。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) 窩洞形態について述べる。 3) 盛り上げ法によるワックスパターン形成を実施する。 4) 解剖学的形態を反対側同類同名歯と対比する。
71 72	9/25	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット71: メタルインレー8 パターン形成④ ユニット72: メタルインレー9 埋没 (技国 2-I, J) GIO: メタルインレー製作の手法を修得するために、インレーのスプルーイングについて理解し、埋没を行う。また、の手技を身につける。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) ワックスパターン形成の仕上げを工夫する。 3) メタルインレーのスプルーイングを述べる。 4) メタルインレー埋没に必要な器材を準備する。 5) メタルインレーの埋没を実施する。 6) メタルインレー鑄造に必要な器材を準備する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
73 74	9/28	月	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット73:メタルインレー10 パターン形成⑤ ユニット74:メタルインレー11 埋没 (技国 2-I, J) GIO:メタルインレー製作の手法を修得するために、インレーのスプレーイングについて理解し、埋没を行う。また、の手技を身につける。	1)ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2)ワックスパターン形成の仕上げを工夫する。 3)メタルインレーのスプレーイングを述べる。 4)メタルインレー埋没に必要な器材を準備する。 5)メタルインレーの埋没を実施する。 6)メタルインレー鑄造に必要な器材を準備する。
75 76	9/30	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット75:メタルインレー12 鑄造 ユニット76:メタルインレー13 酸処理 (技国2-K) GIO:メタルインレー製作の手法を修得するために、鑄造体の鑄造後処理を実施する。また、研磨調整を行い、粗研磨を実施する。	1)鑄造を実施する。 2)酸処理の目的について述べる。 3)鑄造後の処理を実施する。 4)研磨調整に必要な器材を準備する。

## 本学期的学習目標 (GIO)

上顎前歯・上下顎大臼歯の形態的特徴を、それぞれの歯種の計測、スケッチおよび彫刻を通して3次的に理解する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	前	水	13:00-14:20	短大 4階 基礎実習室・401講堂

## 教科書・参考書

著者・编者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学	第1版	医歯薬出版
	配布資料		

## 担当者一覧

宇都宮宏充・赤間亮一・茂原宏美

## 成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)、製作物・提出物(80%)の結果を評価対象とする。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の教科書を事前に読み、わからない言葉を確認しておきましょう。  
実習内容を理解し、意義や製作手順を覚えましょう。

## オフィスアワー

日時: 実習後15分

場所: 短大1階教員室, 3階実習室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	4/8	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット1: ガイダンス (技国 1-A~C) GIO: 歯及び口腔解剖学を修得するために用語を理解する。	1) 歯及び口腔解剖学に必要な用語を説明する。 2) 天然歯の特徴を説明する。
2	4/15	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット2: 上顎右側中切歯のスケッチ (技国 1-D) GIO: 上顎右側中切歯の外形形態を理解するために、スケッチの描画を修得する。	1) 外形スケッチに必要な器材を準備する。 2) 計測値を基にして上顎右側中切歯の外形スケッチを行う。
3	4/22	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット3-1: 上顎右側中切歯の歯冠彫刻(1) (技国 1-D) GIO: 上顎中切歯の各部の名称を理解する。上顎右側中切歯の歯冠形態を理解するために再現法を修得する。	1) 作成した中切歯のスケッチで各部の名称確認を行う。 2) 彫刻用器具を準備する。 3) 上顎右側中切歯の彫刻を実施する。
4	5/13	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット3-2: 上顎右側中切歯の歯冠彫刻(2) (技国 1-D) GIO: 上顎右側中切歯の歯冠形態を理解するために再現法を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 計測値を基に上顎右側中切歯の外形を描画する。 3) 上顎右側中切歯の彫刻を行う。
5	5/20	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット3-3: 上顎右側中切歯の歯冠彫刻(3) (技国 1-D) GIO: 上顎右側中切歯の歯冠形態を理解するために再現法を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎右側中切歯の彫刻を行う。
6	5/27	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット3-4: 上顎右側中切歯の歯冠彫刻(4) (技国 1-D) GIO: 上顎右側中切歯の歯冠形態を理解するために再現法を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎右側中切歯の彫刻を行う。
7	6/3	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット3-5: 上顎右側中切歯の歯冠彫刻(5) (技国 1-D) GIO: 上顎右側中切歯の歯冠形態を理解するために、再現法を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎右側中切歯の彫刻を行う。 3) 上顎右側中切歯の仕上げを工夫する。 4) 完成した製作物を提出する。
8	6/10	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット4: 上顎右側第一大臼歯のスケッチ (技国 1-D) GIO: 上顎右側第一大臼歯の外形形態を理解するために、スケッチの描画を修得する。	1) 外形スケッチに必要な器材を準備する。 2) 計測値を基に上顎右側第一大臼歯の外形スケッチを行う。
9	6/17	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット5-1: 上顎右側第一大臼歯の歯冠彫刻(1) (技国 1-D) GIO: 上顎第一大臼歯の各部の名称を理解する。上顎右側第一大臼歯の歯冠形態を理解するために、再現法を修得する。	1) 作成した第一大臼歯のスケッチで各部の名称確認を行う。 2) 彫刻用器具を準備する。 3) 計測値を基に上顎右側第一大臼歯の外形を描画する。 4) 上顎右側第一大臼歯の彫刻を行う。
10	6/24	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット5-2: 上顎右側第一大臼歯の歯冠彫刻(2) (技国 1-D) GIO: 上顎右側第一大臼歯の歯冠形態を理解するために、再現法を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎右側第一大臼歯の彫刻を行う。
11	7/1	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット5-3: 上顎右側第一大臼歯の歯冠彫刻(3) (技国 1-D) GIO: 上顎右側第一大臼歯の歯冠形態を理解するために、再現法を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎右側第一大臼歯の彫刻を行う。
12	7/8	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット5-4: 上顎右側第一大臼歯の歯冠彫刻(4) (技国 1-D) GIO: 上顎右側第一大臼歯の歯冠形態を理解するために、再現法を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎右側第一大臼歯の彫刻を行う。 3) 上顎右側第一大臼歯の仕上げを工夫する。 4) 完成した製作物を提出する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
13	7/15	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット6: 下顎右側第一大臼歯のスケッチ (技国 1-D) GIO: 下顎大白歯の各部の名称を理解するために、スケッチの描画を修得する。	1) 外形スケッチに必要な器材を準備する。 2) 計測値を基にして下顎右側第一大臼歯の外形スケッチを行う。
14	7/22	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット7-1: 下顎右側第一大臼歯の歯冠彫刻 (1) (技国 1-D) GIO: 下顎大白歯の各部の名称を理解する。下顎右側第一大臼歯の歯形形態を理解するために、再現法を修得する。	1) 作成した大白歯のスケッチで各部の名称確認を行う。 2) 彫刻用器具を準備する。 3) 計測値を基に下顎右側第一大臼歯の外形を描画する。 4) 下顎右側第一大臼歯の彫刻を行う。
15	9/2	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット7-2: 下顎右側第一大臼歯の歯冠彫刻 (2) (技国 1-D) GIO: 下顎右側第一大臼歯の歯冠形態を理解するために、再現法を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 下顎右側第一大臼歯の彫刻を実地する。
16	9/9	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット7-3: 下顎右側第一大臼歯の歯冠彫刻 (3) (技国 1-D) GIO: 下顎右側第一大臼歯の歯冠形態を理解するために、再現法を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 下顎右側第一大臼歯の彫刻を実地する。 3) 下顎右側第一大臼歯の仕上げを工夫する。 4) 完成した製作物を提出する。
17	9/16	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット8-1: 上顎右側中切歯の歯冠彫刻 (1) (技国 1-D) GIO: 上顎右側中切歯の歯冠形態を理解するために、再現法を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎右側中切歯の彫刻を実地する。
18	9/30	水	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット8-2: 上顎右側中切歯の歯冠彫刻 (2) (技国 1-D) GIO: 上顎右側中切歯の歯冠形態を理解するために、再現法を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎右側中切歯の彫刻を実施する。 3) 上顎右側中切歯の仕上げを工夫する。 4) 完成した製作物を提出する。

# 歯冠修復技工学基礎

水曜日 14:35～15:55  
金曜日 13:00～14:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯冠修復物の製作を通して、人々の健康に寄与できる歯科技工士となるために、歯冠や歯の欠損に対する歯冠修復技工学の概要や目的を理解し、歯冠修復技工における基礎的事項と臨床的応用を修得する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講堂
1	前	水	14:35-15:55	短大 4階 401講堂
		金	13:00-14:20	短大 4階 401講堂

## 教科書・参考書

著者・編者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学	第2版	医歯薬出版
	配付資料		

## 担当者一覧

竹井利香・大島克郎

## 成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の教科書を事前に読み、専門用語の意味などを理解しておきましょう。  
配付プリント・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時: 講義後15分

場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	4/8	水	竹井利香	ユニット1: 歯冠修復技工学の概要, 歯冠修復の流れ (技国 1-A, B, 2) GIO: 歯冠修復技工学意義を理解するために, 歯冠修復の目的を認識し, 技工物製作の流れを知る.	1) 歯冠修復技工学の目的を説明する. 2) 歯冠修復技工学の意義を説明する. 3) 歯冠修復技工の流れを記述する.
2	4/15	水	大島克郎	ユニット2: 保存修復の目的, 現在の保存修復の治療 (技国 1-A, B, F) GIO: 歯の硬組織疾患に対する保存修復の目的について理解するために, 保存修復治療に用いられる材料を知る. さらに, 現在の保存修復治療について知る.	1) 歯の硬組織疾患を説明する. 2) 保存修復の目的を述べる. 3) 保存修復材料を類別する. 4) 現在の保存治療の特徴を述べる.
3	4/22	水	竹井利香	ユニット3: クラウンの種類, ブリッジの概説と種類 (技国 1-C, D) GIO: 歯冠修復物の種類を理解するために, 修復物を分類し, 各々を比較することにより認識する. ブリッジの概要を知り, その特徴や構成を理解する.	1) 歯冠修復物の種類を列記する. 2) 歯冠修復物を比較する. 3) 部分被覆冠を説明する. 4) 全部被覆冠を説明する. 5) ブリッジの構成を具体的に述べる. 6) ブリッジを分類する.
4	5/13	水	竹井利香	ユニット4: クラウンとブリッジの具備要件-生物学的要件 (技国 1-E) GIO: 歯冠修復物に求められる形態について理解するために, 生物学的要件を知る.	1) 歯冠修復物に求められる要件を列記する. 2) 生物学的要件を分類する. 3) 歯と歯列との関係について述べる. 4) 歯周組織との関係について述べる. 5) 清掃性との関係について述べる.
5	5/20	水	竹井利香	ユニット5: クラウンとブリッジの具備要件-構造力学的要件 (技国 1-E) GIO: 歯冠修復物に求められる材料の性質や設計について理解するために, 構造力学的要件を知る.	1) 構造力学的要件を分類する. 2) 構造力学的要件を具体的に述べる. 3) 力学安定性について述べる. 4) 維持力について述べる.
6	5/27	水	竹井利香	ユニット6: クラウンとブリッジの具備要件-化学的・審美的要件 (技国 1-E) GIO: 歯冠修復物に求められる安全性や審美性について理解するために, 化学的・審美的要件について知る.	1) 化学的要件を説明する. 2) 化学的安定性について述べる. 3) 審美的要件を述べる. 4) 形態, 排列と色調について述べる. 5) 心理的要件について述べる.
7	6/3	水	竹井利香	ユニット7: 印象材, 印象, トレー, スタディーモデル (技国 1-G, 2-A, B) GIO: 精度の高い模型を製作するために, 印象の意義を理解し, 印象と模型の関連を認識する. また, スタディーモデルの目的を理解する.	1) 印象材を類別する. 2) 印象材の取扱いを述べる. 3) トレーの種類を分類する. 4) トレーの製作方法を説明する. 5) スタディーモデルの用途を具体的に述べる.
8	6/10	水	竹井利香	ユニット8: 作業用模型とトリミング, 辺縁形態と咬合器装着 (技国 2-F, G) GIO: 適合性に優れた修復物を製作するために, 作業用模型とトリミングについて理解する. また, 歯冠修復物に適合される辺縁形態と技工操作に必要な咬合器について理解する.	1) 作業用模型の要件について述べる. 2) 作業用模型の特徴について述べる. 3) 作業用模型の種類について述べる. 4) トリミングの実際について理解する. 5) 辺縁形態を分類し, 修復物との関連について述べる. 6) 咬合器の種類と取扱いを説明する.
9	6/17	水	竹井利香	ユニット9: 全部金属冠 ワックスパターン形成と埋没法1 (技国 1-C, 2-H~J) GIO: 全部金属冠の意義を理解するために, 特徴および適応用途について知る. 金属修復物の製作法を理解するために, ロストワックス法を知り, ワックスパターン形成と埋没法の詳細を知る.	1) 意義, 特徴および適応用途について述べる. 2) ワックスパターン形成の目的を知る. 3) ワックスパターン形成の方法を列記する. 4) 埋没の手順について説明する. 5) 埋没法の違いを説明する.
10	6/24	水	竹井利香	ユニット10: 全部金属冠 ワックスパターン形成と埋没法2 (技国 1-C, 2-H~J) GIO: 全部金属冠の意義を理解するために, 特徴および適応用途について知る. 金属修復物の製作法を理解するために, ロストワックス法を知り, ワックスパターン形成と埋没法の詳細を知る.	1) 意義, 特徴および適応用途について述べる. 2) ワックスパターン形成の目的を知る. 3) ワックスパターン形成の方法を列記する. 4) 埋没の手順について説明する. 5) 埋没法の違いを説明する.
11	7/1	水	竹井利香	ユニット11: 鋳造作業, 連結法, 調整, 研磨, 試適・仮着・合着1 (技国 2-K~O) GIO: 金属修復物の製作法を理解するために, 歯科精密鋳造を知り, さらに連結法などの技工操作について理解する.	1) 鋳造法を列記する. 2) 連結法の目的を説明する. 3) ろう付けの方法を述べる. 4) 研磨の目的を説明する. 5) 研磨の方法を分類する. 6) 修復物の試適・仮着・合着について説明する.
12	7/8	水	竹井利香	ユニット12: 鋳造作業, 連結法, 調整, 研磨, 試適・仮着・合着2 (技国 2-K~O) GIO: 金属修復物の製作法を理解するために, 歯科精密鋳造を知り, さらに連結法などの技工操作について理解する.	1) 鋳造法を列記する. 2) 連結法の目的を説明する. 3) ろう付けの方法を述べる. 4) 研磨の目的を説明する. 5) 研磨の方法を分類する. 6) 修復物の試適・仮着・合着について説明する.

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
13	7/15	水	竹井利香	ユニット13: 支台築造, プロビショナルクラウン・ プロビショナルブリッジ(技国 2-C, D) GIO: 支台築造の意義を理解するために, その目的と使用材料や製法を知る. プロビショナルクラウンの意義を理解するために, 目的や製法を知る.	1) プロビショナルクラウンの意義と目的を列記する. 2) プロビショナルクラウンの種類を分類する. 3) プロビショナルクラウンの製作方法を述べる. 4) 支台築造の意義, 目的を列記する. 5) 支台築造の製法について説明する. 6) メタルコアの目的を具体的に述べる.
14	7/23	水	竹井利香	ユニット14: 窩洞の分類, インレー (技国 1-F) GIO: 適切なインレーの製作をするために, 窩洞の形態による分類を認識する. さらに, 修復に要求される形態について知る.	1) 窩洞形態を分類する. 2) 窩洞形態の定義を説明する. 3) 保存修復材料を類別する. 4) 修復時に要求される形態を分類する. 5) インレーの製作手順を述べる.
15	9/2	水	竹井利香	ユニット15: 継続歯(ポストクラウン), 部分被覆冠 (技国 1-C) GIO: 継続歯(ポストクラウン)の概要を理解するために, その特徴を知る. また, 各種部分被覆冠の概要を理解するために, その特徴や製法を知る.	1) 継続歯の特徴を説明する. 2) 継続歯の用途を具体的に述べる. 3) 継続歯の構成を列記する. 4) 部分被覆冠を分類する. 5) 各種部分被覆歯の特徴を説明する.
16	9/9	水	竹井利香	ユニット16: ブリッジの支台装置, ポンティック (技国 1-D) GIO: ブリッジの構成について理解を深めるために, 支台装置やポンティックの概要や特徴を知る.	1) ブリッジの目的を説明する. 2) ブリッジの構成を具体的に述べる. 3) ブリッジを分類する. 4) 支台装置を類別し, 要件を列記する. 5) ポンティックの意義を説明し, 基底部形態を分類する. 6) ポンティックの形態と清掃性について述べる.
17	9/16	水	竹井利香	ユニット17: ブリッジの連結法, 製法 (技国 1-D) GIO: ブリッジの構成について理解を深めるために, 連結部の概要や要件を知る. また, ブリッジの製作方法を種類別に理解する.	1) 連結部の概要を述べる. 2) 連結部を類別する. 3) ブリッジの製作方法を類別する. 4) 半固定性ブリッジの製作方法を説明する. 5) 清掃性との関係について述べる. 6) 可撤性ブリッジの製作方法を述べる.
18	9/30	水	竹井利香	ユニット18: 前学期のまとめ (技国 1, 2-A~O) GIO: 問題解決に対応できる知識を習得するために, 今までに履修した内容の見直しをはかり, 学習進捗を認識する.	1) 歯冠修復技工学の前学期履修内容を説明する.

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医療において歯科技工士に求められる役割を理解するために、現代社会の流れを踏まえた歯科医療の概要や歯科技工の変遷を知るとともに、円滑な歯科技工業務の実施に必要な知識を修得する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	前	木	9:00-10:20	短大 4階 401講堂

## 教科書・参考書

著者・编者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科技工管理学	第1版	医歯薬出版
	配付資料		

## 担当者一覧

赤間亮一・雲野泰史・竹井利香・池田亜紀子・小泉順一・富田 淳・茂原宏美

## 成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の教科書やシラバスを事前に読み、内容を確認しておきましょう。  
配付プリント・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時: 講義後15分

場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	4/9	木	赤間亮一	ユニット1: 歯科技工士とは	1) 歯科医療の特徴を述べる。 2) 歯科技工士の役割を説明する。 3) 歯科技工の重要性を説明する。
				GIO: 歯科技工学を理解するために、歯科医療における歯科技工士の果たす役割について知り、歯科技工の重要性を理解する。	
2	4/16	木	雲野泰史	ユニット2: 歯科技工士の就労	1) 最近の歯科技工士の就職状況を分類する。 2) 最近の歯科技工士の求人状況を述べる。 3) 最近の歯科技工士の就労状況を述べる。
				GIO: 歯科技工士の就労状況を知るために、最近の歯科技工士の就職状況と求人状況を知り、就労状況を理解する。	
3	4/23	木	茂原宏美	ユニット3: 歯科技工業務の運営と歯科技工の品質管理	1) 歯科技工業務の運営を述べる。 2) 歯科技工の品質管理・品質保証を説明する。 3) 補綴装置のトレーサビリティを説明する。 4) 歯科技工の品質管理に関する法令を述べる。
				GIO: 良質な補綴物を提供するために、歯科技工業務の特徴と運営を知り、歯科技工物の品質管理について理解する。	
4	5/7	木	富田 淳	ユニット4: 歯科材料の安全性	1) 歯科材料の種類を列記する。 2) 歯科材料の特性を述べる。 3) 歯科材料の有害性を説明する。 4) 安全な歯科材料の重要性を説明する。
				GIO: 歯科材料の生体親和性を理解するために、歯科医療で使用される材料の特性を知り、臨床における材料の選択基準を習得する。	
5	5/14	木	竹井利香	ユニット5: 口腔の審美性	1) 患者の求める審美性の要件を列挙する。 2) 歯科技工と口腔の審美性を関係づける。 3) 審美歯科の概要を説明する。 4) 審美補綴の概要を説明する。
				GIO: 審美性に優れた歯科技工物の製作を行うために、歯科領域における審美性の概要について述べ、技工領域での応用について認識する。	
6	5/21	木	小泉順一	ユニット6: 顎顔面補綴における歯科技工	1) 顎顔面補綴の種類を列記する。 2) 顎顔面補綴の製作方法を説明する。 3) エピテーゼの目的を説明する。 4) エピテーゼの製作方法を述べる。
				GIO: 顎顔面補綴の概要を身につけるために、顎顔面補綴必要性和歯科技工との関連を理解する。	
7	5/28	木	池田亜紀子	ユニット7: 歯科技工における衛生管理	1) 歯科衛生士の業務を説明する。 2) 口腔健康管理の目的を述べる。 3) 口腔健康管理の方法を説明する。 4) 自己の口腔内状態を判断する。 5) 口腔健康管理の重要性を述べる。
				GIO: 歯科衛生士について認識するために、歯科衛生士の業務を理解する。歯科疾患の予防について認識するために、口腔健康管理の目的と方法を知り、口腔健康管理の重要性を理解する。	
8	6/4	木	赤間亮一	ユニット8: 歯科技工学概論まとめ	1) 歯科医療の概要や歯科技工の変遷を説明する。 2) 円滑な歯科技工業務の実施に必要な内容を列挙する。
				GIO: 歯科医療において歯科技工士に求められる役割を知るために、歯科技工業務の実施に必要な知識を理解する。	

## 本学期的学習目標 (GIO)

永久歯の形態的特徴を理解するために、歯の一般的形態とはたらきに関する基礎的事項を身につけ、歯種間、上・下顎、左右側、および位置の違いにみられる形態的差異に関する知識を修得する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	前	木	13:00-14:20	短大 4階 401講堂

## 教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学	第1版	医歯薬出版
	配布資料		

## 担当者一覧

赤間亮一・井出吉昭

## 成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の教科書を事前に読み、わからない言葉を確認しておきましょう。  
 授業範囲の教科書を事前に読み、専門用語の意味などを理解しておきましょう。  
 配付プリント・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時:講義終了後15分 場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	4/9	木	赤間亮一	ユニット1: 歯の解剖学-歯の概説 (技国 1-A~E) GIO: 歯の形態の概要を身につけるために、歯の種類を知り、それぞれの形態的特徴を理解する。	1) 歯の定義を述べる。 2) 歯式と歯種を関係付ける。 3) 各歯種の特徴と機能的差異を説明する。 4) 歯の外形と内形を説明する。 5) 歯の方向と形の用語を列記する。 6) 歯の鑑別について説明する。
2	4/16	木	赤間亮一	ユニット2: 歯の起源 (技国 1-A) GIO: 歯の形態の多様性を認識するために、歯の起源と生物学的特性、性状の概要を理解する。	1) 歯の起源を説明する。 2) 形態を類別する。 3) 生歯を説明する。 4) 歯の性状を列記する。
3	4/23	木	赤間亮一	ユニット3-1: 永久歯の形態-切歯(1) (技国 1-F) GIO: 上顎中切歯、上顎側切歯の外形形態を認識するために、唇・舌側面ならびに近・遠心面の形態的特徴を理解する。	1) 上顎中切歯の形態的特徴を述べる。 2) 上顎中切歯の唇・舌側、近・遠心面の形態的差異を列記する。 3) 上顎側切歯の形態的特徴を述べる。 4) 上顎側切歯の唇・舌側、近・遠心面の形態的差異を列記する。
4	5/7	木	赤間亮一	ユニット3-2: 永久歯の形態-切歯(2) (技国 1-F) GIO: 下顎中・側切歯の外形形態を認識するために、唇・舌側面ならびに近・遠心面の形態的特徴を理解する。	1) 下顎中切歯の形態的特徴を述べる。 2) 下顎中切歯の唇・舌側、近・遠心面の形態的差異を列記する。 3) 下顎側切歯の形態的特徴を述べる。 4) 下顎側切歯の唇・舌側、近・遠心面の形態的差異を列記する。
5	5/14	木	赤間亮一	ユニット3-3: 永久歯の形態-犬歯 (技国 1-F) GIO: 上・下顎犬歯の外形形態を認識するために、唇・舌側面ならびに近・遠心面の形態的特徴を理解する。	1) 上・下顎犬歯の形態的特徴を述べる。 2) 上・下顎犬歯の唇・舌側面の形態的差異を列記する。 3) 上・下顎犬歯の近・遠心面の形態的差異を列記する。 4) 上・下顎犬歯の形態的特徴を対比する。
6	5/21	木	赤間亮一	ユニット4: 永久歯の形態-歯の概説、前歯のまとめ(確認試験と解説) (技国 1-A~F) GIO: 歯の概説と上・下顎前歯の外形形態に関する基礎的知識を再認識するために、客観的試験をとおして形態的特徴を理解する。	1) 歯の形と機能、記号、歯式、基本的な用語を列記する。 2) 上顎中・側切歯の形態的特徴と差異を述べる。 3) 下顎中・側切歯の形態的特徴と差異を述べる。 4) 上・下顎切歯の形態的特徴を対比する。 5) 上・下顎犬歯の形態的特徴と差異を述べる。
7	5/28	木	赤間亮一	ユニット3-4: 永久歯の形態-上顎小白歯 (技国 1-F) GIO: 上顎小白歯の外形形態を認識するために、咬合面、頬・舌側面ならびに近・遠心面の形態的特徴を理解する。	1) 上顎第一小白歯咬合面の形態的特徴を述べる。 2) 上顎第一小白歯の頬・舌側面、近・遠心面の形態的特徴を列記する。 3) 上顎第二小白歯咬合面の形態的特徴を述べる。 4) 上顎第二小白歯の頬・舌側面、近・遠心面の形態的特徴を列記する。
8	6/4	木	赤間亮一	ユニット3-5: 永久歯の形態-下顎小白歯 (技国 1-F) GIO: 下顎小白歯の外形形態を認識するために、咬合面、頬・舌側面ならびに近・遠心面の形態的特徴を理解する。	1) 下顎第一小白歯咬合面の形態的特徴を述べる。 2) 下顎第一小白歯の頬・舌側面、近・遠心面の形態的特徴を列記する。 3) 下顎第二小白歯咬合面の形態的特徴を述べる。 4) 下顎第二小白歯の頬・舌側面、近・遠心面の形態的特徴を列記する。
9	6/11	木	赤間亮一	ユニット3-6: 永久歯の形態-上顎大白歯 (技国 1-F) GIO: 上顎大白歯の外形形態を認識するために、咬合面、頬・舌側面ならびに近・遠心面の形態的特徴を理解する。	1) 上顎第一大臼歯の形態的特徴を述べる。 2) 上顎第一大臼歯の咬合面の形態的特徴を列記する。 3) 上顎第一大臼歯の頬舌側面の形態的特徴を述べる。 4) 上顎第一大臼歯の近遠心面の形態的特徴を述べる。 5) 上顎第二・第三大臼歯の形態的特徴を具体的に述べる。
10	6/18	木	赤間亮一	ユニット3-7: 永久歯の形態-下顎大白歯 (技国 1-F) GIO: 下顎大白歯の外形形態を認識するために咬合面、頬・舌側面ならびに近・遠心面の形態的特徴を理解する。	1) 下顎第一大臼歯の形態的特徴を述べる。 2) 下顎第一大臼歯の咬合面の形態的特徴を列記する。 3) 下顎第一大臼歯の頬舌側面の形態的特徴を述べる。 4) 下顎第一大臼歯の近遠心面の形態的特徴を述べる。 5) 下顎第二・第三大臼歯の形態的特徴を具体的に述べる。
11	6/25	木	赤間亮一	ユニット5: 永久歯の形態-臼歯のまとめ(確認試験と解説)(技国 1-F) GIO: 上・下顎小白歯・大白歯の外形形態に関する基礎的知識を再認識するために、客観的試験をとおして形態的特徴を理解する。	1) 上顎小白歯の形態的特徴を具体的に述べる。 2) 下顎小白歯の形態的特徴を具体的に述べる。 3) 上顎大白歯の形態的特徴を具体的に述べる。 4) 下顎大白歯の形態的特徴を具体的に述べる。 5) 上・下顎小白歯の形態的差異を列挙する。 6) 上・下顎大白歯の形態的差異を列挙する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
12	7/2	木	赤間亮一	ユニット6: 歯列と咬合(上下顎の位置関係), 乳歯 (技国 1-G)	1) 歯列弓の形を具体的に述べる. 2) 接触点のはたらきを説明する.
				GIO: 上・下顎歯列弓の形と彎曲の特徴を認識するために, 上・下顎歯列の位置的関係と咬合時の接触の型を理解する. 乳歯の外形態を認識するために, 唇(頬)・舌側面, 切縁・咬合面ならびに近・遠心面の形態的特徴を理解する.	3) 歯隙と歯間隙の差異を説明する. 4) 上・下顎切歯の咬合の形を分類する. 5) 上・下顎の歯の接触について述べる. 6) 歯列弓の彎曲を列挙する. 7) 乳前歯・乳臼歯の一般的特色を列記する. 8) 乳前歯・乳臼歯が代生歯に与える影響を述べる. 9) 乳前歯・乳臼歯と代生歯の形態を各歯種で比較する.
13	7/9	木	赤間亮一	ユニット7: 歯の異常 (技国 1-K, L)	1) 数の異常が見られる歯を列挙する. 2) 前歯に見られる形態の異常を具体的に述べる.
				GIO: 歯と歯列の形態的な多様性を認識するために, 歯数の異常の発生頻度が高い歯種を知り, 歯の形態異常の詳細を理解する.	3) 小臼歯に見られる形態の異常を具体的に述べる. 4) 大臼歯に見られる形態の異常を具体的に述べる. 5) 歯列に見られる形態の異常を具体的に述べる.
14	7/16	木	赤間亮一	ユニット8: 歯の概説, 永久歯, 歯列と咬合, 乳歯, 歯の異常のまとめ (確認試験と解説)	1) 歯の起源を述べる. 2) 歯の形態的特徴を説明する. 3) 歯の形態を各歯種で比較する.
				GIO: 歯の概説と永久歯, 歯列弓の形態に関する基礎的知識を再認識するために, 客観的試験をとおしてその形態的特徴を理解する.	4) 歯列弓の形態と咬合形式を述べる. 5) 乳歯の形態を永久歯と比較する. 6) 歯の形態の異常を具体的に述べる.
15	9/3	木	井出吉昭	ユニット9: 顔面頭蓋に隣接する骨 (技国 3-A)	1) 頭蓋を区分する. 2) 頭蓋冠を構成する骨の形態を述べる.
				GIO: 顎顔面口腔領域の形態を構成する基本的要素である骨の形態を認識するために, 頭蓋を区分し, 顔面頭蓋骨に隣接する神経頭蓋の形態的特徴とその連結を理解する.	3) 頭蓋底を構成する骨の形態を述べる. 4) 鼻腔, 副鼻腔を構成する骨を列記する. 5) 眼窩を構成する骨を列記する. 6) 縫合, 泉門によって連結される頭蓋骨を列記する.
16	9/10	木	井出吉昭	ユニット10: 顔面頭蓋 (技国 3-A)	1) 上顎骨・下顎骨を区分する. 2) 上顎骨の突起を列記する.
				GIO: 顎顔面口腔領域を構成する骨の形態を認識するために, 上顎骨, 口蓋骨ならびにこれらの骨に隣接する顔面骨の形態を理解する. 顔面頭蓋に見られる骨の連結を認識するために, 可動性連結を構成する下顎骨の形態と顎関節の構造を理解する.	3) 上顎体の構造を説明する. 4) 上顎骨に存在する孔を列記する. 5) 骨口蓋を構成する骨名を挙げる. 6) 骨口蓋に存在する孔を列記する. 7) 下顎骨の形態を述べる. 8) 下顎骨の名称を模式図を用いて示す. 9) 顎関節を構成する骨名をあげる. 10) 顎関節の構造を説明する. 11) 顎関節の靭帯を列記する.
17	9/17	木	井出吉昭	ユニット11: 浅頭筋, 深頭筋 (技国 3-B)	1) 浅頭筋, 深頭筋を類別する. 2) 浅頭筋の停止, 神経支配の特徴を述べる.
				GIO: 顎顔面口腔領域を構成する浅部の筋の形態に関する基礎的知識を認識するために, 顔面筋の名称と位置およびはたらきを理解する.	3) 深頭筋の停止, 神経支配の特徴を述べる. 4) 主な顔面筋を列記する. 5) 顔面筋のはたらきを述べる. 6) 口裂周囲に存在する顔面筋の形態的特徴を述べる.
18	9/24	木	井出吉昭	ユニット12: 咀嚼筋, 舌骨筋 (技国 3-B)	1) 咀嚼筋を列記する. 2) 咀嚼筋の起始・停止部の名称を挙げる.
				GIO: 顎関節の運動に関与する筋の形態に関する基礎的知識を認識するために, 咀嚼筋と舌骨上下筋の名称と位置およびはたらきを理解する.	3) 咀嚼筋のはたらきを述べる. 4) 舌骨上筋を列記する. 5) 舌骨下筋を列記する. 6) 舌骨上下筋のはたらきを述べる.

# 有床義歯技工学実習基礎

月曜日  
金曜日

13:00～15:55

## 本学期的学習目標 (GIO)

高齢社会における患者の求める義歯についての理解を深めるために、全部床義歯・部分床義歯の製作方法を身につける。さらに、患者の健康維持、増進のために、失われた諸機能と顔貌の回復方法を修得する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	前	月・金	13:00-15:55	短大 4階 基礎実習室・鑄造研磨室

## 教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第2版	医歯薬出版
	有床義歯技工学実習書		

## 担当者一覧

赤間亮一・小泉順一・富田 淳

## 成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)と提出物の到達度(80%)を成績の評価対象とする。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の実習書を事前に読み、理解して授業を受けるようにしましょう。  
実習内容を理解し、意義や製作手順を覚えるようにしましょう。

## オフィスアワー

日時:実習後15分

場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1 2	4/10	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット1:作業模型の指標,基準線・外形線記入 ユニット2:ポストダムの付与(技国 2-C, D) GIO:全部床義歯の解剖学的指標について理解するために,作業模型の観察力を身につける. GIO:ポストダムの目的を理解するために,ポストダムの形成法を修得する.	1)作業模型上の解剖学的指標を列記する. 2)義歯床外形線を設定する. 3)歯槽頂線を記入する. 4)ポストダムの目的を述べる. 5)ポストダムの位置を観察する.
3 4	4/17	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット3-1:スプリットキャストの製作(1) (技国 2-E) GIO:スプリットキャストの目的を理解するために,スプリットキャストの製作方法を修得する.	1)スプリットキャストの目的を列記する. 2)スプリットキャストの製作法を説明する. 3)スプリットキャストを類別する.
5 6	4/24	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット3-2:スプリットキャストの製作(2) (技国 2-E) GIO:咬合器再装着の方法を理解するために,種類と応用法を身につける.	1)適切なスプリットキャストの製作を製作する. 2)スプリットキャストの適合状態を観察する. 3)スプリットキャストの種類を説明する.
7 8	5/8	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット4:咬合器装着準備 (技国 2-E) GIO:咬合器装着の方法を理解するために,種類と応用法を身につける.	1)咬合床の焼付を実施する. 2)咬合器の使用目的を述べる. 3)咬合器の調節部を説明する.
9 10	5/22	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット5:咬合器装着 (技国 2-E) GIO:咬合器装着を理解するために,模型への咬合床の固定の仕方を修得し,半調節性咬合器の機構を身につける.	1)半調節性咬合器の各部の名称を述べる. 2)半調節性咬合器の各部の調節方法を説明する. 3)模型の装着を準備する. 4)上顎模型の咬合器装着方法を述べる. 5)下顎模型の咬合器装着方法を述べる.
11 12	5/29	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット6-1:上顎前歯部人工歯排列(1) (技国 2-H) GIO:上顎前歯部人工歯排列を行うために,意義と目的を理解する.	1)人工歯排列に必要な器材を準備する. 2)咬合堤に人工歯排列の基準線を記入する. 3)ワックスのカットと軟化方法を説明する. 4)上顎前歯部人工歯排列の目的を説明する.
13 14	6/5	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット6-2:上顎前歯部人工歯排列(2) ユニット7-1:下顎前歯部人工歯排列(1) (技国 2-H) GIO:上顎前歯部人工歯排列を行うために,人工歯排列に必要な機能的・審美的な基礎知識を身につける.	1)上顎前歯部人工歯排列の目的を説明する. 2)左右の対称性を比較する. 3)人工歯の固定方法を述べる. 4)オーバーバイトについて説明する. 5)オーバージェットについて説明する. 6)下顎前歯部人工歯排列を実施する.
15 16	6/12	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット8-1:下顎臼歯部人工歯排列(1) (技国 2-H) GIO:下顎前歯部,下顎臼歯部の人工歯排列を行うために,人工歯排列に必要な機能的・審美的な基礎知識を身につける.	1)下顎臼歯部人工歯排列の目的を説明する. 2)歯槽頂間線の法則を述べる. 3)前後的調節彎曲を説明する. 4)側方的調節彎曲を説明する. 5)下顎臼歯部人工歯排列を実施する.
17 18	6/19	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット8-2:下顎臼歯部人工歯排列(2) ユニット9-1:上顎臼歯部人工歯排列(1) (技国 2-H) GIO:下顎臼歯部の人工歯排列を行うために,人工歯排列に必要な機能的・審美的な基礎知識を身につける.	1)辺縁隆線の高さを矢状面より調べる. 2)前後的調節彎曲の調整を実施する. 3)側方的調節彎曲の調整を実施する. 4)左右臼歯部の高さを前頭面より調べる.
19 20	6/26	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット9-2:上顎臼歯部人工歯排列(2) (技国 2-H) GIO:上顎臼歯部人工歯排列を行うために,意義と目的を理解し,人工歯排列の方法を修得する.	1)上顎人工歯の排列前に咬合挙上を実施する. 2)上顎臼歯部人工歯排列の目的を説明する. 3)上顎臼歯部人工歯排列の基準を説明する.
21 22	6/29	月	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット10-1:人工歯削合1 (技国 2-M) GIO:全部床義歯に付与する咬合様式を理解するために,両側性平衡咬合の削合を身につける.	1)人工歯削合の目的を知る. 2)全部床義歯の咬合様式を理解する.
23 24	7/3	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット10-2:人工歯削合2 (技国 2-M) GIO:全部床義歯に付与する咬合様式を理解するために,両側性平衡咬合の削合を身につける.	1)人工歯削合を実施する. 2)選択削合を理解する.

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
25 26	7/6	月	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット11-1: 歯肉形成準備 ユニット11-2: 歯肉形成(1) (技国 2-I) GIO: 歯肉形成の目的を知り、前準備としてのワックスの盛り上げ方を身につける。 GIO: 歯肉形成の手順を知り、その方法を理解する。	1) 歯肉形成に必要な器材を準備する。 2) 歯肉形成の目的を説明する。 3) 歯肉形成を実施する。
27 28	7/10	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット11-3: 歯肉形成(2) (技国 2-I) GIO: 歯肉形成の手順を知り、その方法を理解する。	1) 歯肉形成に必要な器材を準備する。 2) 歯肉形成の目的を説明する。 3) 歯肉形成を実施する。
29 30	7/13	月	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット11-4: 歯肉形成(3) 提出 (技国 2-I) GIO: 歯肉形成の目的を知るために、ワックス形成の手順や方法を修得する。	1) 唇側側歯頸線の入れ方を説明する。 2) 歯根豊隆の表現方法を説明する。 3) 歯間乳頭の形成について説明する。 4) 歯肉形成を実施する。
31 32	7/17	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット12: 一次埋没 (技国 2-J) GIO: 埋没の意義・目的を理解することで、埋没法の種類、操作方法を身につける。	1) 埋没の目的と意義を説明する。 2) フラスクの構造と取り扱い方を説明する。 3) 一次埋没法を述べる。 4) 二次埋没を実施する。
33 34	7/23	木	赤間亮一 小泉順一 富田 淳 (13:00-14:20) (14:35-15:55)	ユニット14: 流ろう・レジン分離剤塗布 ユニット15: レジン填入 (技国 2-J) GIO: 埋没法の意義・目的を理解することで、埋没法の種類、操作方法を修得する。	1) 分離剤の目的と反応機構を述べる。 2) 分離剤を石膏面に塗布する。 3) 流ろうの目的と意義を説明する。 4) ワックスの軟化方法について説明する。
35 36	7/24	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット16: 重合 (技国 2-J, K) GIO: 加熱重合レジンの重合を知るために、レジン填入の手法を理解し、その方法を修得する。	1) レジン填入の目的を説明する。 2) 重合の目的を説明する。 3) レジン填入時期を説明する。 4) レジン填入を実施する。
37 38	9/4	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット17: 分割 (技国 2-L) GIO: フラスクからの義歯の分割を行うために、分割方法を修得する。	1) 義歯の分割法を説明する。 2) フラスクからの義歯の分割を実施する。
39 40	9/7	月	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット18: 咬合器再装着 ユニット19-1: 人工歯削合(1) (技国 2-M) GIO: 人工歯削合の目的を理解することで、効果的な削合法を修得する。	1) 義歯の咬合器再装着の方法を説明する。 2) 義歯の咬合器再装着を実施する。 3) 咬頭嵌合位での削合について説明する。 4) 人工歯削合を実施する。 5) 選択削合を理解する。
41 42	9/11	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット19-2: 人工歯削合(2) (技国 2-M) GIO: 全部床義歯に付与する咬合様式を理解するために、両側性平衡咬合の削合を身につける。	1) 自動削合を説明する。 2) 自動削合を実施する。
43 44	9/14	月	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット20: 義歯の作業用模型からの分離 (技国 2-L) GIO: 模型からの義歯の分離法を行うために、その方法を身につける。	1) 作業用模型からの分離を実施する。
45 46	9/18	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット21-1: 研磨(1) (技国 2-N) GIO: 義歯の研磨を行うために、その手順について理解し、研磨方法を修得する。	1) 研磨の目的を説明する。 2) 研磨の手順を理解する。 3) 粗研磨を実施する。 4) 中研磨を実施する。
47 48	9/25	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット21-2: 研磨(2) 提出 (技国 2-N) GIO: レーズ研磨を用いた研磨法について知り、その研磨方法を修得する。	1) レーズの使用法を説明する。 2) 磨砂を使用した研磨法を工夫する。 3) パフを使用した仕上げ研磨を実施する。 4) 製作した製作物を提供する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
49 50	9/28	月	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット22:咬合器装着 (技国 3-F) GIO:部分床義歯の模型を咬合器に装着する方法 を修得する.	1)咬合器を類別する. 2)咬合器装着を実施する.

## 本学期的学習目標 (GIO)

English is a global language for communication. For the purpose of developing future dental technicians with English communication skills, this course aims to learn both receptive and productive skills of English: listening, reading, speaking and writing. Through various class activities, students will improve their basic English skills, and come to use it in a more communicative way.

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。                                 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。                                      |

### カリキュラムポリシー

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。       |
| <input type="checkbox"/> | 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。         |
| <input type="checkbox"/> | 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。                                      |
| <input type="checkbox"/> | 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。 |
| <input type="checkbox"/> | 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。                                      |

学年	学期	曜日	時間	講堂
1	前	火	14:35-15:55	短大 4階 401講堂

## 教科書・参考書

著者・编者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科英語	第1版	医歯薬出版
	配付資料		

## 担当者一覧

横山知美

## 成績評価

Exam (70%) & Exercises (30%)

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の教科書を事前に読み、わからない言葉を確認しておきましょう。  
 授業範囲の教科書を事前に読み、専門用語の意味などを理解しておきましょう。  
 配付プリント・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時:授業終了後

場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	6/23	火	横山知美	ユニット1: Course guidance & Reading (1)	1) I can read main ideas within an essay. 2) I can talk about everyday topics: accommodation. 3) I can use the common verb <i>go</i> correctly.
				GIO: Students can understand skimming skills for the purpose of properly understanding an essay.	
2	6/30	火	横山知美	ユニット2: Reading (2)	1) I can find specific information quickly within an essay. 2) I can talk about everyday topics: cooking. 3) I can use the common verb <i>come</i> correctly.
				GIO: Students can understand scanning skills for the purpose of obtaining information quickly.	
3	7/7	火	横山知美	ユニット3: Writing	1) I can write a short essay. 2) I can talk about everyday topics: health. 3) I can use the common verb <i>get</i> correctly.
				GIO: Students can understand writing skills for the purpose of reporting.	
4	7/9	木	横山知美 (14:35-15:55)	ユニット4: Listening (1)	1) I can listen to identify main ideas expressed in conversations. 2) I can talk about everyday topics: shopping. 3) I can use the common verb <i>take</i> correctly.
				GIO: Students can recognize the speaker's intention for the purpose of properly communicating each other.	
5	7/14	火	横山知美	ユニット5: Listening (2)	1) I can understand native speakers when they speak quickly. 2) I can talk about everyday topics: jobs. 3) I can use the common verb <i>put</i> correctly.
				GIO: Students can understand linking words together for the purpose of improving listening skills.	
6	9/1	火	横山知美	ユニット6: Speaking (1)	1) I can articulate each word accurately. 2) I can talk about everyday topics: school life. 3) I can use the common verb <i>look</i> correctly.
				GIO: Students can understand articulation of English vowels and consonants for the purpose of clearly and correctly pronouncing.	
7	9/8	火	横山知美	ユニット7: Speaking (2)	1) I can pronounce words with an accent. 2) I can talk about everyday topics: restaurant. 3) I can use the common verb <i>bring</i> correctly.
				GIO: Students can understand an English accent for the purpose of improving speaking skills.	
8	9/15	火	横山知美	ユニット8: Final project	1) Review the course objects.
				GIO: Students review the course contents for the purpose of more improving English skills.	

## 本学期的学習目標 (GIO)

患者や協働する医療従事者との良好な人間関係を構築し、全人的医療並びに円滑なチーム医療を遂行するために、医療人として具備すべきコミュニケーション技法を修得する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。                                 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。                                      |

### カリキュラムポリシー

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。       |
| <input type="checkbox"/> | 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。         |
| <input type="checkbox"/> | 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。                                      |
| <input type="checkbox"/> | 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。 |
| <input type="checkbox"/> | 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。                                      |

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	前	水	9:00～11:55	短大 2階 201講堂

## 教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
	配付資料		

## 担当者一覧

鈴木 恵・小泉順一・竹井利香・茂原宏美・池田亜紀子・相澤直依

## 成績評価

授業中の提出物(80%)・受講態度(20%)

## 準備学習(予習・復習)

社会的マナーを新聞等で学んでおいてください。  
授業で体験した内容を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時:講義終了後15分

場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	6/17	水	鈴木 恵 茂原宏美 (9:00-10:20)	ユニット1:ヒューマンリレーションズ1 (人間関係作り) GIO:良好な人間関係を構築するために、コミュニケーションの重要性を理解する。	1) コミュニケーションを説明する。 2) コミュニケーションを分類する。 3) ヒューマンリレーションズを説明する。 4) グループワークの目的を説明する。 5) グループワークを体験する。 6) 第一印象が与える影響について討議する。
2	6/17	水	小泉順一 鈴木 恵 (10:35-11:55)	ユニット2:コミュニケーションスキル1 GIO:良好な人間関係を構築するために、基本的なコミュニケーションスキルを修得する。	1) 環境設定の重要性を述べる。 2) 環境設定を工夫する。 3) 傾聴のスキルを体感する。 4) 傾聴のスキルを実施する。
3	6/24	水	小泉順一 鈴木 恵 (9:00-10:20)	ユニット3:コミュニケーションスキル2 GIO:良好な人間関係を構築するために、基本的なコミュニケーションスキルを修得する。	1) 承認のスキルを説明する。 2) 承認のスキルを実施する。 3) 環境設定, 傾聴, 承認のスキルを実施する。
4	6/24	水	小泉順一 鈴木 恵 (10:35-11:55)	ユニット4:コミュニケーションスキル3 GIO:良好な人間関係を構築するために、基本的なコミュニケーションスキルを修得する。	1) 質問方法の違いを説明する。 2) 質問方法を使い分けて実施する。 3) 環境設定, 傾聴, 承認, 質問方法のスキルを実施する。
5	7/1	水	鈴木 恵 茂原宏美 (9:00-10:20)	ユニット5:ヒューマンリレーションズ2 (センスオブバリュー) GIO:良好な人間関係を構築するために、コミュニケーションの重要性を理解する。	1) 相手の立場に配慮する。 2) 価値観について討議する。 3) 討議のプロセスを振り返る。
6	7/1	水	相澤直依 鈴木 恵 (10:35-11:55)	ユニット6:接遇・マナー GIO:信頼関係を構築するために、適切な接遇とマナーを修得する。	1) 正しい言葉使いを使用する。 2) 敬語を使い分ける。 3) 伝達の方法を討議する。 4) 適切な電話応対を実施する。
7	7/8	水	竹井利香 池田亜紀子 (9:00-10:20)	ユニット7:グループディスカッション1 GIO:良好な人間関係を構築するために、グループ討議を通して問題解決能力を修得する。	1) 問題点を抽出する。 2) 建設的な意見を述べる。 3) 他人の意見を聴く。 4) 効果的な討論をする。
8	7/8	水	竹井利香 池田亜紀子 (10:35-11:55)	ユニット8:グループディスカッション2 GIO:良好な人間関係を構築するために、グループ討議を通して問題解決能力を修得する。	1) 媒体を作成する。 2) 作成した媒体を発表する。 3) 効果的な討論をする。

## 歯科技工学科 第1学年 後学期授業科目

歯冠修復技工学実習基礎 . . . . .	50
有床義歯技工学実習基礎 . . . . .	53
歯及び口腔解剖学実習基礎 . . . . .	58
歯冠修復技工学基礎 . . . . .	60
歯科理工学基礎 . . . . .	62
矯正歯科技工学 . . . . .	65
小児歯科技工学 . . . . .	67
歯及び口腔解剖学基礎 . . . . .	69
法 学 . . . . .	71
顎口腔機能学 . . . . .	73
有床義歯技工学基礎 . . . . .	75
顎口腔機能学実習 . . . . .	77
関係法規 . . . . .	80
歯科理工学実習 . . . . .	82
美術概論 . . . . .	84

令和8年度 歯科技工学科 第1学年 後学期授業時間表

時限	1	2	3	4
時間 曜日	9:00-10:20	10:35-11:55	13:00-14:20	14:35-15:55
月	歯冠修復技工学実習基礎 (竹 井)		有床義歯技工学実習基礎 (赤 間) ----- 美術概論 (竹 井)	
火	有床義歯技工学実習基礎 (赤 間)		歯及び口腔解剖学 実習基礎 (宇都宮) ----- 顎口腔機能学実習 (小 泉)	歯冠修復技工学基礎 (竹 井) ----- 歯科理工学実習 (竹 井)
水	歯冠修復技工学実習基礎 (竹 井)		有床義歯技工学実習基礎 (赤 間) ----- 美術概論 (竹 井)	
木	歯及び口腔解剖学 実習基礎 (宇都宮)	歯科理工学基礎 (竹 井) ----- 矯正歯科技工学 (宇都宮)	矯正歯科技工学(宇都宮) 小児歯科技工学(茂 原) ----- 美術概論 (竹 井)	歯及び口腔解剖学 基礎 (井 出) ----- 顎口腔機能学実習 (小 泉)
金	法 学 (大 島) ----- 関係法規 (大 島)	歯科理工学基礎 (竹 井)	顎口腔機能学 (新 谷) ----- 歯科理工学実習 (富 田)	有床義歯技工学基礎 (赤 間)

- 1) 授業期間：10月 1日 (木) ～ 2月17日 (木)
- 2) 冬期休暇：12月22日 (火) ～ 1月 5日 (火)
- 3) 法学は、10月 2日 (金) ～11月20日 (金)  
 顎口腔機能学実習は、10月 22日 (木) ～ 12月17日 (木)  
 歯及び口腔解剖学実習基礎は、10月 1日 (木) ～ 1月14日 (木)  
 顎口腔機能学は、10月 2日 (金) ～ 11月20日 (金)  
 関係法規は、11月27日 (金) ～ 1月15日 (金)  
 歯科理工学実習は、1月 6日 (水) ～ 1月28日 (木)  
 矯正歯科技工学・小児歯科技工学は、隔週で授業を行う。  
 美術概論は、1月13日 (水) ～ 1月29日 (金)

\*感染症等の拡大状況によってはオンライン授業となる場合もあります。

# 歯冠修復技工学実習基礎

月曜日  
水曜日

9:00～11:55

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯冠修復物の製作を通して、人々の健康に寄与できる歯科技工士となるために、歯冠修復技工操作の各種手技の基礎的事項を実際に修得する。また、歯冠修復技工学の学説と平行して履修することにより、操作技術を理論的に修得し、臨床的事項についても理解を深める。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	後	月・水	9:00-11:55	短大 4階 基礎実習室・鑄造研磨室

## 教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学	第2版	医歯薬出版
	歯冠修復技工学実習書		

## 担当者一覧

竹井利香・雲野泰史・宇都宮宏充・茂原宏美

## 成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)、製作物・提出物(80%)の結果を評価対象とする。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の教科書・実習書を事前に読み、わからない言葉を確認しておきましょう。実習内容を理解し、意義や製作手順を覚えましょう。

## オフィスアワー

日時: 実習後15分

場所: 4階 基礎実習室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
77 78	10/5	月	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット77:メタルインレー14 研磨 ユニット78:メタルインレー15 研磨 (技国 2-N) GIO:メタルインレー製作の手法を修得するために、研磨調整を行い、手技を修得する。また、粗研磨と中研磨を実施する。	1) 研磨調整に必要な器材を準備する。 2) 隣接面の接触点の状態を模倣する。 3) 辺縁部形態の調整を工夫する。 4) メタルインレーの中研磨を実施する。
79 80	10/7	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット79:メタルインレー16 研磨・提出 ユニット80:ブリッジ1 模型製作 (技国 2-F) GIO:仕上げ研磨を実施する。ブリッジの製作法を身につけるために、模型製作と咬合器装着を実施し、模型分割及び歯型トリミングを実施する。	1) メタルインレーの仕上げ研磨を実施する。 2) 製作した技工物を提出する。 3) 作業用模型製作を実施する。 4) 歯型可撤式模型製作に必要な器材を準備する。
81 82	10/14	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット81:ブリッジ2 咬合器装着 ユニット82:ブリッジ3 分割・トリミング (技国 2-F, G) GIO:ブリッジの製作法を身につけるために、模型製作と咬合器装着を実施する。また、模型の分割および歯型のトリミングを実施する。	1) 咬合器装着に必要な器材を準備する。 2) 分割に必要な器材を準備する。 3) 分割を実施する。 4) 歯型のトリミングを実施する。 5) 作業用模型を完成する。
83 84	10/19	月	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット83:ブリッジ4 パターン形成①支台装置 ユニット84:ブリッジ5 パターン形成②支台装置 (技国 2-I) GIO:ブリッジの製作法を身につけるために、ワックスパターン形成を行う。解剖学的形態や支台装置の形態を理解し、ワックス形成を実施する。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) 支台装置の要件を述べる。 3) 支台装置のワックスパターン形成を実施する。 4) 反対側同名歯を観察する。
85 86	10/21	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット85:ブリッジ6 パターン形成③支台装置 ユニット86:ブリッジ7 パターン形成④支台装置 (技国 2-I) GIO:ブリッジの製作法を身につけるために、ワックスパターン形成を行う。解剖学的形態や支台装置の形態を理解し、ワックス形成を実施する。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) 反対側同名歯を観察する。 3) 支台装置のパターン形成の仕上げを工夫する。 4) 反対側同名歯と対比する。
87 88	10/26	月	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット87:ブリッジ8 パターン形成⑤支台装置 ユニット88:ブリッジ9 パターン形成⑥ボンテック (技国 2-I) GIO:ブリッジに与えるべき歯冠形態を理解するために、支台装置の形態を認識し、ワックスパターン形成を実施する。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) 支台装置のワックスパターン形成を実施する。 3) 支台装置ワックスパターン形成の仕上げを工夫する。 4) 反対側同名歯と対比する。
89 90	10/28	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット89:ブリッジ10 パターン形成⑦ボンテック ユニット90:ブリッジ11 パターン形成⑧ボンテック (技国 2-I) GIO:ボンテックの咬合面に与えるべき形態を理解するために、ワックスパターン形成を行う。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) ボンテックの種類を類別する。 3) ボンテックの形態について述べる。 4) ボンテックのワックスパターン形成を実施する。
91 92	11/2	月	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット91:ブリッジ12 パターン形成⑨基底部 ユニット92:ブリッジ13 パターン形成⑩窓明け (技国 2-I) GIO:ボンテックの基底部に与えるべき形態を理解するために、ワックスパターン形成を行う。さらに、ボンテックの窓明けを行う。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) ボンテックの窓開きの目的を述べる。 3) ボンテックの窓明けを実施する。
93 94	11/4	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット93:ブリッジ14 連結 ユニット94:ブリッジ15 埋没 (技国 2-J) GIO:支台装置とボンテックの連結法を理解するために、連結を行う。さらに、ブリッジのスプルーイングを理解し、埋没を行う。	1) 支台装置とボンテックの連結法を説明する。 2) 連結によりワックスパターンの仕上げを実施する。 3) 埋没操作に必要な器材を準備する。 4) ブリッジのスプルーイングを述べる。 5) 埋没法を実施する。
95 96	11/9	月	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット95:ブリッジ16 鑄造 ユニット96:ブリッジ17 研磨 (技国 2-K,N) GIO:ブリッジの製作法を身につけるために、鑄造を行い、鑄造後処理を行う。さらに、ブリッジの研磨を実施する。	1) 鑄造法に使用する器材を準備する。 2) ブリッジの鑄造を実施する。 3) 鑄造後処理を実施する。 4) 鑄造体の調整研磨に必要な器材を準備する。 5) 鑄造体の研磨を実施する。
97 98	11/11	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット97:ブリッジ18 研磨 ユニット98:ブリッジ19 研磨 (技国 2-N) GIO:ブリッジの製作法を身につけるために、研磨を実施する。また、ろう付けによる連結法を述べる。	1) 鑄造体の調整研磨に必要な器材を準備する。 2) 鑄造体の研磨を実施する。 3) ろう付けによる連結法を説明する。
99 100	11/16	月	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット99:ブリッジ20 メタル調整 ユニット100:ブリッジ21 ボンテック前装 (技国 2-N) GIO:ブリッジの製作法を身につけるために、研磨を実施する。また、ボンテックのレジン築盛のための調整を修得し、レジン築盛を実施する。	1) 鑄造体の調整研磨に必要な器材を準備する。 2) レジン築盛のための調整を実施する。 3) ボンテックの前装方法を述べる。 4) レジン前装を実施する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
101 102	11/18	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット101:ブリッジ22 ポンティック形態修正 ユニット102:ブリッジ23 ポンティック研磨 (技国 2-N) GIO:ポンティックの形態を理解するために、レジンを築盛し、形態回復を行う。	1) ポンティックの前装方法を述べる。 2) レジン前装を実施する。 3) レジン前装部の形態修正を実施する。 4) レジン前装部の研磨を実施する。
103 104	11/25	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット103:ブリッジ24 研磨 ユニット104:ブリッジ25 研磨・提出 (技国 2-N) GIO:ブリッジの製作法を身につけるために、ブリッジの仕上げを実施する。	1) 鋳造体の調整研磨に必要な器材を準備する。 2) ブリッジの仕上げ研磨を実施する。 3) 完成したブリッジの形態を検討する。 4) 製作物を提出する。
105 106	12/2	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット105:レジン前装冠1 模型製作 ユニット106:レジン前装冠2 台付け・修正 (技国 2-F, N) GIO:レジン前装冠製作の術式を修得するために、作業用模型製作を実施する。	1) レジン前装冠の特徴を列記する。 2) 歯型可撤式模型作製に必要な器材を準備する。 3) 作業用模型の製作を実施する。
107 108	12/9	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット107:レジン前装冠3 分割・トリミング ユニット108:レジン前装冠4 咬合器装着 (技国 2-F, G) GIO:レジン前装冠製作の術式を修得するために、作業用模型を完成させ、歯型の分割とトリミングを実施する。また、咬合器装着を実施する。	1) 歯型の分割を実施する。 2) 前装冠の辺縁形態を述べる。 3) 歯型のトリミングを実施する。 4) 咬合器装着に必要な器材を準備する。 5) 作業用模型の咬合器装着を実施する。
109 110	12/14	月	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット109:レジン前装冠5 パターン形成① ユニット110:レジン前装冠6 パターン形成② (技国 2-I, P) GIO:レジン前装冠製作の術式を修得するために、レジン前装冠のワックスパターン形成を実施する。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) レジン前装冠に要求される形態の特徴を述べる。 3) ワックスパターン形成を実施する。 4) 偏心運動を確認し、前歯部修復物に与える形態を考慮する。
111 112	12/16	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット111:レジン前装冠7 パターン形成③ ユニット112:レジン前装冠8 窓開け (技国 2-I, P) GIO:レジン前装冠フレーム形態を理解するために、ワックスパターン形成の仕上げを行う。フレーム形態を理解するために、窓開けを実施する。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) レジン前装冠に要求される形態の特徴を述べる。 3) ワックスパターン形成を実施する。 4) ワックスパターン形成の仕上げを工夫する。 5) 前装部の窓開けを実施する。
113 114 115	1/6	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美 (13:00-14:20)	ユニット113:レジン前装冠9 埋没 ユニット114:レジン前装冠10 鋳造 ユニット115:レジン前装冠11 適合 (技国 2-J, K, M, P) GIO:レジン前装冠の維持装置の付与を行い、埋没する。レジン前装冠の製作を修得するために、鋳造を実施する。	1) 埋没準備・埋没に必要な器材を準備する。 2) 埋没準備に必要な過程を述べる。 3) ワックスパターンの埋没法を実施する。 4) 埋没の留意点を述べる。 5) 鋳造に必要な器材を準備する。 6) 鋳造体の調整に必要な器材を準備する。 7) 鋳造体の調整を実施する。
116 117	1/13	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット116:レジン前装冠12 研磨 ユニット117:レジン前装冠13 調整・提出 (技国 2-N, P) GIO:歯型や歯列模型に適合させるための調整を行う。術式を修得するために、メタルフレームの形態修正と調整研磨を行う。	1) 鋳造体の研磨に必要な器材を準備する。 2) 鋳造体の調整を実施する。 3) 鋳造体の形態修正を実施する。 4) 鋳造体の調整研磨を実施する。 5) メタルフレームの仕上げを実施する。 6) 製作物を提出する。
118 119	1/20	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット118:レジン前装冠14 レジン築盛① ユニット119:レジン前装冠15 レジン築盛② (技国 2-P) GIO:レジン前装冠製作の術式を修得するために、メタルフレームの調整を行い評価を実施する。さらに、レジン前装の術式を身につける。	1) レジンをを用いた歯冠形態の回復法について述べる。 2) レジン築盛に必要な器材を準備する。 3) 光重合型レジンによる前装を実施する。 4) 解剖学的形態を模倣する。
120 121	1/22	金	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美 (9:00-10:20) (10:35-11:55)	ユニット120:レジン前装冠16 レジン築盛③ ユニット121:レジン前装冠17 形態修正 (技国 2-P) GIO:レジン前装冠のレジン前装の術式を身につけるために、築盛を行い、光重合を実施する。レジン前装冠の形態修正の手技を身につけるために、解剖学的形態に基づき形態修正を実施する。	1) レジン築盛に必要な器材を準備する。 2) 解剖学的形態を模倣する。 3) 反対側同名歯と対比する。 1) 形態修正に必要な器材を準備する。 2) 形態修正の術式を説明する。 3) 解剖学的形態に基づいて形態修正を実施する。
122 123	1/27	水	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美	ユニット122:レジン前装冠18 研磨 ユニット123:レジン前装冠19 研磨・提出 (技国 2-N, P) GIO:レジン前装冠の調整研磨を実施する。	1) レジン研磨の注意点を述べる。 2) レジンの研磨に必要な器材を準備する。 3) レジンの研磨を行う。 4) 金属の研磨を行う。 5) 製作物を提出する。
124 125	1/28	木	竹井利香 雲野泰史 宇都宮宏充 茂原宏美 (9:00-10:20) (10:35-11:55)	ユニット124:全部金属冠トレーニング① ユニット125:全部金属冠トレーニング② (技国 2-I) GIO:履修した手技のレベルアップのために、全部金属冠製作を行う。	1) ワックスパターン形成に必要な器材を準備する。 2) 確実な歯冠外形を回復する。 3) 咬合関係に留意したワックスパターン形成を行う。 4) 製作物を提出する。

# 有床義歯技工学実習基礎

月・水  
火曜日

13:00～15:55  
9:00～11:55

## 本学期的学習目標 (GIO)

高齢社会における患者の求める義歯についての理解を深めるために、全部床義歯・部分床義歯の製作方法を身につける。さらに、患者の健康維持、増進のために、失われた諸機能と顔貌の回復方法を修得する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	後	月・水	13:00-15:55	短大 4階 基礎実習室・鑄造研磨室
		火	9:00-11:55	短大 4階 基礎実習室・鑄造研磨室

## 教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第2版	医歯薬出版
	有床義歯技工学実習書		

## 担当者一覧

赤間亮一・小泉順一・富田 淳

## 成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)と提出物の到達度(80%)を成績の評価対象とする。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の実習書を事前に読み、理解して授業を受けるようにしましょう。  
実習内容を理解し、意義や製作手順を覚えるようにしましょう。

## オフィスアワー

日時:実習後15分

場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
51 52	10/1	木	赤間亮一 小泉順一 富田 淳 (9:00-10:20) (10:35-11:55)	ユニット23-1:サベイング・外形線記入(1) (技国 3-G) GIO:サベイングについて理解し、サバイヤーと付属品の取扱い方を修得する。	1)サベイングの目的を説明する。 2)サベイングの順序を説明する。 3)付属品の使用法を説明する。
53 54	10/5	月	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット23-2:サベイング・外形線記入(2) (技国 3-G) GIO:サベイングについて理解し、サバイヤーと付属品の取扱い方を修得する。	1)義歯床外形線について説明する。 2)サベイングを実施する。 3)測定杆の使用法を説明する。 4)義歯の着脱方向について述べる。 5)等高点について述べる。
55 56	10/6	火	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット24:ブロックアウト・リリーフ (技国 3-G) GIO:ブロックアウトとリリーフを知るために、その目的と意義を理解する。	1)ブロックアウトの意義と目的を説明する。 2)リリーフの目的と意義を説明する。 3)ブロックアウトする部位を調べる。 4)リリーフする部位を調べる。
57 58	10/7	水	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット25-1:連結装置の製作(1) (技国 3-H) GIO:連結装置の定義・要件・目的・分類を知り、製作方法を修得する。	1)連結装置の定義を説明する。 2)連結装置の要件を説明する。 3)連結装置の目的を説明する。
59 60	10/13	火	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット25-2:連結装置の製作(2) (技国 3-H) GIO:連結装置の定義・要件・目的・分類を知り、製作方法を修得する。	1)連結装置の定義を説明する。 2)連結装置の要件を説明する。 3)連結装置の目的を説明する。
61 62	10/14	水	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット26-1:耐火模型の製作(1) (技国 3-G) GIO:耐火模型の製作方法について知るために、印象採得に伴う技工作業を修得する。	1)耐火模型の目的を述べる。 2)アルジネート印象材の特性を説明する。 3)耐火模型材の特性を説明する。
63 64	10/19	月	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット26-2:耐火模型の製作(2) ユニット27-1:支台装置の製作(1) (技国3-G) GIO:耐火模型の製作方法について知るために、印象採得に伴う技工作業を修得する。 GIO:鑄造鉤の製作手順を理解し、製作方法を修得する。	1)耐火模型の表面処理について説明する。 2)耐火模型を製作する。 3)外形線の記入を行う。 4)鑄造鉤の形態を説明する。
65 66	10/20	火	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット27-2:支台装置の製作(2) (技国 3-G) GIO:鑄造鉤の製作手順を理解し、製作方法を修得する。	1)ワックスパターン形成を実施する。 2)既成パターンの使用法を説明する。 3)ミニトーチによる仕上げを実施する。
67 68	10/21	水	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット27-3:支台装置の製作(3) (技国 3-G) GIO:型ごと埋没の手法を行うために、製作手順とスプレーイングについて修得する。	1)埋没前の準備を行う。 2)スプレーイングについて説明する。 3)型ごと埋没を行う。
69 70	10/26	月	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット27-4:支台装置の製作(4) (技国 3-G) GIO:支台装置の鑄造を行うために、ブローパイプ炎による合金の融解方法を修得する。	1)鑄造を実施する。 2)鑄造時の融解方法を述べる。 3)フラックスの適切な使用法を説明する。 4)鑄造後、掘り出しを行う。
71 72	10/27	火	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット27-5:支台装置の製作(5) (技国 3-G) GIO:線鉤の製作手順を理解するために、製作方法を修得する。	1)プライヤーの使用法を述べる。 2)ワイヤーベンディングを実施する。
73 74	10/28	水	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット27-6:支台装置の製作(6) (技国 3-G) GIO:流ろうレストの製作手順を理解するために、製作方法を修得する。	1)レスト板の圧接を実施する。 2)仮着後、埋没を実施する。 3)ろう付け法を述べる。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
75 76	11/2	月	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット27-7: 支台装置の製作(7) (技国 3-G) GIO: 鑄造鉤と線鉤の形態修正を行い、適切な形態を身につける。	1) 形態修正の方法を述べる。 2) 形態修正を実施する。 3) マイクロモーターの適切な回転数を述べる。
77 78	11/4	水	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット27-8: 支台装置の製作(8) (技国 3-G) GIO: 流ろうレストの製作手順を理解するために、製作方法を修得する。	1) ステイキークワックスによる仮着を実施する。 2) 埋没法による流ろうレストの製作法を述べる。
79 80	11/9	月	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット27-9: 支台装置の製作(9) (技国 3-G, H) GIO: 連結子と間接支台装置とのろう付けを行うために、埋没法を修得する。	1) 連結子と間接支台装置の仮着を実施する。 2) 埋没法によるろう付けの製作法を述べる。
81 82	11/10	火	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット27-10: 支台装置の製作(10) 提出 (技国 3-G, H) GIO: 連結装置と間接維持装置との研磨を行うために、研磨技術を身につける。	1) 仕上げ研磨について述べる。 2) つや出しを実施する。 3) 製作物の提出を行う。
83 84	11/11	水	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット28-1: 人工歯排列(1) (技国 3-I, J) GIO: 部分床義歯の人工歯排列を知るために、前歯部・臼歯部の人工歯排列方法を修得する。	1) 人工歯の材質について説明する。 2) 人工歯の形態について説明する。 3) 人工歯排列の選択に関わる要素を述べる。 4) 人工歯排列を実施する。
85 86	11/16	月	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット28-2: 人工歯排列・削合(2) (技国 3-I, J) ユニット29: 歯肉形成準備 (技国 3-K) GIO: 部分床義歯における人工歯削合法を修得する。 GIO: 部分床義歯の歯肉形成を知るために、審美性・機能的性・衛生面を考慮することを身につける。	1) 人工歯排列を実施する。 2) 人工歯削合を実施する。 3) 歯肉形成に必要な器材を準備する。 4) 歯肉形成の目的を説明する。
87 88	11/17	火	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット30-1: 歯肉形成(1) (技国 3-K) GIO: 部分床義歯の歯肉形成を知るために、審美性・機能的性・衛生面を考慮することを身につける。	1) 歯頸線の明示を行う。 2) ミニトーチを用いた仕上げについて説明する。 3) 歯肉形成を実施する。
89 90	11/18	水	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット30-2: 歯肉形成(2) (技国 3-K) ユニット31: 埋没準備 (技国 3-L) GIO: 部分床義歯の歯肉形成を知るために、審美性・機能的性・衛生面を考慮することを知る。 GIO: 部分床義歯のフラスク埋没を知るために、埋没法の種類と方法を修得する。	1) 歯肉形成を実施する。 2) 人工歯の早期接触の除去を行う。 3) 埋没の準備を実施する。 4) フラスクの選択について述べる。
91 92	11/24	火	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット32: フラスク埋没 (技国 3-L) GIO: 部分床義歯のフラスク埋没を知るために、埋没法の種類と方法を修得する。	1) 一次埋没を実施する。 2) 二次埋没を実施する。
93 94	11/25	水	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット33: 流ろう ユニット34: レジン分離剤塗布 (技国 3-L) GIO: ワックスの軟化法を理解し、流ろうから分離剤塗布までの手法を修得する。	1) 流ろうの目的と意義を説明する。 2) ワックスの軟化方法について説明する。 3) 流ろうを実施する。 4) レジン分離剤の塗布を実施する。
95 96	11/27	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳 (13:00-14:20) (14:35-15:55)	ユニット35: レジン填入 ユニット36: 重合 (技国 3-M) GIO: 加熱重合レジンの填入を行うために、その手法を修得する。	1) 加熱重合レジンの混和について説明する。 2) フラスクプレスについて述べる。 3) 重合サイクルについて説明する。 4) レジン填入を実施する。
97 98	11/30	月	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット37: 形態修正 (技国 3-O) GIO: フラスクからの義歯の分割を行うために、石膏分割鉗子の操作方法を修得する。	1) 分割鉗子の使用法について説明する。 2) 分割を実施する。 3) 形態修正を実施する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
99 100	12/1	火	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット38-1:部分床義歯の研磨(1) (技国 3-O) GIO:部分床義歯の研磨を行うために、研磨手順 についての方法を修得する。	1)研磨の目的を説明する。 2)研磨の手順について説明する。 3)形態修正を実施する。
101 102	12/4	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳 (13:00-14:20) (14:35-15:55)	ユニット38-2:部分床義歯の研磨(2) ユニット38-3:部分床義歯の研磨(3) 提出 (技国 3-O) GIO:部分床義歯の仕上げ研磨を行うために、 レーズ研磨を身につける。	1)レーズの使用法を説明する。 2)磨砂を使用した研磨法を工夫する。 3)バフを使用した仕上げ研磨を実施する。 4)超音波洗浄を行う。 5)製作物の提出を行う。
103 104	12/7	月	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット39-1:個人トレー・咬合床の製作(1) (技国 2-B, D, 3-B, E) GIO:個人トレー・咬合床の製作手順を理解するた めに、スペーサーの圧接方法を習得する。	1)個人トレーの外形線について説明する。 2)スペーサーについて説明する。 3)スプリットキャストについて述べる。 4)ポストダムについて述べる。
105 106	12/8	火	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット39-2:個人トレー・咬合床の製作(2) (技国 2-B, D, 3-B, E) GIO:個人トレー・咬合床の製作手順を理解するた めに、レジンの操作方法を修得する。	1)常温重合レジンの特性について述べる。 2)常温重合レジンの取り扱い法を説明する。
107 108	12/9	水	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット39-3:個人トレー・咬合床の製作(3) (技国 2-B, D, 3-B, E) GIO:個人トレー・咬合床の製作手順を理解するた めに、レジンの操作方法を修得する。	1)常温重合レジンの練和を実施する。 2)常温重合レジンの圧接を実施する。 3)常温重合レジンの切除を実施する。
109 110	12/11	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳 (13:00-14:20) (14:35-15:55)	ユニット39-4:個人トレー・咬合床の製作(4) (技国 2-B, D, 3-B, E) GIO:個人トレー・咬合床の製作手順を理解するた めに、レジンの操作方法を修得する。	1)個人トレーの形態修正について説明する。 2)柄の取り付け位置を述べる。 3)咬合堤製作の基準について説明する。 4)咬合堤の寸法を述べる。
111 112	12/14	月	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット39-5:個人トレー・咬合床の製作(5) (技国 2-B, D, 3-B, E) GIO:個人トレー・咬合床の製作手順を理解するた めに、レジンの操作方法を修得する。	1)咬合床の仕上げを工夫する。
113 114	12/18	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳 (13:00-14:20) (14:35-15:55)	ユニット39-6:個人トレー・咬合床の製作(6) 提出 (技国 2-B, D, 3-B, E) GIO:個人トレー・咬合床の製作手順を理解するた めに、レジンの操作方法を修得する。	1)個人トレーの仕上げを工夫する。
115 116	1/12	火	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット40:咬合器装着(技国 2-E) ユニット41:基準線記入(技国 2-C) GIO:咬合器装着を理解するために、模型への咬 合床の固定の仕方を修得し、半調節性咬合器の 機構を修得する。	1)咬合器装着方法を述べる。 2)咬合器装着を実施する。 3)人工歯排列に必要な器材を準備する。 4)咬合堤に人工歯排列の基準線を記入する。
117 118	1/19	火	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット42-1:前歯部人工歯排列(1) (技国 2-H) GIO:前歯部人工歯排列を行うために、人工歯排 列に必要な機能的・審美的な基礎知識を身につ ける。	1)人工歯排列に必要な器材を準備する。 2)ワックスのカットと軟化方法を説明する。 3)前歯部人工歯排列を実施する。 4)適切な歯冠軸について述べる。 5)垂直被蓋と水平被蓋について説明する。
119 120	1/21	木	赤間亮一 小泉順一 富田 淳 (9:00-10:20) (10:35-11:55)	ユニット43-1:臼歯部人工歯排列(1) (技国5-D) GIO:臼歯部人工歯排列を行うために、意義と目 的を理解し、人工歯排列の方法を修得する。	1)歯槽頂線に対する排列位置を説明する。 2)左右のバランスを確認する。 3)前後的調節彎曲を説明する。 4)側方的調節彎曲を説明する。
121 122	1/26	火	赤間亮一 小泉順一 富田 淳	ユニット43-2:臼歯部人工歯排列(2) (技国 2-H) ユニット44-1:歯肉形成(1) (技国 2-I) GIO:臼歯部人工歯排列を行うために、意義と目 的を理解し、人工歯排列の方法を修得する。 GIO:歯肉形成の目的を知るために、ワックス形成 の手順や方法を修得する。	1)歯肉形成に必要な器材を準備する。 2)歯肉形成の目的を説明する。 3)歯肉形成を実施する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
123 124 125	1/29	金	赤間亮一 小泉順一 富田 淳 (9:00-10:20) (10:35-11:55) (13:00-14:20)	ユニット44-2: 歯肉形成(2) ユニット44-3: 歯肉形成(3) 提出 (技国 2-I) GIO: 歯肉形成の目的を知るために、ワックス形成 の手順や方法を修得する.	1) 歯頸線の入れ方を説明する. 2) 歯根豊隆の表現方法を説明する. 3) 歯冠乳頭の形成について説明する. 4) 表面仕上げを行う. 5) 製作物の提出を行う.

# 歯及び口腔解剖学実習基礎

火曜日 13:00～14:20  
木曜日 9:00～10:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯の形態と組織、および顎顔面口腔領域を構成する頭蓋、筋、脈管、神経、内臓に関する解剖学的知識を再認識するとともに、上・下顎前歯・臼歯の形態的特徴を3次的に理解する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	後	火	13:00-14:20	短大 4階 基礎実習室・401講堂

## 教科書・参考書

著者・编者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学	第1版	医歯薬出版
	配布資料		

## 担当者一覧

宇都宮宏充・赤間亮一・茂原宏美

## 成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)、製作物・提出物(80%)の結果を評価対象とする。

## 準備学習 (予習・復習)

実習書を事前に読み、わからない言葉を確認しておきましょう。  
実習内容を理解し、意義や製作手順を覚えましょう。

## オフィスアワー

日時:実習後15分

場所:短大1階教員室, 3階実習室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
19	10/6	火	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット9-1:上顎右側第一大臼歯の歯冠彫刻(1) (技国 1-D) GIO:上顎右側第一大臼歯の歯冠形態の再現法 を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎右側第一大臼歯の彫刻を実地する。
20	10/13	火	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット9-2:上顎右側第一大臼歯の歯冠彫刻(2) (技国 1-D) GIO:上顎右側第一大臼歯の歯冠形態の再現法 を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎右側第一大臼歯の彫刻を実地する。 3) 上顎右側第一大臼歯の仕上げを工夫する。 4) 完成した製作物を提出する。
21	10/20	火	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット10-1:下顎右側第一大臼歯の歯冠彫刻(1) (技国 1-D) GIO:下顎右側第一大臼歯の歯冠形態の再現法 を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 下顎右側第一大臼歯の彫刻を実地する。
22	10/27	火	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット10-2:下顎右側第一大臼歯の歯冠彫刻(2) (技国 1-D) GIO:下顎右側第一大臼歯の歯冠形態の再現法 を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 下顎右側第一大臼歯の彫刻を行う。 3) 下顎右側第一大臼歯の仕上げを工夫する。 4) 完成した製作物を提出する。
23	11/12	木	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット11-1:上顎左側中切歯の歯冠彫刻(1) (技国 1-D) GIO:上顎左側中切歯の歯冠形態の再現法を修 得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎左側中切歯の彫刻を行う。
24	11/19	木	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット11-2:上顎左側中切歯の歯冠彫刻(2) (技国 1-D) GIO:上顎左側中切歯の歯冠形態の再現法を修 得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎左側中切歯の彫刻を行う。 3) 上顎左側中切歯の仕上げを工夫する。 4) 完成した製作物を提出する。
25	11/26	木	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット12-1:上顎左側第一大臼歯の歯冠彫刻(1) (技国 1-D) GIO:上顎左側第一大臼歯の歯冠形態の再現法 を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎左側第一大臼歯の彫刻を実地する。
26	12/3	木	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美 (10:35-11:55)	ユニット12-2:上顎左側第一大臼歯の歯冠彫刻(2) (技国 1-D) GIO:上顎左側第一大臼歯の歯冠形態の再現法 を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎左側第一大臼歯の彫刻を実地する。 3) 上顎左側第一大臼歯の仕上げを工夫する。 4) 完成した製作物を提出する。
27	12/10	木	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット13-1:下顎左側第一大臼歯の歯冠彫刻(1) (技国 1-D) GIO:下顎左側第一大臼歯の歯冠形態の再現法 を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 下顎左側第一大臼歯の彫刻を実地する。
28	12/17	木	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット13-2:下顎左側第一大臼歯の歯冠彫刻(2) (技国 1-D) GIO:下顎左側第一大臼歯の歯冠形態の再現法 を修得する。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 下顎左側第一大臼歯の彫刻を行う。 3) 下顎左側第一大臼歯の仕上げを工夫する。 4) 完成した製作物を提出する。
29	1/7	木	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美	ユニット14:上顎右側中切歯の歯冠彫刻 (技国 1-D) GIO:上顎右側中切歯の歯冠形態を80分で再現 する方法を身につける。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎右側中切歯の彫刻を行う。 3) 完成した製作物を提出する。
30	1/14	木	宇都宮宏充 赤間亮一 茂原宏美 (10:35-11:55)	ユニット15:上顎右側中切歯の歯冠彫刻 (技国 1-D) GIO:上顎右側中切歯の歯冠形態を80分で再現 する方法を身につける。	1) 彫刻用器具を準備する。 2) 上顎右側中切歯の彫刻を行う。 3) 完成した製作物を提出する。

## 本学期の学習目標 (GIO)

歯冠修復物の製作を通して、人々の健康に寄与できる歯科技工士となるために、歯冠や歯の欠損に対する歯冠修復技工学の概要や目的を理解し、歯冠修復技工における基礎的事項と臨床的応用を修得する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	後	火	14:35-15:55	短大 4階 401講堂

## 教科書・参考書

著者・编者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学	第2版	医歯薬出版
	配布資料		

## 担当者一覧

竹井利香

## 成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の教科書を事前に読み、専門用語の意味などを理解しておきましょう。  
配付プリント・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時: 講義後15分

場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
19	10/6	火	竹井利香	ユニット19: ジャケットクラウン (技国 1-C) GIO: 適切なジャケットクラウンを製作するために、その概要を知り、製作方法を理解する。	1) ジャケットクラウンを分類する。 2) ジャケットクラウンの使用材料を比較する。 3) ジャケットクラウンの製作方法を材料別に述べる。
20	10/13	火	竹井利香	ユニット20: 前装冠, レジン前装冠 (技国 1-C, 2-P) GIO: 審美性や強度に優れた前装冠を製作するために、その概要を知る。さらにレジン前装冠の特徴や製作方法を理解する。	1) 前装冠を類別する。 2) 前装冠の支台歯形態を説明する。 3) 前装用レジン(歯冠用硬質レジン)の特徴を列記する。 4) レジン前装冠の製作方法を記述する。 5) 窓あけを説明し、前装部維持装置を具体的に述べる。 6) 製作過程の注意点を述べる。
21	10/20	火	竹井利香	ユニット21: シェードマッチング, 陶材焼付金属冠1 (技国 1-C, 2-E, Q) GIO: 審美性や強度に優れた陶材焼付金属冠を製作するために、陶材の理工学的性質を知り、陶材焼付金属冠の特徴や製作法を理解する。	1) シェードマッチングについて具体的に述べる。 2) 陶材の成分を列記し、特徴を説明する。 3) 陶材による色調再現について具体的に述べる。 4) 陶材焼付金属冠の製作方法を記述する。
22	10/27	火	竹井利香	ユニット22: 陶材焼付金属冠2 (技国 1-C, 2-E, Q) GIO: 審美性や強度に優れた陶材焼付金属冠を製作するために、陶材の理工学的性質を知り、陶材焼付金属冠の特徴や製作法を理解する。	1) 陶材焼付金属冠の製作方法を記述する。 2) デイギッシングの目的を説明する。 3) コンデンス法や焼成法を説明する。 4) ステイニングの意義について説明する。 5) グレージングの目的と手法について説明する。
23	11/6	金	竹井利香 (14:35-15:55)	ユニット23: 陶材焼付金属冠3 (技国 1-C, 2-E, L, Q) GIO: 陶材焼付金属冠を応用した歯冠修復物を製作するために、その製作方法や留意点を理解する。	1) 前ろう付け法を説明する。 2) 後ろう付け法を説明する。 3) 陶材の築盛方法を述べる。
24	11/10	火	竹井利香	ユニット24: CAD/CAM, 現在の審美補綴・インプラント1 (技国 2~R, 3) GIO: 現在行われているCAD/CAMや審美補綴について理解するために、その概要や製作方法を知る。また、インプラントの概要について理解する。	1) 現在の審美補綴の概要を説明する。 2) CAD/CAMの概要を説明する。 3) インプラントの概要を説明する。 4) インプラントを類別する。
25	11/17	火	竹井利香	ユニット25: CAD/CAM, 現在の審美補綴・インプラント2 (技国 2~R, 3) GIO: 現在行われているCAD/CAMや審美補綴について理解するために、その概要や製作方法を知る。また、インプラントの概要について理解する。	1) 現在の審美補綴の概要を説明する。 2) インプラントの概要を説明する。 3) インプラントの概要を説明する。 4) インプラントを類別する。
26	11/24	火	竹井利香	ユニット26: 1年間のまとめ① (技国 1~3) GIO: 問題解決に対応できる知識を習得するために、今までに履修した内容の見直しをはかり、学習進捗を認識する。	1) 歯冠修復技工学の履修内容を説明する。
27	12/1	火	竹井利香	ユニット27: 1年間のまとめ② (技国 1~3) GIO: 問題解決に対応できる知識を習得するために、今までに履修した内容の見直しをはかり、学習進捗を認識する。	1) 歯冠修復技工学の履修内容を説明する。

## 本学期的学習目標 (GIO)

口腔内において機能性、審美性および安全性を有する補綴装置を製作するために、歯科技工士に必要な歯科材料の組成、特性および使用方法について理解する。また、歯科技工に用いる機械・器具について、基本的な知識を理解する。後学期は、金属材料が中心になるが、操作技術の基本とその根拠の理論的説明との両面を理解できるよう、深めた内容を修得する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備するべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講堂
1	後	木・金	10:35-11:55	短大 4階 401講堂

## 教科書・参考書

著者・编者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科理工学	第2版	医歯薬出版
	配布資料		

## 担当者一覧

竹井利香

## 成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の教科書を事前に読み、専門用語の意味などを理解しておきましょう。  
配付プリント・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時: 講義後15分

場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
37	10/2	金	竹井利香	ユニット37: 鑄造 3 (技国 8-C) GIO: 歯科精密鑄造について修得するために、鑄造体の後処理と適合性について理解する。	1) 鑄造体の後処理について説明する。 2) 鑄造体の適合性を埋没鑄造と対比する。 3) 鑄造精度について述べる。
38	10/8	木	竹井利香	ユニット38: 鑄造欠陥 1 (技国 8-C) GIO: 鑄造による金属成形の過程で生じる欠陥について理解するために、凝固完了時間に関係した欠陥を知る。	1) 鑄型の内部での湯流れの基本を述べる。 2) 湯流れによる欠陥発生のプロセスを説明する。 3) 凝固完了時間に関係した欠陥を類別する。
39	10/9	金	竹井利香	ユニット39: 鑄造欠陥 2 (技国 8-C) GIO: 鑄造による金属成形の過程で生じる欠陥について理解するために、凝固過程で生じる欠陥とその他の欠陥を知る。	1) 収縮孔の発生原因と防止対策を説明する。 2) ブローホールの発生原因を記述する。 3) ホットスポットの発生原因を述べる。 4) 着色などの欠陥を説明する。 5) 主な欠陥の発生原因と防止方法を対比する。
40	10/15	木	竹井利香	ユニット40: まとめ 8 (技国 5, 8-C) GIO: 鑄造と鑄造欠陥について理解を深めるために、今までに履修した内容の見直しをはかり、知識を整理する。	1) 鑄造の工程における要点を述べる。 2) 鑄造欠陥を分類する。 3) 鑄造欠陥の発生原因を類別する。 4) 発生原因と防止対策を関係付ける。
41	10/16	金	竹井利香	ユニット41: まとめ 9 (技国 5, 8-C) GIO: 鑄造と鑄造欠陥に関する形成的評価を図るために、問題演習を通して今までに履修した内容の見直しをはかり、学習進度を認識する。	1) 鑄造の工程における要点を列挙する。 2) 鑄造欠陥と防止対策を対比する。 3) 鑄造収縮補正理論を具体的に述べる。 4) 演習問題の解
42	10/22	木	竹井利香	ユニット42: 研磨 1 (技国 10-B, C) GIO: 歯科技工に用いる切削・研削・研磨材料を理解するために、材料の組成や用途、使用方法を知る。	1) 研磨の意義を説明する。 2) 研磨材を分類する。 3) 各研磨材の特徴を列記する。 4) 研磨材の使い分けを記述する。
43	10/23	金	竹井利香	ユニット43: 研磨 2 (技国 10-A~C) GIO: 適切な表面の仕上げを行うために、研磨の能率と種々の研磨方法を理解する。また、電解研磨や機械・器具について理解を深める。	1) 研磨の能率に関係する因子について説明する。 2) 電解研磨など、種々の研磨方法を列記する。 3) 研磨に使用する機械器具について述べる。
44	10/29	木	竹井利香	ユニット44: 加工硬化 (技国 8-C) GIO: 金属加工の手法を修得するために、金属の加工硬化と再結晶軟化を理解する。	1) 金属の塑性加工を説明する。 2) 加工硬化の利用方法を述べる。 3) 加工硬化の機構を説明する。 4) 焼きなましと再結晶の機構を関係付ける。
45	10/30	金	竹井利香	ユニット45: 金属の接合 (技国 8-C) GIO: 金属の接合方法について修得するために、接合方法やろう付け用材料、技術について理解する。	1) 金属の接合方法を分類する。 2) ろう付け用材料について説明する。 3) ろう付けの技術について述べる。
46	11/5	木	竹井利香	ユニット46: 合金の熱処理 (技国 8-C) GIO: 合金の熱処理について修得するために、その理論と実際の方法について理解する。	1) 合金の熱処理を分類する。 2) 合金の熱処理の理論的原理を説明する。 3) 金合金の軟化熱処理について述べる。 4) 金合金の硬化熱処理の方法と理論を説明する。 5) 炭素鋼の熱処理方法を記述する。
47	11/6	金	竹井利香	ユニット47: まとめ 10 (技国 8-C, 10-A~C) GIO: 研磨, 加工硬化, ろう付け, 熱処理について理解を深めるために、今までに履修した内容の見直しをはかり、知識を整理する。	1) 研磨材を分類する。 2) 研磨の能率に関係する因子について説明する。 3) ろう付けの要点を述べる。 4) 加工硬化と熱処理の原理を比較する。
48	11/12	木	竹井利香	ユニット48: まとめ 11 (技国 8-C, 10-A~C) GIO: 研磨, 加工硬化, ろう付け, 熱処理に関する形成的評価を図るために、問題演習を通して今までに履修した内容の見直しをはかり、学習進度を認識する。	1) 研磨材を分類する。 2) 研磨の能率に関係する因子について説明する。 3) ろう付けの要点を述べる。 4) 加工硬化と熱処理の原理を比較する。 5) 臨時試験問題の解説を理解する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
49	11/13	金	竹井利香	ユニット49:セラミック成形 1 (技国 1-B, 6-B)	1) セラミックスの一般的な性質を述べる。 2) 歯科用陶材の組成を列記する。 3) 長石質陶材の焼成方法について説明する。 4) 長石質陶材の性質について述べる。
				GIO:セラミックス成形を修得するために、陶材の分類、組成および性質を理解する。	
50	11/19	木	竹井利香	ユニット50:セラミック成形 2 (技国 6-B)	1) セラミックスの一般的な性質を述べる。 2) 歯科用陶材の組成を列記する。 3) 長石質陶材の焼成方法について説明する。 4) 長石質陶材の性質について述べる。 5) アルミナ陶材について述べる。
				GIO:セラミックス成形を修得するために、陶材の分類、組成および性質を理解する。	
51	11/20	金	竹井利香	ユニット51:セラミック成形 3 (技国 6-B, 8-B)	1) 陶材の強化方法を説明する。 2) 陶材築盛の手法について説明する。 3) 陶材のコンデンスについて述べる。 4) 陶材の焼成過程について述べる。 5) 陶材焼成の注意点を説明する。
				GIO:セラミックス成形を修得するために、陶材の強化方法について理解する。また、築盛や焼成法について理解する。	
52	11/26	木	竹井利香	ユニット52:セラミック成形 4 (技国 6-B, 8-B)	1) 焼付用陶材と焼付用金属の具備条件を述べる。 2) 金属焼付用陶材の特徴を説明する。 3) 陶材と合金の焼付機構を説明する。 4) オールセラミックについて整理する。
				GIO:セラミックス成形を修得するために、金属焼付用陶材や金属と陶材の結合機構について理解する。また、オールセラミックの概要を知る。	
53	11/27	金	竹井利香	ユニット53:セラミック成形 5 (技国 6-B, 8-B, D)	1) オールセラミックについて整理する。 2) オールセラミックスの特徴を説明する。 3) 成型方法を説明する。
				GIO:セラミックス成形を修得するために、オールセラミックの概要を知る。	
54	12/3	木	竹井利香	ユニット54:新しい加工技術 (技国 8-B, D)	1) CAD/CAMシステムを用いた歯科用装置の製作を説明する。 2) CAD/CAMシステムの特徴を述べる。 3) 成型方法を比較する。 4) 成型に用いる材料を述べる。
				GIO:CAD/CAMを用いたデジタル技工を修得するために、CAD/CAMシステムの概要を知る。	
55	12/4	金	竹井利香	ユニット55:補綴物の安定性	1) 金属の腐食を分類する。 2) 電気化学的腐食について述べる。 3) 口腔内環境下での腐食現象を説明する。 4) 腐食防止方法を記述する。
				GIO:高分子材料、セラミック材料および金属材料の安定性を理解するために、口腔内環境での腐食現象やその防止法について知る。	
56	12/11	金	竹井利香	ユニット56:その他の歯科材料 (技国 9-A)	1) 歯科用セメントの組成と練和方法を述べる。 2) アマルガムの硬化機構を説明する。 3) セメントとアマルガムの用途を比較する。 4) インプラント材料の種類と特徴を列記する。
				GIO:セメント・アマルガム・インプラント材料について理解するために、その概要を知る。	
57	12/18	金	竹井利香	ユニット57:1年間のまとめ 1 (技国 1~10)	1) 歯科材料の性質について述べる。 2) 印象材について述べる。 3) 歯科用石膏について説明する。 4) 歯科用ワックスについて述べる。 5) 歯科用レジンについて述べる。
				GIO:問題解決に対応できる知識を修得するために、前学期に学んだ種々の材料の性質を比較して各材料を位置付ける。	
58	1/8	金	竹井利香	ユニット58:1年間のまとめ 2 (技国 1~10)	1) 歯科用合金について述べる。 2) 金属成形の手順と使用材料、器具を述べる。 3) 加工硬化、熱処理およびろう付けについて説明する。 4) 歯科用装置の仕上げについて述べる。 5) 歯科用陶材について整理する。
				GIO:問題解決に対応できる知識を修得するために、前学期に学んだ種々の材料の性質を比較して各材料を位置付ける。	

## 本学期的学習目標 (GIO)

矯正歯科技工学における基本的概念を把握するために、矯正歯科治療の流れと矯正歯科技工との関連を身につけ、矯正装置について分類、目的、装置の構成を理解する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	後	木	13:00-14:20	短大 4階 401講堂

## 教科書・参考書

著者・编者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学	第2版	医歯薬出版
	配付資料		

## 担当者一覧

宇都宮宏充

## 成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の教科書の該当する項目と配布資料を事前に熟読し、用語の確認をしておく。  
配布資料・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時: 講義後15分 場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	10/1	木	宇都宮宏充	ユニット1: ガイダンス (技国 1-A) GIO: 矯正歯科技工学の学習方法を身につけるために、矯正治療の流れと矯正歯科技工との関連について理解する。	1) 矯正歯科治療の意義を述べる。 2) 矯正歯科治療の目的を説明する。 3) 不正咬合による障害について説明する。 4) 矯正歯科技工学の意義と目的を説明する。
2	10/15	木	宇都宮宏充	ユニット2: 正常咬合と不正咬合 (技国 1-B~C) GIO: 矯正歯科技工学の基礎知識を身につけるために、正常咬合と不正咬合についてを理解する。	1) 正常咬合の条件と種類を列記する。 2) 不正咬合についてを説明する。 3) 個々の歯の異常を述べる。 4) 歯列弓の形態の異常を列記する。 5) アングルの不正咬合を説明する。
3	10/29	木	宇都宮宏充	ユニット3: 矯正歯科治療の進め方、矯正装置の必要条件と分類 (技国 1-D~4-B) GIO: 矯正歯科治療の流れと歯科技工の関わりを知るために、動的矯正治療と静的矯正治療の特徴を理解する。また矯正装置の必要条件と分類について理解する。	1) 矯正治療の流れと歯科技工の関わりを述べる。 2) 症例分析の流れを説明する。 3) 矯正診断について述べる。 4) 動的矯正治療について説明する。 5) 保定について説明する。 6) 矯正装置の必要条件と分類法を述べる。
4	11/12	木	宇都宮宏充	ユニット4: 舌側弧線装置および顎間固定装置 (技国5-A) GIO: 動的矯正装置を知るために、舌側弧線装置の構成と製作方法を理解する。また、顎間固定装置の目的を理解する。	1) 舌側弧線装置の目的を述べる。 2) 舌側弧線装置の構成を列記する。 3) 舌側弧線装置の製作方法を説明する。 4) 顎間固定装置の目的を述べる。
5	11/26	木	宇都宮宏充	ユニット5: 機能的矯正装置 (技国5-A) GIO: 機能的矯正装置の認識するために、代表的なアクチバートル、バイオネーター、咬合挙上板および咬合斜面板について目的、装置の構成および製作方法を理解する。また、リップバンパー、フレンケルの装置について目的を理解する。	1) アクチバートルの目的と構成を述べる。 2) バイオネーターの目的と構成を説明する。 3) バイオネーターの製作方法を説明できる。 4) 咬合挙上板の目的と構成を説明する。 5) 咬合斜面板の目的と構成を説明する。 6) リップバンパーの目的を述べる。 7) フレンケルの装置の目的を説明する。
6	12/10	木	宇都宮宏充 (10:35-11:55)	ユニット6: 歯列弓拡大装置 (技国5-A) GIO: 器械的矯正装置を認識するために、歯列弓拡大装置の目的と種類を知り、各々の歯列弓拡大装置の構成を理解する。	1) 歯列弓拡大装置の目的を述べる。 2) 歯列弓拡大装置の種類を列記する。 3) 可撤式拡大装置の構成を列記する。 4) 固定式拡大装置の構成を列記する。
7	12/17	木	宇都宮宏充 (10:35-11:55)	ユニット7: 顎外矯正装置、マルチブラケット装置 (技国5-A) GIO: 顎外矯正装置の目的と種類を知るために、ヘッドギア、オトガイ帽装置、上顎前方牽引装置の目的と構成を理解する。また、マルチブラケット装置の目的と種類を理解する。	1) ヘッドギアの目的と構成を述べる。 2) オトガイ帽装置の目的と構成を説明する。 3) 上顎前方牽引装置の目的と構成を説明する。 4) マルチブラケット装置の目的を述べる。 5) マルチブラケット装置の間接法の製作方法を説明する。
8	1/7	木	宇都宮宏充 (10:35-11:55)	ユニット8: 保定装置 (技国5-B) GIO: 静的矯正装置を認識するために、保定装置の種類を挙げ、各々の目的と特徴を知り、また、製作方法についても理解する。	1) ホーレーの保定装置の目的と構成を説明する。 2) ホーレーの保定装置の製作方法を述べる。 3) ラップアラウンドリテーナーの目的と構成を説明する。 4) トゥースポジションナーの目的と製作方法を述べる。 5) スプリングリテーナーの目的と製作方法を述べる。 6) 下顎犬歯間リテーナーの目的を述べる。

## 本学期的学習目標 (GIO)

小児歯科医療において適切な咬合誘導を理解するために、小児歯科診療の流れと小児歯科技工との関連を修得し、咬合誘導装置について各々の目的、構成および製作方法を身につける。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	後	木	13:00-14:20	短大 4階 401講堂

## 教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 小児歯科技工学	第2版	医歯薬出版
	配布資料		

## 担当者一覧

茂原宏美・内川喜盛

## 成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の教科書を事前に読み、わからない言葉を確認しておきましょう。  
配付プリント・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時: 講義後15分

場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	10/8	木	茂原宏美	ユニット1:小児歯科技工学の概説 (技国 1-A) GIO:小児歯科技工学の概要を身につけるために、小児歯科治療の特色を知り、乳歯列期永久歯列期の特徴を理解する。	1)小児歯科診療の特色を述べる。 2)小児歯科技工の特徴を説明する。 3)乳歯列期の特徴を記述する。 4)混合歯列期の特徴を記述する。
2	10/22	木	内川喜盛	ユニット2:歯・顎・顔面の成長発育 (技国 2-A, C) GIO:顎・顔面の成長発育を習得するために、全身・上顎骨・下顎骨の成長発育について理解する。	1)全身の成長発育を説明する。 2)小児の年齢評価を説明する。 3)上顎骨の成長発育を述べる。 4)下顎骨の成長発育を述べる。
3	11/5	木	内川喜盛 (10:35-11:55)	ユニット3:乳歯の形態的特徴と小児の歯冠修復 (技国 2-B, 3-A, B) GIO:適切な小児の歯冠修復を行うために、乳歯の一般的特徴を知り、小児の歯冠修復の種類と特徴を身につける。	1)乳歯の一般的特徴を列記する。 2)個々の乳歯の特徴を述べる。 3)小児における歯冠修復の目的を述べる。 4)小児の歯冠修復の種類を列記する。 5)乳歯用既製金属冠による修復の特徴を列記する。
4	11/19	木	茂原宏美	ユニット4:乳歯列期の特徴 (技国 2-A~D) GIO:適切な小児歯科技工を行うために、基礎的知識の一つとして乳歯列期の特徴について知る。	1)乳歯列の形態を述べる。 2)生理的歯冠空隙を記述する。 3)有隙型および閉鎖型歯列弓を説明する。 4)水平被蓋と垂直被蓋を説明する。 5)ターミナルプレーンを記述する。
5	12/3	木	茂原宏美	ユニット5:混合歯列期の特徴 (技国 2-E) GIO:小児歯科技工を行うために、基礎的知識の一つとして混合歯列期の特徴について知る。	1)第一大臼歯萌出期の特徴を説明する。 2)切歯萌出期の特徴を説明する。 3)側方歯群交換期について述べる。
6	12/10	木	茂原宏美	ユニット6:保険装置 クラウンループ、ディスタルシュー、リンガルアーチ (技国 4-A~C) GIO:保険装置の分類と特徴について知り、クラウンループ、ディスタルシュー、リンガルアーチを製作するために、特徴と製作方法を理解する。	1)保険装置の目的を述べる。 2)保険装置を分類する。 3)クラウンループの目的、構成、製作方法を説明する。 4)ディスタルシューの目的、構成、製作方法を説明する。 5)リンガルアーチの目的、構成、製作方法を説明する。
7	12/17	木	茂原宏美	ユニット7:ナンスのホールディングアーチ、可撤保険装置、スペースリゲーター (技国 4-A~D) GIO:ナンスのホールディングアーチと可撤保険装置を製作するために、その特徴を理解する。スペースリゲーターを製作するために、構成と目的を理解する。	1)ナンスのホールディングアーチの目的を説明する。 2)ナンスのホールディングアーチの製作法を説明する。 3)可撤保険装置の目的、構成、製作方法を説明する。 4)スペースリゲーターの目的を述べる。 5)スペースリゲーターの製作方法を説明する。
8	1/7	木	茂原宏美	ユニット8:口腔習癖除去装置、咬合誘導装置に用いる維持装置(技国 4-E, F) GIO:適切な咬合誘導装置を身につけるために、口腔習癖除去装置の目的、構成、特徴を習得し、維持装置の種類と特徴を知る。	1)口腔習癖の種類を列記する。 2)口腔習癖除去装置の目的を述べる。 3)維持装置の種類を列記する。

## 本学期的学習目標 (GIO)

永久歯の形態的特徴を理解するために、歯の一般的形態とはたらきに関する基礎的事項を身につけ、歯種間、上・下顎、左右側、および位置の違いにみられる形態的差異に関する知識を修得する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	後	木	14:35-15:55	短大 4階 401講堂

## 教科書・参考書

著者・编者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学	第1版	医歯薬出版
	配布資料		

## 担当者一覧

井出吉昭

## 成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の教科書を事前に読み、わからない言葉を確認しておきましょう。  
 授業範囲の教科書を事前に読み、専門用語の意味などを理解しておきましょう。  
 配付プリント・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時: 講義終了後15分 場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
19	10/1	木	井出吉昭	ユニット13: 口腔, 口峽 (技国 3-C) GIO: 顎顔面口腔領域に隣接する呼吸器に関する基礎的知識を認識するために, 鼻腔の形態を知り, 口腔の区分と形態的特徴を理解する。	1) 口腔の位置と形態的特徴を述べる。 2) 鼻腔に存在する器官の形態を述べる。 3) 口腔を区分する。 4) 口腔前庭と固有口腔に存在する器官の名称をあげる。 5) 口腔底と口蓋の形態的特徴を述べる。 6) 口峽を構成する器官を列記する。
20	10/8	木	井出吉昭	ユニット14: 唾液腺, 咽頭 (技国 3-D) GIO: 咀嚼と嚥下に重要な働きを示す唾液腺と咽頭の形態を認識するために, 唾液腺と咽頭の形態的特徴を理解する。	1) 唾液腺を区分する。 2) 唾液腺の形態と支配神経を述べる。 3) 唾液腺の開口部を列記する。 4) 小唾液腺の名称を列記する。 5) 咽頭の形態を述べる。 6) 喉頭の形態を述べる。
21	10/15	木	井出吉昭	ユニット15: 舌, 顎顔面口腔領域の神経 (技国 3-E) GIO: 咀嚼, 嚥下, 構音など多様な機能を有する舌についての基礎的知識を認識するために, 舌の外形と内部の形態的特徴を理解する。顎顔面口腔領域の知覚・運動・分泌に関与する神経に関する基礎的知識を認識するために, 脳神経の分布とはたらきを理解する。	1) 舌を区分する。 2) 舌の形態的特徴を述べる。 3) 舌乳頭を列記する。 4) 舌筋を区分する。 5) 舌筋のはたらきを述べる。 6) 舌に分布する神経を列記する。 7) 顎顔面口腔領域に分布する脳神経を列記する。 8) 三叉・顔面・舌咽・舌下神経の分布とはたらきを説明する。

## 本学期的学習目標 (GIO)

国民に対して適切な歯科医療サービスを提供するとともに、その業務を滞りなく行うために、歯科領域に関わりのある法制度の知識を身につける。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

<input type="checkbox"/>	1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
<input type="checkbox"/>	2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
<input type="checkbox"/>	3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

<input type="checkbox"/>	1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
<input type="checkbox"/>	2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
<input type="checkbox"/>	3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
<input type="checkbox"/>	4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
<input type="checkbox"/>	5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	後	金	9:00-10:20	短大 4階 401講堂

## 教科書・参考書

著者・编者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科技工管理学	第1版	医歯薬出版
	配布資料		

## 担当者一覧

大島克郎・茂原宏美

## 成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の教科書を事前に読み、専門用語の意味などを理解しておきましょう。  
また、配付プリント・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時:講義終了後15分 場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	10/2	金	大島克郎	ユニット1:法制度と衛生行政 (技国 4-A) GIO:法制度と衛生行政の概要を理解するために、行政の目的や体系などについて知る。	1) 法規の意義について説明する。 2) 衛生行政の体系を説明する。 3) 衛生行政の目的を説明する。 4) 衛生行政の法的根拠を説明する。
2	10/9	金	大島克郎	ユニット2:医療関係職種 (技国 1-C) GIO:他の医療関係職種との連携を図るために、歯科医療に関わりのある医療関係職種の免許制度や業務の内容などを理解する。	1) 歯科医師の任務, 免許, 業務などを説明する。 2) 歯科技工士の目的, 免許, 業務などを説明する。 3) 医師, 薬剤師の業務を説明する。 4) 保健師, 助産師及び看護師の業務を説明する。 5) 診療放射線技師, 言語聴覚士, 臨床検査技師, 理学療法士, 作業療法士などの業務を説明する。
3	10/16	金	大島克郎	ユニット3:医療行政 (技国 4-A) GIO:歯科に関わりのある医療行政を知るために、医療関連法規と各施策内容を理解する。	1) 医療法を説明する。 2) 医薬品医療機器等法を説明する。 3) 毒物及び劇物取締法を説明する。 4) 麻薬及び向精神薬取締法を説明する。 5) 覚せい剤取締法を説明する。
4	10/22	木	大島克郎 (9:00-10:20)	ユニット4:保健衛生行政 (技国 4-A) GIO:歯科に関わりのある保健衛生行政を知るために、保健衛生関連法規と各施策内容を理解する。	1) 地域保健法を説明する。 2) 健康増進法を説明する。 3) 母子保健法を説明する。 4) 歯科口腔保健の推進に関する法律を説明する。 5) その他の保健衛生法規を列挙する。
5	10/23	金	大島克郎	ユニット5:社会保障制度(1) (技国 4-A) GIO:社会保障制度における歯科医療サービスの位置づけを認識するために、医療保険制度の関係法規や仕組みについて理解する。	1) 社会保障制度の概要を説明する。 2) 医療保険制度の関係法規を説明する。 3) 医療保険制度の仕組みを説明する。 4) その他の社会保障制度関連法令を述べる。
6	11/6	金	大島克郎	ユニット6:社会保障制度(2) (技国 4-A) GIO:歯科医療経済の動向を知るために、国民医療費の仕組みについて理解する。	1) 国民の受療状況を説明する。 2) 国民医療費の範囲を説明する。 3) 国民医療費の動向を説明する。 4) 歯科診療医療費の動向を説明する。
7	11/13	金	大島克郎	ユニット7:社会保障制度(3) (技国 4-A) GIO:歯科と介護保険との関わりを認識するために、介護保険制度の関係法規や仕組みについて理解する。	1) 介護保険法を説明する。 2) 介護保険制度の仕組みを説明する。
8	11/20	金	茂原宏美	ユニット8:法学のまとめ (技国 1, 4) GIO:患者・国民が期待する歯科医療について理解するために、歯科に関わりのある法制度の重要性について認識する。	1) 歯科に関わりのある法制度について説明する。 2) 歯科に関わりのある法令について列挙する。

## 本学期的学習目標 (GIO)

生理的で生体に適合した補綴装置を製作するために、顎口腔系の形態と機能を学習する。

## 学習成果

## ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴装置、修復物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

## カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	後	金	13:00-14:20	短大 4階 401講堂

## 教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工教本 顎口腔機能学	第2版	医歯薬出版

## 担当者一覧

新谷明一・五味治徳・横山正起・小見野真梨恵・上杉華子

## 成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の教科書を事前に読み、専門用語の意味などを理解しておきましょう。  
教科書の該当部分を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時: 講義後15分      場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	10/2	金	新谷明一	ユニット1: ガイダンス・顎口腔系の形態1 (技国 4-A~I) GIO: 顎口腔機能学を学ぶ目的を理解する。	1) 顎口腔機能学の意義・目的を説明する。 2) 顎口腔系の定義を説明する。 3) 歯と歯列の形態を説明する。
2	10/9	金	横山正起	ユニット2: 顎口腔系の形態2・顎口腔系の機能 (技国 4-A~I) GIO: 顎口腔系の形態・機能を理解し、その意味を知る。	1) 顎口腔系を構成する骨・筋について述べる。 2) 顎関節の構造について述べる。 3) 顎口腔系の神経支配・機能を説明する。 4) 顎口腔系の構造と機能の関係を説明する。 5) 顎運動の分析に関係する基準点(面)を説明する。 6) 咬合に関する平面について述べる。
3	10/16	金	五味治徳	ユニット3: 歯の接触様式・咬合様式 (技国 6-A~C) GIO: 歯列の位置関係と顎運動の関連を理解する。また、顎位と咬合の接触関係を天然歯列と補綴物の両方で知る。	1) 咬合様式を分類する。 2) 顎機能と咬合を関係付ける。 3) 側方運動と咬合様式を関係づける。 4) 各咬合様式の特徴を列記する。 5) 補綴物の咬合様式を知る。
4	10/23	金	五味治徳	ユニット4: 歯の形態と機能・咬合器 (技国 7-A~C) GIO: 歯の持つ形態の意義を理解する。また、顎運動再現の装置としての咬合器の構造を知る。	1) 歯の形態の意味を知る。 2) 歯の形態と機能の関連を説明する。 3) 咀嚼機能とは何かを理解する。 4) 咬合器の使用目的を説明する。 5) 顎運動を模倣する意義を説明する。
5	10/30	金	横山正起	ユニット5: 下顎位と下顎運動 (技国 6-A~B) GIO: 顎位や顎運動の基本位置としての下顎位と顎機能としての下顎運動を理解する。	1) 下顎の位置の表現方法を述べる。 2) 下顎の位置の名称を説明する。 3) 下顎の運動範囲を説明する。 4) 下顎運動の表現方法を述べる。 5) 下顎運動の解剖学的構造の関係を説明する。
6	11/6	金	上杉華子	ユニット6: 咬合器の使用法・修復物の咬合 (技国 7-A~C) GIO: 咬合器の運動の再現性の相違について理解し、修復物に与えられる咬合の基本を知る。	1) 咬合器の調節性について説明する。 2) 下顎位の再現の方法を述べる。 3) 各種咬合器の使用法を述べる。 4) 修復物に付与する咬合について説明する。 5) 咬合の付与と対合歯を関係付ける。 6) 対合歯の形態修正について述べる。 7) 全部床義歯の咬合の特徴を説明する。
7	11/13	金	小見野真梨恵	ユニット7: フェイスボウ・下顎運動の記録 (技国 6-B) GIO: フェイスボウの目的と用途、下顎運動の記録方法を理解する。	1) フェイスボウの目的を説明する。 2) フェイスボウトランスファーの意義を述べる。 3) 下顎運動の記録方法を分類する。 4) 下顎運動の再現性を説明する。 5) 下顎運動再現の意義を説明する。 6) 咬合器の顎路角調節を知る。
8	11/20	金	小見野真梨恵	ユニット8: 咬合検査と顎機能障害・まとめ (技国 8-A~C) GIO: 各種の咬合検査を知り、顎機能障害の知識をまとめ、顎口腔機能学の臨床的意義について理解し実践する知識を整理する。	1) 咬合検査の意義について説明する。 2) 咬合検査の種類について述べる。 3) 顎機能障害について知る。 4) スプリントの形態と特徴について述べる。 5) 顎口腔機能学の意義・目的について記述する。 6) 顎口腔機能学の知識について評価する。

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯の喪失によって失われた咀嚼系の形態と機能の回復を理解するために、全部床義歯による補綴治療、部分床義歯による補綴治療の臨床術式および技工操作に必要な基礎的な知識を修得する。

## 学習成果

## ディプロマポリシーポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

## カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講堂
1	後	金	14:35-15:55	短大 4階 401講堂

## 教科書・参考書

著者・編者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第2版	医歯薬出版

## 担当者一覧

赤間亮一・秋山仁志

## 成績評価

態度・習慣領域の観察(10%)および定期試験・追再試験の採点結果(90%)を成績の評価対象とする。

## 準備学習(予習・復習)

授業範囲の教科書を事前に読み、専門用語の意味などを理解しておきましょう。  
配付プリント・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時: 講義後15分

場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
18	10/2	金	赤間亮一	ユニット23:部分床義歯の人工歯排列, 削合, 歯肉形成(技国 3-I~K) GIO:部分床義歯製作に必要な技工操作の知識を身につけるために, 歯肉形成の目的を理解し, 歯肉形成の方法と削合方法について修得する。	1)前歯部の人工歯排列方法を説明する。 2)臼歯部の人工歯排列方法を説明する。 3)削合の方法を説明する。 4)歯肉形成における残存歯との関係を説明する。
19	10/9	金	赤間亮一	ユニット24:部分床義歯の埋没と重合(技国 3-M) GIO:部分床義歯製作に必要な技工操作の知識を身につけるために, 埋没方法と重合方法について修得する。	1)埋没の種類と方法を列挙する。 2)流ろう, レジン填入方法を述べる。 3)流し込みレジン重合法について説明する。
20	10/16	金	秋山仁志	ユニット25:部分床義歯の咬合調整と研磨 ユニット26:修理, リベースおよびリライン(技国 3-N)(技国 4-A, B) GIO:部分床義歯製作に必要な技工操作の知識を身につけるために, 重合後の咬合調整と研磨, 修理, リベース・リラインについてその方法を修得す	1)リマウント法を説明する。 2)咬合調整の方法について述べる。 3)義歯の研磨法を述べる。 4)義歯の修理方法を説明する。 5)リベースとリラインの方法を説明する。
21	10/23	金	秋山仁志	ユニット27:オーバーデンチャー, 金属床義歯, ノンメタルクラスプデンチャー(技国 5-A~C) GIO:金属床義歯の特徴を知るために, 製作方法およびレジン床義歯との違いを理解する。	1)オーバーデンチャーの目的を述べる。 2)金属床義歯の利点と欠点を列挙する。 3)金属床義歯の製作方法を説明する。 4)ノンメタルクラスプデンチャーの利点と欠点について説明する。
22	10/30	金	赤間亮一	ユニット28:有床義歯のまとめ(確認試験と解説)(技国 1-C~H 2-A~G 3-H~N)(技国 4-A, B 5-A~C) GIO:適切な義歯を製作するために, 客観的試験をとおしてその製作手順を理解する。	1)全部床義歯技工学の製作方法を説明する。 2)部分床義歯技工学の製作方法を説明する。

# 顎口腔機能学実習

火曜日 13:00~14:20  
木曜日 14:35~15:55

## 本学期的学習目標 (GIO)

顎運動と補綴物の形態の関連を理解するために、咬合は顎機能と密接な関係があることを知り、補綴物の形態に適用する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備するべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講堂
1	後	火	13:00-14:20	短大 4階 基礎実習室・401講堂
1	後	木	14:35-15:55	短大 4階 基礎実習室・401講堂

## 教科書・参考書

著者・编者	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 顎口腔機能学	第2版	医歯薬出版
	配布資料		

## 担当者一覧

小泉順一・赤間亮一

## 成績評価

三点接触のワックスパターン形成と実習後のレポート課題をを評価対象とする。(100%)

## 準備学習 (予習・復習)

顎口腔機能学で学習した内容を理解し、実習に反映できるようにしましょう。

## オフィスアワー

日時:実習後15分 場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	10/22	木	小泉順一 赤間亮一	ユニット1-1: 三点接触のワックスパターン形成(1) (技国 6-C) GIO: 咬合接触の要件を理解するために, 3点接触に留意した咬合面形態のワックスパターン形成を身につける。	1) 咬合に関する用語を列記する。 2) 咬合関係を説明する。 3) 咬合様式を分類する。 4) オクルーザルテーブルを実践する。
2	10/29	木	小泉順一 赤間亮一	ユニット1-2: 三点接触のワックスパターン形成(2) (技国 6-C) GIO: 咬合接触の要件を理解するために, 3点接触に留意した咬合面形態のワックスパターン形成を身につける。	1) ワックスの取り扱いに熟練する。 2) 歯冠形態の再現を工夫する。 3) フィッシュマウスを実践する。
3	11/5	木	小泉順一 赤間亮一	ユニット1-3: 三点接触のワックスパターン形成(3) (技国 6-C) GIO: 咬合接触の要件を理解するために, 3点接触	1) 咬合面形態と顎運動を関連付ける。 2) 接触点の機能について知る。 3) 裂溝の機能について知る。
4	11/10	火	小泉順一 赤間亮一	ユニット1-4: 三点接触のワックスパターン形成(4) (技国 6-C) GIO: 咬合接触の要件を理解するために, 3点接触に留意した咬合面形態のワックスパターン形成を身につける。	1) 咬合様式の再現を工夫する。 2) 三点接触とABCコンタクトの違いを説明する。
5	11/12	木	小泉順一 赤間亮一	ユニット1-5: 三点接触のワックスパターン形成(5) (技国 6-C) GIO: 咬合接触の要件を理解するために, 3点接触に留意した咬合面形態のワックスパターン形成を身につける。	1) 解剖学的形態の再現を工夫する。 2) 咬合の安定について理解する。 3) 咬合接触の重要性について説明する。
6	11/17	火	小泉順一	ユニット2-1: 顎口腔機能学実習概説(1) (技国 4~8) GIO: 機能的な補綴物を製作するために, 顎口腔機能学実習についての知識を整理する。	1) 顎口腔機能学実習の意義・目的について説明する。 2) 顎口腔機能学実習の技工上の応用を理解する。 3) 顎口腔機能学実習の知識について整理する。
7	11/19	木	小泉順一	ユニット2-2: 顎口腔機能学実習概説(2) (技国 4~8) GIO: 機能的な補綴物を製作するために, 顎口腔機能学実習についての知識を整理する。	1) 顎口腔機能学実習の意義・目的について説明する。 2) 顎口腔機能学実習の技工上の応用を理解する。 3) 顎口腔機能学実習の知識について整理する。
8	11/24	火	小泉順一	ユニット2-3: 顎口腔機能学実習概説(3) (技国 4~8) GIO: 機能的な補綴物を製作するために, 顎口腔機能学実習についての知識を整理する。	1) 顎口腔機能学実習の意義・目的について説明する。 2) 顎口腔機能学実習の技工上の応用を理解する。 3) 顎口腔機能学実習の知識について整理する。
9	11/26	木	小泉順一 赤間亮一	ユニット3-1: 咬合器 (技国 7-B) GIO: 各種咬合器を使用するために, 咬合器の種類, 機構および使用目的を説明できる。	1) 咬合器の使用目的を知る。 2) 咬合器の機構と分類を理解する。
10	12/1	火	小泉順一 赤間亮一	ユニット3-2: フェイスボウトランスファー (技国 7-C) GIO: 半調節性咬合器を使用するために, フェイスボウ(顔弓)を使用した咬合器装着を説明できる。	1) フェイスボウトランスファーを実施する。 2) フェイスボウの使用手順を理解する。
11	12/3	木	小泉順一 赤間亮一	ユニット3-3: 半調節性咬合器の調節 (技国 7-C) GIO: 半調節性咬合器の調節をするために, チェックバイト法による顎路角の調節方法を理解する。	1) チェックバイト法による顎路角の調節方法を理解する。 2) チェックバイトの役割を説明する。
12	12/8	火	小泉順一 赤間亮一	ユニット3-4: ゴシックアーチ描記法 (技国 7-C) GIO: 水平的な下顎限界運動を理解するために, ゴシックアーチ描記装置の取り扱いと使用手順を理解する。	1) ゴシックアーチ描記法を説明する。 2) ゴシックアーチ描記装置の使用手順を理解する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
13	12/10	木	小泉順一 赤間亮一	ユニット4-1: オクルーザルスプリントの製作 (技国 8-B) GIO: 顎関節症に対する口腔内装置を理解するために、オクルーザルスプリントの種類と特徴を理解する。	1) 顎関節症に対する口腔内装置を理解する。 2) オクルーザルスプリントの種類と特徴を説明する。
14	12/15	火	小泉順一 赤間亮一	ユニット4-2: ナイトガード・マウスガードの製作 (技国 8-B) GIO: プラキシズム(歯ぎしり)に用いる口腔内装置を理解するために、ナイトガードの製作方法を理解する。また、競技スポーツ時の歯の保護ために用いるスポーツマウスガードの製作方法を理解する。	1) ナイトガードの特徴と製作手順を理解する。 2) スポーツマウスガードの特徴と製作手順を理解する。
15	12/17	木	小泉順一 赤間亮一	ユニット4-3: 睡眠時無呼吸に対する装置 (技国 8-B) GIO: 睡眠時無呼吸に対する装置を理解するために、下顎前方牽引装置の特徴と製作方法を理解する。	1) 睡眠時無呼吸を説明する。 2) 下顎前方牽引装置の特徴と製作手順を理解する。

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科技工士としての業務を適切に遂行するために、歯科技工士法、歯科医師法、歯科衛生士法、医療法、医薬品医療機器等法に関する知識を身につける。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	後	金	9:00-10:20	短大 4階 401講堂

## 教科書・参考書

著者・编者	書 名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科技工管理学	第1版	医歯薬出版
	配付資料		

## 担当者一覧

大島克郎・茂原宏美

## 成績評価

定期試験・追再試験の採点結果を成績の評価対象とする(100%)。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の教科書を事前に読み、専門用語の意味などを理解しておきましょう。  
また、配付プリント・教科書の該当部分を復習しておきましょう。

## オフィスアワー

日時: 講義終了後15分 場所: 短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	11/27	金	大島克郎	ユニット1: 歯科技工士法総説 (技国 2-A) GIO: 歯科技工士法の概要を知るために、法の目的と用語の定義などを理解する。	1) 歯科技工士法の成り立ちを説明する。 2) 歯科技工士法の目的を説明する。 3) 歯科技工士法で定める用語の定義を説明する。
2	12/4	金	大島克郎	ユニット2: 免許(1) (技国 2-B) GIO: 歯科技工士免許について知るために、歯科技工士法で定める関係条文の内容を理解する。	1) 歯科技工士免許の申請などを説明する。 2) 歯科技工士免許の欠格事由を説明する。 3) 歯科技工士名簿を説明する。 4) 歯科技工士免許の登録などを説明する。
3	12/11	金	大島克郎	ユニット3: 免許(2) (技国 2-B) GIO: 歯科技工士免許について知るために、歯科技工士法で定める関係条文の内容を理解する。	1) 業務従事者届を説明する。 2) 歯科技工士免許の取り消し・業務停止を説明する。 3) 指定登録機関を説明する。
4	12/18	金	大島克郎	ユニット4: 試験 (技国 2-C) GIO: 歯科技工士試験について知るために、歯科技工士法で定める関係条文の内容を理解する。	1) 歯科技工士試験の目的を説明する。 2) 歯科技工士試験の実施などを説明する。 3) 指定試験機関を説明する。
5	1/8	金	大島克郎	ユニット5: 業務 (技国 2-D) GIO: 歯科技工士の業務について知るために、歯科技工士法で定める関係条文の内容を理解する。	1) 歯科技工士の禁止行為(業務独占)を説明する。 2) 歯科技工指示書を説明する。 3) 業務上の注意を説明する。 4) 守秘義務を説明する。
6	1/14	木	大島克郎 (9:00-10:20)	ユニット6: 歯科技工所、罰則 (技国 2-E,F) GIO: 歯科技工所に関する諸規定を知るとともに、罰則等を認識するために、歯科技工士法で定める関係条文の内容を理解する。	1) 歯科技工所の届出を説明する。 2) 歯科技工所の管理者を説明する。 3) 歯科技工所の広告制限を説明する。 4) 歯科技工に関する違反行為と罰則などを説明する。 5) 歯科技工所の環境管理と品質管理を説明する。
7	1/15	金	大島克郎	ユニット7: 歯科医療関係法規 (技国 4) GIO: 歯科技工士の業務を知るために、医療法、歯科医師法、歯科衛生士法および医薬品医療機器等法について理解する。	1) 医療法を説明する。 2) 歯科医師法を説明する。 3) 歯科衛生士法を説明する。 4) 医薬品医療機器等法を説明する。
8	1/15	金	茂原宏美 (10:35-11:55)	ユニット8: 歯科技工士法まとめ (技国 1-4) GIO: 患者・国民に求められる歯科技工士について理解するために、歯科技工士法の重要性について認識する。	1) 歯科技工士法の変遷を述べる。 2) 歯科技工士法の目的などを述べる。

## 本学期的学習目標 (GIO)

生体に対して安全で、適合性に優れた補綴物を製作するために、歯科用材料個々の特性を実験により理解する。また、論理的思考を身につけるために、実験結果をグラフ化し、考察する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。
- 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。

### カリキュラムポリシー

- 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
- 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	後	火・金	13:00-15:55	生命歯学部 4階 歯科理工学実習室・短大 4階 基礎実習室

## 教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
	配布資料		

## 担当者一覧

富田 淳・竹井利香・赤間亮一

## 成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)と提出物(レポート)の到達度(80%)を成績の評価対象とする。

## 準備学習 (予習・復習)

授業範囲の配布資料を事前に読み、理解して授業を受けるようにしましょう。  
実習内容を把握し、実験の意義や材料の特性について理解しましょう。

## オフィスアワー

日時:実習後15分

場所:生命歯学部4階歯科理工学実習室・短大1階教職員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	1/6	水	竹井利香 (14:35-15:55)	ユニット1:オリエンテーション1	1) 歯科理工学実習の意義を説明する。 2) 実習の注意点を示す。
				GIO:歯科理工学実習を行うために、器具、器材の使用方法を身につける。	3) 器具、器材の使用方法を示す。 4) 実習室を使用する際の注意点を述べる。
2 3	1/8	金	竹井利香	ユニット2:オリエンテーション2・レポートの書き方	1) 実験データの測定方法を説明する。 2) データの解析方法について述べる。
				GIO:歯科理工学実習を行うために、データの測定方法や解析方法を身につける。また、データのグラフ化や考察の記述方法、引用文献について理解する。	3) データのグラフ化について説明する。 4) 考察の記述方法について述べる。 5) 引用文献の記述方法について述べる。
4 5	1/12	火	富田 淳 竹井利香 赤間亮一	ユニット3:石膏硬化時の温度上昇と硬化時間 (技国 3-A)	1) 石膏硬化時の温度上昇を測定する。 2) 石膏の硬化時間を測定する。
				GIO:適切な石膏操作を修得するために、石膏硬化時の温度上昇と硬化時間に影響する因子を理解する。	3) 混水比の影響を討議する。 4) 硬化促進剤と硬化遅延剤の影響を説明する。
6 7	1/15	金	富田 淳 竹井利香 赤間亮一	ユニット4:石膏の硬化膨張 (技国 3-A)	1) 石膏の硬化膨張を測定する。 2) 石膏の硬化反応を述べる。
				GIO:適切な石膏操作を修得するために、石膏の硬化膨張に影響する因子を理解する。	3) 針状結晶について説明する。 4) 硬化時間に影響する因子を討議する。 5) 硬化時間と針状結晶の絡み合いを関係付ける。
8 9	1/19	火	富田 淳 竹井利香 赤間亮一	ユニット5:印象材の弾性ひずみと永久ひずみ (技国 2-A)	1) 弾性印象材の弾性ひずみと永久ひずみを測定する。 2) 弾性印象材の種類を列挙する。
				GIO:適合性に優れた補綴物を製作するために、弾性印象材の弾性ひずみと永久ひずみを測定し、印象材の種類によるの差異の意義を理解する。	3) 弾性印象材のひずみの影響を説明する。 4) 印象材の寸法変化に影響する因子を討議する。
10 11	1/22	金	富田 淳 竹井利香 赤間亮一	ユニット6:歯科精密鑄造1 (技国 5-A, 8-C)	1) ワックスパターン形成を実施する。 2) 埋没時の注意点を説明する。
				GIO:適合性に優れた補綴物を製作するために、全部鑄造冠の寸法精度に影響を及ぼす埋没時の条件について理解する。	3) 埋没時の注意点を討議する。
12 13	1/26	火	富田 淳 竹井利香 赤間亮一	ユニット6:歯科精密鑄造2 (技国 5-A, 8-C)	1) ワックスの焼却を行う。 2) ブローパイプを使用する。
				GIO:適合性に優れた補綴物を製作するために、鑄造技術と適合性の意義を理解する。	3) 鑄造体の寸法を測定する。 4) 寸法精度に影響を及ぼす因子について討議する。
14 15	1/28	木	富田 淳 竹井利香 赤間亮一	ユニット7:金属・合金の加工硬化と再結晶軟化 (技国 8-C)	1) 合金の加工の方法を説明する。 2) 金属の硬さの測定方法を述べる。
				GIO:強度に優れた補綴物を製作するために、合金を加工した時の硬さの変化と、加工後の金属を加熱処理した時の硬さの変化を理解する。	3) 各種合金を加工し、硬さを測定する。 4) 合金の熱処理について討議する。

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科技工士として審美的感覚を養うために、物体の観察方法、形態再現方法、造形表現方法および色彩に関連する専門性を理解する。また、自己研鑽能力を身につけるために、制作過程を振り返り、評価する。

## 学習成果

### ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、短期大学士(歯科技工)の学位が授与されるとともに、歯科技工士国家試験の受験資格が得られます。

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1. 補綴物、充填物および矯正装置の製作・修理・加工に関する知識と技能を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 歯科技工士としての自覚と倫理観に基づいて自己研鑽ができる。                                 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。                                      |

### カリキュラムポリシー

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。       |
| <input type="checkbox"/> | 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。         |
| <input type="checkbox"/> | 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。                                      |
| <input type="checkbox"/> | 4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。 |
| <input type="checkbox"/> | 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。                                      |

学年	学期	曜日	時間	講 堂
1	後	月	13:00-15:55	短大 4階 401講堂・4階基礎実習室
1	後	木	13:00-15:55	短大 4階 401講堂・4階基礎実習室

## 教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
	配布資料		

## 担当者一覧

竹井利香・小泉順一

## 成績評価

態度・習慣領域の観察結果(20%)、プレゼンテーションの到達度(20%)および提出物の到達度(60%)を成績の評価対象とする。

## 準備学習 (予習・復習)

製作に使用する材料や使用器具の特性について理解しましょう。

## オフィスアワー

日時:実習後15分

場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1	1/13	水	竹井利香	ユニット1: 色彩と歯科技工 ユニット2: 歯の観察 GIO: 審美的な歯科技工物を製作するために、歯科技工における色彩の重要性を知る。歯の観察に必要な情報を得るために、ヒトの眼の構造と働きについて理解する。	1) 審美歯科の意義について説明する。 2) 色彩と歯科医療との関係を述べる。 3) 人間の歯らしさを表す構成要素について説明する。 4) ヒトの眼の構造と働きについて説明できる。
2	1/13	水	竹井利香	ユニット3: 色とは ユニット4: 歯科技工と色彩 GIO: 生体に調和した歯科技工物を製作するために、形態の表現方法や演色性について理解する。	1) 色彩の基礎について説明する。 2) 色の三属性について述べる。 3) 同時対比について述べる。 4) 色彩と歯科技工との関わりを説明する。
3	1/14	木	竹井利香 小泉順一	ユニット5-1: 造形物の作成(1) GIO: 習得した専門的知識を実践するために、造形物を制作し、歯科材料の特性や造形表現方法を身につける。	1) 歯科材料の特性を応用する。 2) 適切な加工方法について選択する。 3) モチーフを模倣する。
4	1/14	木	竹井利香 小泉順一	ユニット5-2: 造形物の作成(2) GIO: 習得した専門的知識を実践するために、造形物を制作し、歯科材料の特性や造形表現方法を身につける。	1) 歯科材料の特性を応用する。 2) 適切な加工方法について選択する。 3) モチーフを模倣する。
5	1/18	月	竹井利香 小泉順一	ユニット5-3: 造形物の作成(3) GIO: 習得した専門的知識を実践するために、造形物を制作し、歯科材料の特性や造形表現方法を身につける。	1) 歯科材料の特性を応用する。 2) 適切な加工方法について選択する。 3) モチーフを模倣する。
6	1/18	月	竹井利香 小泉順一	ユニット5-4: 造形物の作成(4) GIO: 習得した専門的知識を実践するために、造形物を制作し、歯科材料の特性や造形表現方法を身につける。	1) 歯科材料の特性を応用する。 2) 適切な加工方法について選択する。 3) モチーフを模倣する。
7	1/20	水	竹井利香 小泉順一	ユニット5-5: 造形物の作成(5) GIO: 習得した専門的知識を実践するために、造形物を制作し、歯科材料の特性や造形表現方法を身につける。	1) 歯科材料の特性を応用する。 2) 適切な加工方法について選択する。 3) モチーフを模倣する。
8	1/20	水	竹井利香 小泉順一	ユニット5-6: 造形物の作成(6) GIO: 習得した専門的知識を実践するために、造形物を制作し、歯科材料の特性や造形表現方法を身につける。	1) 歯科材料の特性を応用する。 2) 適切な加工方法について選択する。 3) モチーフを模倣する。
9	1/21	木	竹井利香 小泉順一	ユニット5-7: 造形物の作成(7) GIO: 習得した専門的知識を実践するために、造形物を制作し、歯科材料の特性や造形表現方法を身につける。	1) 歯科材料の特性を応用する。 2) 適切な加工方法について選択する。 3) モチーフを模倣する。
10	1/21	木	竹井利香 小泉順一	ユニット5-8: 造形物の作成(8) GIO: 習得した専門的知識を実践するために、造形物を制作し、歯科材料の特性や造形表現方法を身につける。	1) 歯科材料の特性を応用する。 2) 適切な加工方法について選択する。 3) モチーフを模倣する。
11	1/25	月	竹井利香 小泉順一	ユニット5-9: 造形物の作成(9) GIO: 習得した専門的知識を実践するために、造形物を制作し、歯科材料の特性や造形表現方法を身につける。	1) 歯科材料の特性を応用する。 2) 適切な加工方法について選択する。 3) モチーフを模倣する。
12	1/25	月	竹井利香 小泉順一	ユニット6-1: 発表の準備(1) GIO: 自己研鑽能力のある歯科技工士となるために、制作過程を振り返り、評価する。	1) 制作工程を列記する。 2) 制作時の注意点について説明する。 3) 発表資料を準備する。

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
13	1/27	水	竹井利香 小泉順一	ユニット6-2:発表の準備(2)	1) 制作工程を列記する. 2) 制作時の注意点について説明する. 3) 発表資料を準備する.
				GIO:自己研鑽能力のある歯科技工士となるために,制作過程を振り返り,評価する.	
14	1/27	水	竹井利香 小泉順一	ユニット6-3:発表の準備(3)	1) 制作工程を列記する. 2) 制作時の注意点について説明する. 3) 発表資料を準備する.
				GIO:自己研鑽能力のある歯科技工士となるために,制作過程を振り返り,評価する.	
15	1/29	金	竹井利香 小泉順一 (14:35-15:55)	ユニット7:制作過程の振り返りと発表	1) 制作工程を列記する. 2) 制作時の注意点について説明する. 3) 制作過程の振り返りを実施する.
				GIO:自己研鑽能力のある歯科技工士となるために,制作過程を振り返り,評価する.	